

2018 奈良市子ども会議報告書

未定稿



目次

I 奈良市子ども会議の概要	1
1 奈良市子ども会議について	1
2 奈良市子ども会議開催状況	1
3 ファシリテーター	1
4 子ども参加者	2
5 サポーター	3
II 奈良市子ども会議の開催	4
1 奈良市子ども会議の内容	4
2 振り返りシート集計結果	10
3 アンケート集計結果	14
III 奈良市子ども会議意見書	17

別冊資料

- 平成30年度奈良市子ども会議 まとめ(原本の写し)



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

また、提出された意見に対しては奈良市としての回答を作成し、公表することとしています。

なお、平成30年度の奈良市子ども会議は、話し合うテーマを「子どもの遊び場」に絞って子ども参加者の募集段階から提示しました。

2 奈良市子ども会議開催状況

(1) 開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	テーマ	参加人数
第1回	平成30年7月24日(火)	「仲間と出会い、テーマについて語ろう」	16人
第2回	平成30年7月26日(木)	「公園の情報をもとに提案のイメージを考える」	15人
第3回	平成30年7月31日(火)	「公園を実際に見に行つて、公園をデザインしよう!」	16人
第4回	平成30年8月2日(木)	「公園のデザイン画を完成させよう!」	17人
第5回	平成30年8月7日(火)	「市長への発表の準備」	15人
—	平成30年8月16日(木)	「平成30年度奈良市子ども会議からのプレゼンテーション」	13人

(2) 開催時間・場所

- ▶ 開催時間 午前10時から正午まで(※8/16のプレゼンテーションは午前11時30分まで)
- ▶ 開催場所 奈良市役所 北棟6階 第21会議室

3 ファシリテーター

特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所関西事務所所長 浜田 進士

(アシスタント ※第4回のみ欠席)

ひと結び 代表

佐野 岳章

4 子ども参加者

10歳から17歳までの子どもを対象に、公募等により募集し、20名の子どもが参加しました。

(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年	性別		氏名	学校／学年	性別
1	ひがしもと ひろき 東元 博樹	常解小学校 6年	男	11	やざき ともえ 矢崎 友萌	一条高等学校 1年	女
2	はらだ あおい 原田 碧	富雄第三中学校 1年	女	12	たなか まこと 田中 誠	一条高等学校 1年	男
3	いとう にじか 伊藤 虹架	若草中学校 1年	女	13	まつだ あいこ 松田 愛子	一条高等学校 1年	女
4	おおもと かんえい 大本 幹英	六条小学校 6年	男	14	しぶたに いっしん 渋谷 一心	都跡小学校 6年	男
5	よしおか はつね 吉岡 初音	都跡中学校 1年	女	15	ふじもと レイナ 藤本 レイナ	天理高等学校 2年	女
6	あかさか むさし 赤坂 武紗志	済美小学校 5年	男	16	じょうた ふうが 上田 夫雅	鼓阪小学校 6年	男
7	の だ のぞみ 野田 望未	三笠中学校 3年	女	17	すがわ たかし 須川 敬	二名中学校 1年	男
8	ばんば みつき 馬場 充希	三笠中学校 3年	女	18	かきおか なつき 垣岡 夏季	三笠中学校 3年	女
9	もりや ののか 守屋 のか 野香	飛鳥小学校 6年	女	19	じょうた えりせ 上田 えりせ 笑世	若草中学校 3年	女
10	かわぐち こなみ 川口 虹波	一条高等学校 2年	女	20	おおば りょうご 大庭 りょうご 遼吾	明治小学校 6年	男

内訳（単位：名）

小学生	7	新規参加者	10
中学生	8	参加経験あり	10
高校生	5		
男子	8		
女子	12		

5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、6名の大学生が参加しました。

(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年	性別
1	たにがき とおる 谷垣 徹	奈良教育大学大学院 1年	男
2	もりもと すみれ 森本 珠美怜	奈良教育大学 4年	女
3	ふじい まなか 藤井 愛華	奈良教育大学 4年	女
4	なかむら ゆきな 仲村 幸奈	奈良教育大学 2年	女
5	こばやし まりの 小林 真理納	奈良教育大学 1年	女
6	にしだ あかね 西田 朱音	奈良教育大学 1年	女



Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、テーマについて語ろう」(7月24日開催)

10:00 開会

- ・開会あいさつ(子ども未来部長 真銅 正宣)
- ・事務局紹介

10:10 ファシリテーター紹介

子ども会議のねらいと全5回のスケジュールを説明

10:15 アイスブレイキング

- ・共通ルールについて確認

10:40 自分の遊び体験を振り返る時間

遊びの施設の在り方を子どもに聴くことはせず、遊びの楽しさを思い出し、遊びの大切さの共通理解を図る。

小学1年生～3年生の頃、小学4年生～6年生の頃、中学生の頃、そして、今どんな遊びをしたか思い出して記入してもらう。

記入できたら、隣の人とどんな遊びをしたか話し合ってもらう。

11:10 休憩(お菓子・ジュース)

11:20 グループで話し合い(ランダムにグループ分け)

- ① 子どもの原体験を振り返ることで、「遊びの権利」の大切さについて共有する。
- ② 記入した遊びをしていて、何が楽しかった? どうして楽しかった? を記入する。
- ③ グループで分かち合い
- ④ 全体で分かち合い

11:40 全体での振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう。)

11:50 仲川市長あいさつ・集合写真

12:00 閉会

- ◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。
- ◆ 奈良市教育委員会 畑中 康宣 教育委員にご視察いただきました。
- ◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(2) 第2回「芝辻町の公園の情報をもとに提案のイメージを考える」(7月26日開催)

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認
- ・ 今日のゴール「市から提案のあった公園でどんなふうに再生するか、提案の骨子をつくります。」

10:10 アイスブレイキング

10:20 市役所からの情報提供

- ① 事前アンケートの結果説明
- ② 奈良市の公園について現状説明
- ③ 「芝辻四丁目緑地」について説明
- ④ 他都市にあるいろいろな遊び場を紹介

10:50 情報提供を受けての子どもとの意見交換

11:00 休憩(お菓子・ジュース)

11:10 グループ分け(4~5名程度 小・中・高の年齢別に分かれる)

グループでの話し合い(提案の骨子を模造紙に記入)

- ① 「こんな遊びがしたい」「こんな遊具があったらいいな」
- ② 「こんなイベントがしたい」

黄色の付箋に「したいこと」「できること」を書く

青色の付箋に「ほしいもの」を書く

全体での情報共有

11:35 次回の現地見学について説明(注意事項など)

11:55 全体での振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(3) 第3回「公園を実際に見に行って、公園をデザインしよう！」(7月31日開催)

- 9:20 「芝辻四丁目緑地」現地見学希望者集合
熱中症対策等、見学の注意点を説明
- 9:30 市役所を出発(公用車で移動)
- 9:40 「芝辻四丁目緑地」現地見学
5~10分程度現地見学
総合政策課及び公園緑地課職員も同行
- 10:10 市役所着 休憩
- 10:20 子ども会議 開会
前回の振り返りと本日のねらいと流れの確認
共通ルールの確認
- 10:25 現地見学の振り返り
行ってみて感じたこと、質問したいこと、考えたこと
- 10:40 グループワーク
- ① 作業の説明
今回は鉛筆による下書き段階
今見てきた公園の縮図を配付し、「どんなものをおきたいか?」「どんなことをしたいか?」を下書きします。
- ② 公園の利用者の対象を明確にする
グループでどんな子どもや地域の人たちのための公園にするかを選ぶ。
- ③ 「芝辻町四丁目緑地」再生計画をデザインしよう
- ・この公園をどんなふうにデザインするか
 - ・どんなこと、イベントをするか
 - ・この公園を地元以外にも多くの人が訪れやすいようにどんな工夫をするか
- 11:20 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:30 グループでの話し合い再開
- 11:50 全体での振り返りとまとめ
- 11:55 振り返りシートを記入
- 12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 金野 秀一 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(4) 第4回「公園のデザイン画を完成させよう！」（8月2日開催）

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認

今日のゴール「芝辻町四丁目緑地」のデザイン画を完成させよう

デザイン画の他に絵のポイントやその理由等を箇条書きで書いた説明文も作成
アイスブレーキング

10:15 各グループで公園の絵を完成し、箇条書きの説明文も考える。

(1) 公園のデザイン画の完成作業

- ① この公園でもっとも提案したいこと、大切にしたいこと、アピールポイントはなにか？
- ② 公園のどこにどんなものを置くか？
- ③ この公園でやりたいことはなにか？
- ④ トイレ、水飲み場、樹木や川の利用、地面の材質、駐輪場の有無など

(2) 市長への箇条書きの説明文

- ① 私たちがアピールしたいことは？
- ② 私たちが欲しい遊具は？
- ③ 私たちがこの公園でやりたいことは？
- ④ 私たちがその他に工夫した点は？

11:00 休憩（お菓子・ジュース）

11:10 グループごとに途中経過を発表

11:30 グループでの作業再開

11:55 全体の振り返りとまとめ（振り返りシートを記入してもらう）

12:00 閉会

◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。

◎ 奈良新聞社からの取材を受けました。



(5) 第5回「市長への提案の準備」(8月7日開催)

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認

アイスブレーキング

10:10 デザイン画を完成させる

11:00 休憩(お菓子・ジュース)

11:10 アピールポイントを発表する練習

グループごとの読み合わせ

11:35 市長への意見報告会の進行について話し合う。

発表の順番、各グループの発表時間、発表の方法等

11:50 全体での振り返りとまとめ

(振り返りシートと全体を振り返ってのアンケートを記入してもらう)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(6) 平成30年度奈良市子ども会議からのプレゼンテーション（8月16日開催）

9:00 事前打ち合わせ

・意見報告会の進行について確認する。意見報告の練習を行う。

10:00 開会

・市長あいさつ

・出席者紹介

10:10 市長へ意見書提出

10:20 各グループごとに意見発表・市長との意見交換

① いろんな地域から人が集まる公園

② どんな人でも楽しめる公園

③ 奈良ふれあい公園

④ 地元の人が来やすい公園

11:20 ファシリテーター浜田進士氏からのあいさつ

11:30 閉会

◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



2 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート(振り返りシート)を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数	第1回 16名
	第2回 15名
	第3回 16名
	第4回 17名
	第5回 18名

(問1) 楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	13	81%	13	87%	13	81%	14	82%	12	80%
そう思う	3	19%	2	13%	3	19%	3	18%	3	20%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	16	100%	15	100%	16	100%	17	100%	15	100%

(問2) わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	12	75%	13	87%	12	75%	14	82%	12	80%
そう思う	4	25%	2	13%	4	25%	3	18%	3	20%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	16	100%	15	100%	16	100%	17	100%	15	100%

(問3) 話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	12	75%	13	87%	12	75%	14	82%	12	80%
そう思う	3	19%	2	13%	3	19%	3	18%	3	20%
そうでもない	1	6%	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	16	100%	15	100%	16	100%	17	100%	15	100%

(問4) 今日の子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回

- ・みんなたくさん夢中になったこと、なってることがあるんだな—と思った。
- ・「公園をつくる」ことに必要な事をもっと知りたいです。今日はとても楽しかったです。もっと周りを巻き込んでどんどん進めていきたいです。
- ・今年は公園！たくさんテーマを出して子どもから大人まで楽しめる公園を作りたい！
- ・公園をもっとよくしたい
- ・人のことを知ってから話し合いをするのはとてもいいと思います。
- ・お菓子充実しててよかった。遊び楽しかった。
- ・おもしろい人ばかりで、意見を出しやすかったです。
- ・思い出してみると、小学校に入る前や、小・中・高に通っている間、楽しいことは違ってもどんな所が楽しかったとか、どういう風にしてると楽しかったとかはずっと同じなんだなと思った。
- ・小学生の発想が新鮮でいいなと思った。
- ・初めて参加しましたが、あまり緊張せずに参加できた。
- ・未来にできる新しい公園が楽しみ。
- ・すごい楽しかった。話やすかった。
- ・市長が本気なこと

② 第2回

- ・僕のイメージでは遊具は公園にあるものだと思っていたので、何かつくれたらいいなと思いました。
- ・本当に公園をデザインできると思っていなかったのでもっと楽しみです。この新しい公園をデザインして、たくさんの人が来るような場所にしていきたいと思います。今日もとても楽しかったです。次回も楽しみにしています。
- ・計画されている公園を見て、現地見学をしたいです。
- ・木登りは果たして重要なのか否か？
- ・楽しかった
- ・わからないことがあって質問するときに専門の人がいてくれるととても助かります。また、こういう場で自分の考えが採用されると嬉しいです。
- ・みんなで話し合っふせんをはるのが、楽しかった。「それは気付かなかった！」とか「なるほど！」と思う意見もたくさんあっておもしろかった。
- ・何となくアクセス関連(公園までの)が不安。
- ・なしです。おもしろかった。
- ・次回、公園をみにいくことで、とても、加わっている奈良市のために自分たちの意見が採用されるというのが、感じられました！
- ・はじめての会議だったけど楽しかった。
- ・自分の理想の公園ができそうなので嬉しいです。
- ・高校生や中3の人たちと話をし、とてもたのしかった。公園の多さに驚いた。
- ・公園の手入れが…。施設が…。ふせんを使っている意見を書くのに、ものすごく多く書けたと思った。
- ・ラグビーをしている人がいるんだなと思いました。野球をしている人はもてると思った。コミュニケーションが取りやすかった。

③ 第3回

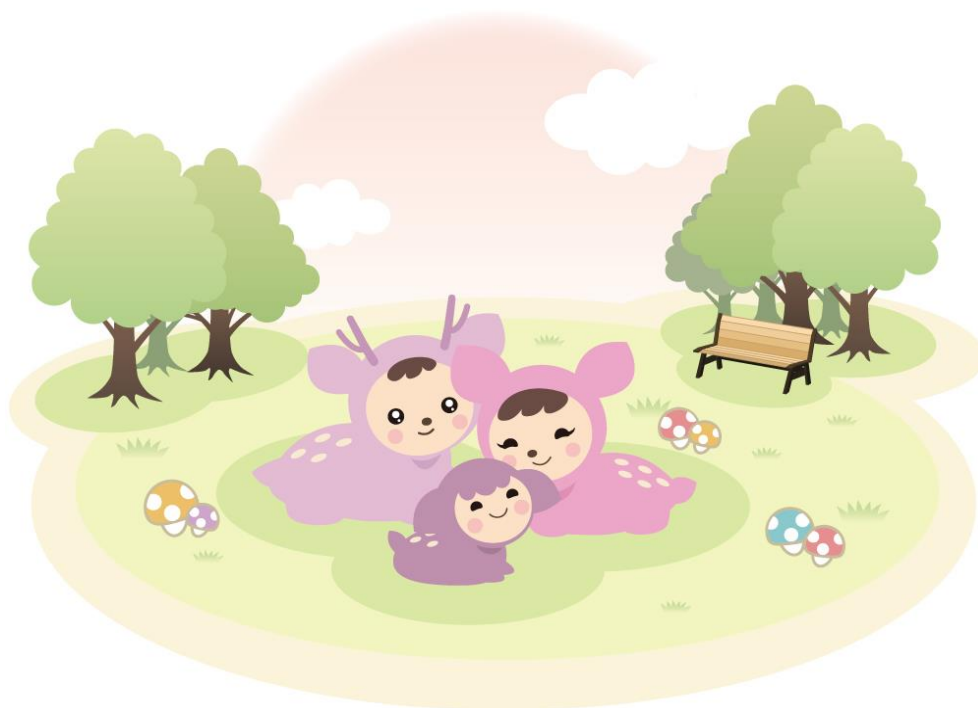
- ・遊具は高いなと思いました。公園を1つ作るのにこんなにも大変だと思います。工夫することや技術があがるともつと高くなるので、400万円もするみたいでした。みんなで出し合ってできたらいいなと思います。
- ・絵を描いたり、中高生の意見も聞けてとても勉強になった。
- ・なんでもできるものはなかなか・・・
- ・話し合いがよくできてよかった。
- ・小中高と混じってやるといういろいろな意見が聞けてよかったです。
- ・今日、実際に公園を見に行ったことで設計図案を出すときにやりやすかった。
- ・小さいことに好きだった遊具や欲しいなあと思っていたものが作られるのかなあと思いながら意見をいうのはとてもワクワクした。
- ・年齢差があるので考えることが違った。高校生として意見をまとめたいたのだが、なかなか通じないので大変だった。
- ・意見を出し合って話し合えるのがよかった。
- ・楽しかった。
- ・今日、実際、見に行ったことでだいたいのイメージができました。また、グループに分かれて少しずつ具体的になってきたと思います。
- ・みんなで公園をどうするのかをするのが楽しかった。
- ・グループが3つあるので最後決めるのが難しいと思う。
- ・みんなのいろいろな案とかが聞けて面白かった。
- ・公園を一つ作るのにかかる遊具の費用が高くてびっくりしました！

④ 第4回

- ・公園は大きい遊具をおくと、少ししかスペースがなくなってしまうので、小さい遊具だけでも迫力がなくなってしまうので、難しいです。でも、たくさんの人が楽しめることを考えながら、進めれたと思います。今日もとても楽しかったです。
- ・とても楽しかった！！みんなと意見が聞けてよかったです！！
- ・本当にある！と思いました。とてもこの公園を作る現実味が増してきた。(笑)
- ・考えて頭が疲れた。
- ・工作が楽しくて仕事がはかどりそうです。
- ・みんな意見をたくさん出すから、話し合うのが楽しかった。
- ・第1～3回まで参加できなくて、浮かないか心配だったけど、仲良くさせてもらえてよかった。友達の家で近所へちびっ子と遊んだとき、鬼ごっこをしただけで楽しかったので、遊具があるともっと楽しめると思う！妄想するだけで楽しかった！私にはない自由な発想が聞けてよかった！
- ・横型？立体？の形にすることでより相手に伝わりやすくなってきたと思った。初めて取材を受けた・・・！
- ・今日も小学生相手と話をまとめるのが大変だった。仕方ないのかもしれないのか。
- ・本格的に考えるので、自分も力になれて良い。
- ・具体的完成まであと一歩
- ・だいぶ意見もまとまり、良い公園ができてきました。立体的に作ろうということになり次回完成するのが楽しみです。
- ・自分たちの班が公園にたくさん取り入れてくれたらなと思います。
- ・みんな、しっかりと考えていてそれを聞くのが面白かった。楽しかった！！
- ・とても楽しかった。
- ・話し合いの内容がとても分かりやすく賛成論ばかりでした。公園の新しいネームがコフンと混ざっていいネーミングだなと思いました。

⑤ 第5回

- ・カラーコピーできれいに表せたと思います。ネットも使えて、とても考えやすかったです。市長さんに思いを伝えるのをがんばります！
- ・設計図がついに完成！！はじめは完成するかわからなかったけど、みんなでがんばってできた！！めっちゃ楽しかった！！
- ・自動販売機のこと
- ・工作が楽しかった。ぎりぎりできた(汗)
- ・自分の身近にある公園に意見が言えたのは良かったと思う。
- ・班の中の最年長なので引っ張っていったかなと思う。サポーターの方の手助けもあってよかった。デザイン画も整ってよかった。
- ・立体的な模型が完成したので達成感を感じられた。次回が市長に説明なので緊張しないようにがんばりたい。
- ・実現したらどの公園も良いと思う！
- ・完成できた！細かいところまでできたのは良かった！
- ・遊具の配置がうまくできたのでうれしいです。
- ・人の提案を聞いたりパソコンで寸法を調べて張り付けていくのが、楽しかったです。



3 アンケート集計結果

第5回奈良市子ども会議の際には振り返りシートの他に奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 15名

(問1) 奈良市子ども会議のことを何で知りましたか。(1名からの複数回答あり)

選択肢	人数	%
しみんだより	1	6%
チラシ(学校)	1	6%
学校での案内	9	56%
奈良市のホームページ	0	0%
子育て@なら	0	0%
子ども未来部Twitter	0	0%
友達や保護者からの紹介	2	13%
口コミ	0	0%
その他	3	19%
計	16	100%

(その他)

・昨年参加したから(3人)

(問2) 奈良市子ども会議についてご満足いただけましたか。

選択肢	人数	%
満足	11	73%
やや満足	3	20%
普通	1	7%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	15	100%

(その理由)

【満足】

- ・楽しく話し合いができたし、交流できたから
- ・公園で「作る」と言う事が好きで皆でできた達成感！！
- ・自分の意見が公園の一部になったから
- ・楽しかって、いっぱいしゃべれた
- ・自分の意見や他の意見が聞けた
- ・いろんな意見が飛び交って面白かったから
- ・やる気のある小中学生と話せて楽しかった。
- ・積極的に意見を言ってくれる人ばかりで意見交換ができたから
- ・図書カードの配付
- ・実際に公園をみたり、工作したり。
- ・みんなと話し合えたから

【やや満足】

- ・いろいろな人と話し合えて楽しかった。
- ・たくさんの遊具が知れた。会議が好きだから。

【普通】

- ・小学生暴走

（問3） 奈良市子ども会議を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	10	67%
できた	5	33%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	15	100%

（問4） 奈良市子ども会議に参加して、奈良市のまちづくりにより興味・関心をもつことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	10	67%
できた	5	33%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	15	100%

（問5） 奈良市子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	9	60%
参加したい	3	20%
どちらともいえない	3	20%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
計	15	100%

（問6） 来年も奈良市子ども会議に参加するとしたら、どんなテーマで話し合いたいですか。

- ・奈良市の留学について
- ・戦争なき世界
- ・とても明るいテーマ
- ・夢
- ・来年はじこについてしたい
- ・町をきれいにすること

- ・奈良市のプール
- ・奈良のおみやげ。子どもがすすんで食べたいお菓子
- ・学校の設備など身近なこと
- ・自転車道設置
- ・学校について
- ・おまかせ
- ・小学校や中学校にクーラー
- ・少しあぶない遊びができる場所
- ・成績制度について

（問7） 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいところなど、自由に感想や意見を書いてください。（開催時期、回数、場所、内容など）

- ・とても楽しく意見を話せました。とても満足です。ぜひ来年もやってほしいです。
- ・図書カードを1,000円にしてください。
- ・良いところで、休憩時におやつが出たのはよかった。
- ・みんなとよくしゃべった
- ・他の人の意見も聞ける
- ・みんなと最初に仲良くなれた気がして楽しかった。
- ・時間、時期ちょうどいい。内容も楽しく話やすかった。来年は受験生なので、いけないのがさびしいですが、また、小中学生と関われる機会がほしい。大学生とも関わりたい！
- ・お菓子がおいしかった。
- ・小学生暴走
- ・回数はもう少し増やしたら良い！
- ・なし（満足）
- ・公園を実際に見に行ったところは良かった。たくさん細かいところまで話し合えた。
- ・回数がもっと多い方がいい。
- ・良かったところしかありません。



Ⅲ 奈良市子ども会議意見書

奈良市子ども会議で出された子どもたちの意見をまとめ、市長に提出するための意見書を子どもたち自身の手で作成しました。その内容は次のとおりです。

平成30年度奈良市子ども会議では、参加者募集の段階から全体のテーマを「子どもの遊び場」に絞り、奈良市内に実際にある「芝辻四丁目緑地」の再生計画について4つのグループにわかれて議論を行いました。

そして、出された多くの意見を模造紙にイラストにしてまとめ、その提案のアピールポイントやその理由について意見書にまとめてくれました。

今後、提案されたご意見を参考に公園の整備を次の段階に進めていきます。

なお、この意見書の原本は子どもたちによる手書きの意見書になっていますので、この報告書の別冊資料としてその写しを添付しています。

[テーマ・グループメンバー一覧]

「いろんな地域から人が集まる公園」

原田 碧 川口 虹波 渋谷 一心 須川 敬 大庭 遼吾

「どんな人でも楽しめる公園」

野田 望未 矢崎 友萌 藤本 レイナ 垣岡 夏季

「奈良ふれあい公園」

大本 幹英 赤阪 武紗志 守屋 野香 田中 誠

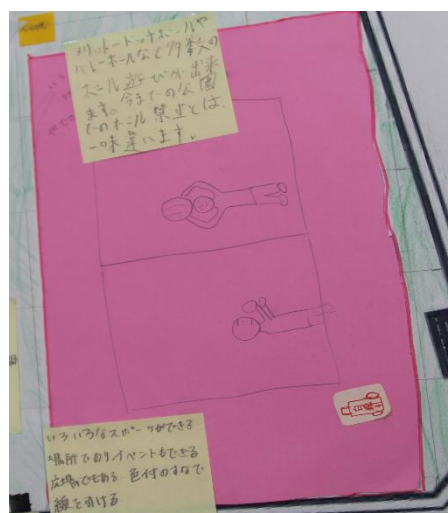
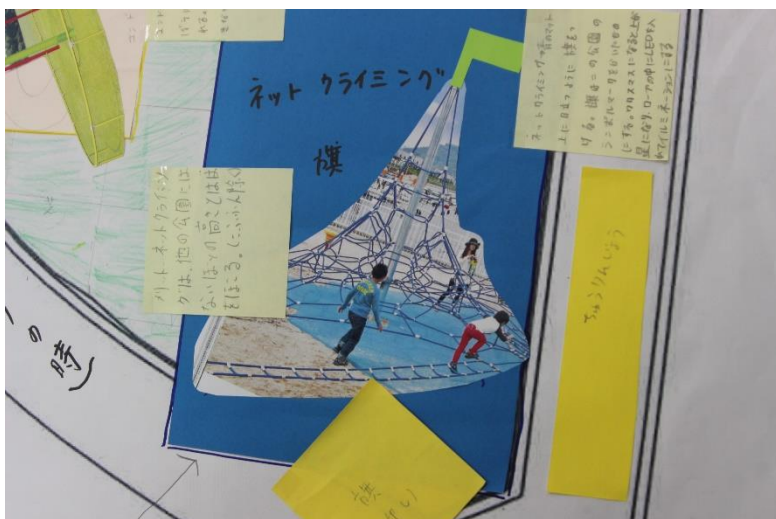
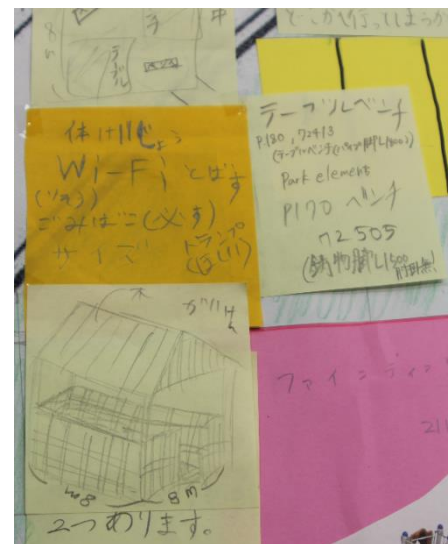
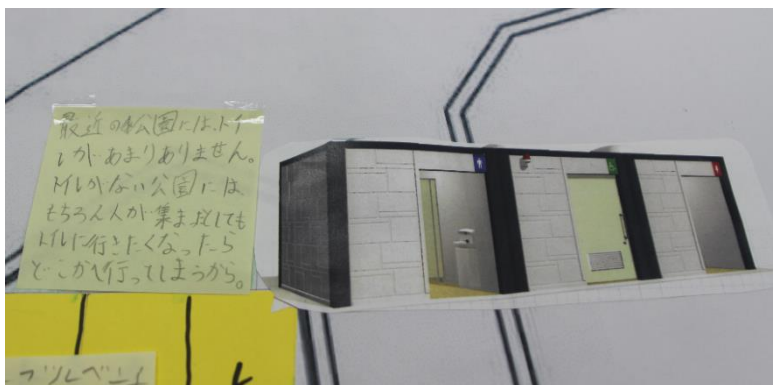
「地元の人が来やすい公園」

伊藤 虹架 吉岡 初音 松田 愛子

(途中欠席のため、グループには未加入の参加者)

東元 博樹 馬場 充希 上田 夫雅 上田 笑世

(1) 「いろんな地域から人が集まる公園」意見書



[テーマ] いろんな地域から人が集まる公園

[提案とその理由]

- ・ ネットクライミングがメインで作られている！
→ 頂上にはシンボルの書いてある旗がある！
(クリスマスにはイルミネーションされ、旗が星に変わる)
- ・ 球技広場の線はふつうの砂を使う(石灰は危ない)
- ・ 球技広場でイベントができる。
- ・ 名前は芝ふん。→ 芝辻四丁目と芝生から
- ・ 安全のために遊具の周りにマットを敷く。
- ・ トイレは「3つ」作る(男・女・多目的)
- ・ 入口は車いすの人も通れるように広くする。冷水器も車いすの人が使いやすいデザイン。
- ・ 川のまわりは屋台をつくる。

トイレ

最近の公園にはトイレがありません。トイレに行きなくなったらどこかに行ってしまうから。
ファインディング

難易度の高い遊具がたくさんあるので、おもしろいです。すべり台が2つあります。
色は写真通りで安全区域はピンクのゴムマットです。

ネットクライミング

この「芝ふん」メインの遊具です。高さが自慢。
上にシンボルマークを描いてある旗をつける。クリスマスになると上が星になり、ロープの
中にLEDを入れてイルミネーションにする。色は写真通りで、安全区域は青のゴムマット。

球技場

ドッジボール、バレーボール等、多数のボール遊びができる！ボール遊び禁止の公園とは
ちがいます。
スポーツはなんでもできて、イベントができる！色付きの砂で線を引ける芝！

屋台

お祭りのときは屋台ができる！

エンドレスレールウェイ

レールウェイがある公園は少ないのでほしい

休憩場

トランプをおいて、Wi-Fiをとばす

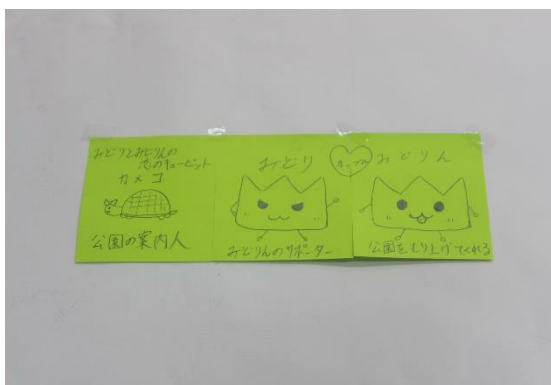
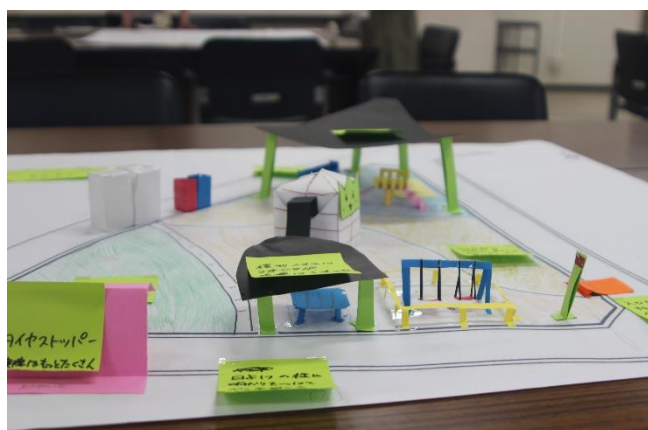
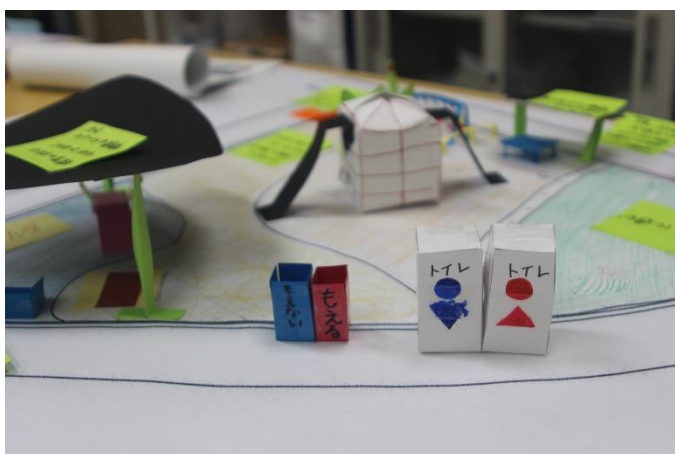
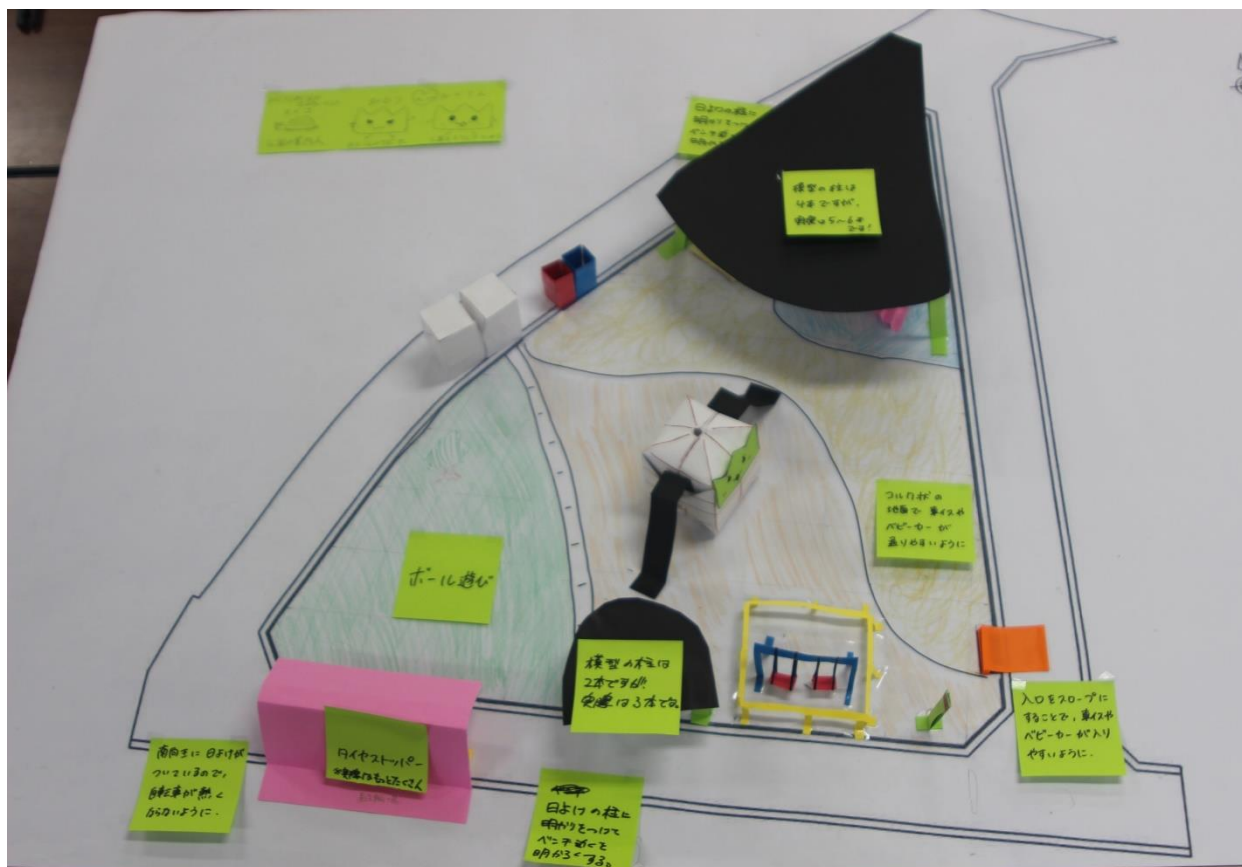
駐車場

なし(あたりのをつかって)

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- 公園を作る手伝いをする(アイデアや仕事も)
- ・ ポスターや呼びかけで公園を広める。
 - ・ 草刈り、トイレ掃除をするなど、整備を手伝う。
 - ・ 私たちも実際に行って楽しむ。

(2) 「どんな人でも楽しめる公園」意見書



[テーマ] どんな人でも楽しめる公園

[提案とその理由]

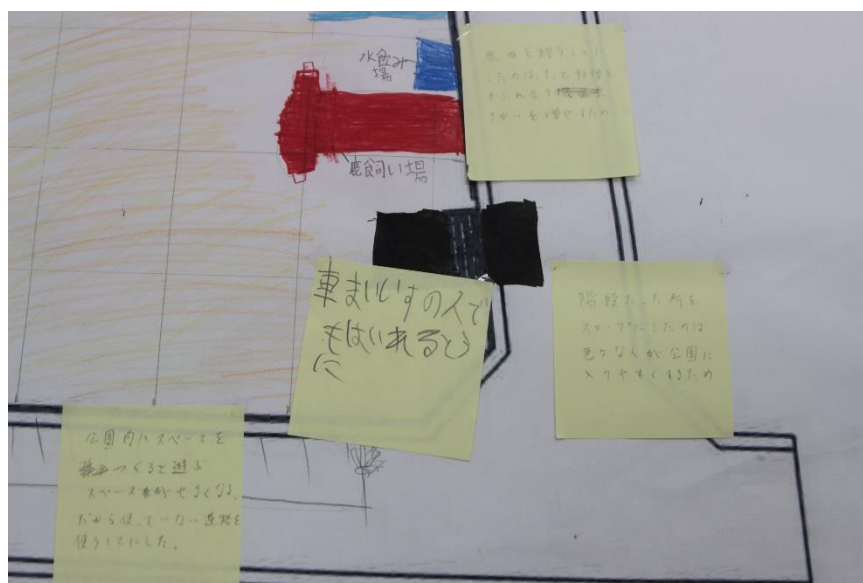
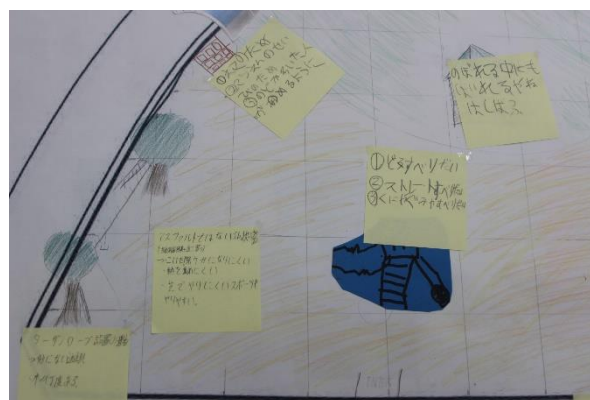
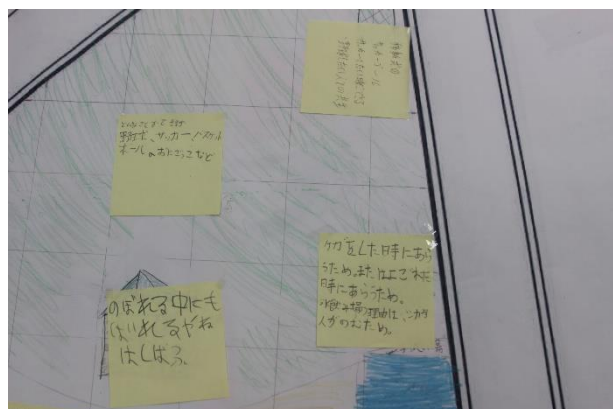
バリアフリーと駐輪場

- ・ 入口をスロープに
 - 車いすやベビーカーが入りやすいように
- ・ 日陰用の屋根を傾ける
 - 雨が降ったときたまった雨水が流れるように
- ・ 日避け用の柱に明かりをつける
 - ベンチ近くを明るくするため
- ・ 駐輪場をつくる
 - 遠くからでも来てもらえるように
- ・ 駐輪場にタイヤストッパーをつける
 - 自転車のドミノ倒しを防ぐため
- ・ 公園の中の通路はウッドチップに
 - 車いすやベビーカーが通りやすいように

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

宣伝します！

(3) 「奈良ふれあい公園」 意見書



[テーマ] 奈良ふれあい公園

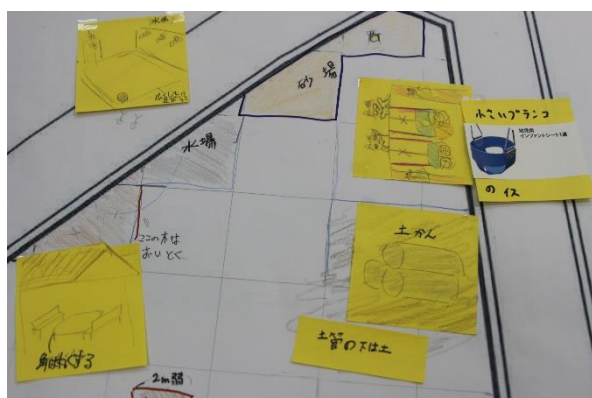
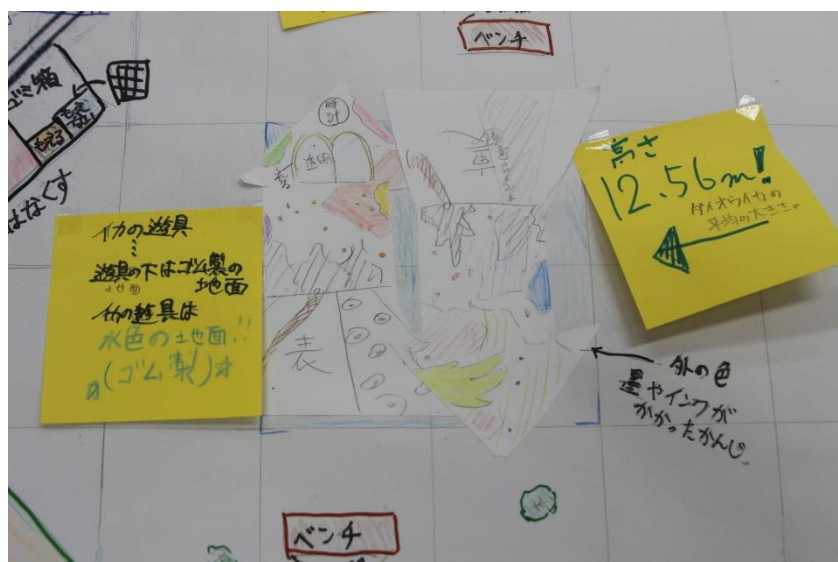
[提案とその理由]

- ・ スロープの出入口
 - 障がいのある人でも出入できる。車いすも入れる。
- ・ 鹿の飼育コーナー
 - 今までにないスタイル。奈良の鹿に子どもから興味をもってもらいたい。
- ・ 水道
 - 熱中症予防・ケガした時の初期対応が可能・鹿への給水
- ・ 手洗い
 - これまでは駅まで行かなければトイレはなかった。今回できたら、利便性がよくなる！
- ・ 多目的広場
 - 普段はスポーツ、イベントもできる。人口芝により、手入れ回数も減る。
- ・ シンボル
 - 新しいスタイル。ロープ、丸石で登れる。
- ・ ターザンロープ
 - 市内、特に街にはほとんどないので、子どもの間で話題になる！
- ・ 3本すべり台
 - 上の部分から3本のすべり台にすべれる。曲がったコース・最後が泥・真っすぐ

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

熱意。

(4) 「地元の人が来やすい公園」意見書



[テーマ] 地元の人が来やすい公園

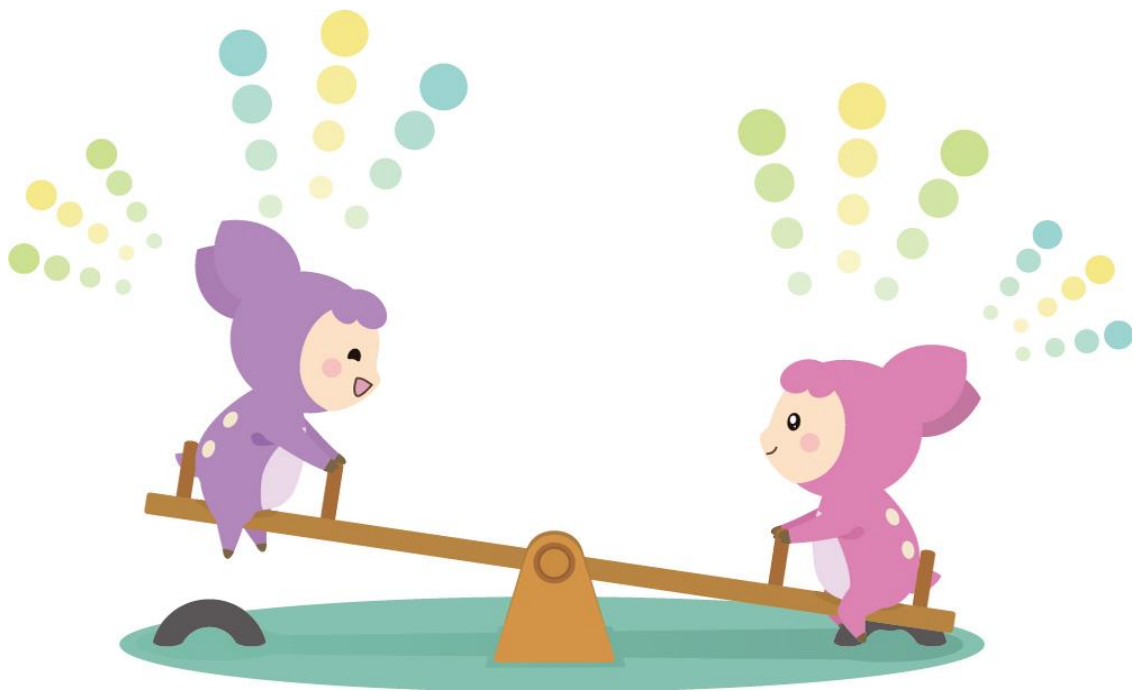
[提案とその理由]

- ・砂場
→ 公園によくあるし、小さい子も遊べる。
- ・駐輪場
→ 近くでも自転車で来れないと行きたくない。あと、少し遠いところでも来れる。
- ・トイレ+ごみ箱
→ 男・女・多目的と分けて、大人や小さい子も使用できる。
赤ちゃんがおむつ変えられる台もあったらいいな。
- ・ベンチ
→ 屋根つきで木から虫が落ちてくる心配がない。机とベンチを置いて軽食を食べれたり、休憩できる。熱中症で倒れたときも休ませれる。
- ・水場
→ 小さい子が足つけて遊べるように下を広くする。それと、ケガをしたときに広い方が洗しやすい。（ひざとか）
上向きの蛇口をつけて水を飲みやすいようにする。
- ・入口
→ 手すり+スロープで誰でも公園に入れる。
- ・ブランコ大・小
小：1～3歳専用 マスコットキャラ使ってみたい
大：3歳以上～中学生くらいまでの普通のブランコ
→ 2つに分けたのは大ブランコの前に小さい子が来たりしたら危ない。
- ・ボール遊び場
→ 最近、ボール遊び禁止の公園が多い。遊びたいのに遊べないので公園に行く理由が減る。
ボールが飛んでくると危ないから、高さ10mくらいのネットがほしい。地面は砂。
- ・土管
→ 某アニメに似せたかった。昔ながら（？）
- ・ルール・掲示板
→ 2つに分ける。入口2つに1個ずつ

ルール	掲示
- ・イカの遊具
→ まず目立つような遊具でわかりやすいタコにしようと思ったが、既にあったので、イカでもいいんじゃないか！細かいところは別紙。
- ・地面
→ イカの遊具の下は青で海っぽくゴム製。他は芝生。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

私たちができることは、公園を作る時、重い荷物などを運びます！！
なので、ぜひイカ公園をつくってください！！





平成30年度奈良市子ども会議集合写真

第1回奈良市子ども会議開催時撮影(平成30年7月24日)

平成30年度奈良市子ども会議報告書

平成30年11月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話:0742-34-4792 FAX:0742-34-4798

E-mail:kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証に関する報告書（案）
（第１７条 子どもの居場所・遊び場づくり）

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会について・・・・・・・・	2
3	奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条について・・・・・・・・	3
	【 関連資料 】・・・・・・・・・・・・・・・・	8

1 はじめに

奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会（以下、「部会」といいます。）は、「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」（以下、「条例」といいます。）第19条第3項に基づき、子ども・子育て会議（全体会議）に対して本報告を行います。

同条は、「条例の運用状況」と「条例の規定に基づく事業等の実施状況」について、これを定期的に検証することを市に課しています。本報告は、その市の検証に資するため、私たち7名の委員が、鋭意検討を重ねてきた結論であります。

今次は、部会が昨年10月から本年11月まで都合4回にわたり、**条例第17条「子どもの居場所・遊び場づくり」**について審議しました。各回いずれも委員相互の熱心な質疑や討議により審議を重ね、また事務局とも連携・協力して検証作業を深めて参りました。

会長及び全体会議においては、条例が目的とする「子どもにやさしいまち」のより一層の実現に向け、条例第19条に基づき、本報告の積極的な活用を図られますよう、部会委員一同心より期待するものであります。ご高配のほど、よろしくお願い申し上げます。

2 奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会について

奈良市では平成27年4月1日に施行された「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」（以下「条例」という。）第19条第3項の規定に基づき、奈良市子ども・子育て会議においてこの条例の運用状況について検証を行う必要があります。

そして、この検証を集中的かつ効率的に行っていくために奈良市子ども・子育て会議の部会として子ども条例部会が設置されました。

[子ども条例部会の所掌事項]

（奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会設置要領から抜粋）

- （１） 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例（平成26年奈良市条例第51号。以下「子ども条例」という。）の規定に基づく事業等の実施状況の検証に関する事項
- （２） 子ども条例第12条に規定する子ども会議の運営に関する事項
- （３） 前2号のほか、子ども条例に基づく施策の推進に関し必要な事項

子ども条例部会においては、平成27年度から開催されている条例第12条に基づく「奈良市子ども会議」の運営やその検証についての審議を行うとともに、奈良市の子ども・子育て支援事業計画「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」に掲載されている116ある事業（※）の進捗管理において、各事業担当部署に条例第11条に基づく事業の自己評価を求め、その結果に対する審議を行いました。

また、このプランに掲載された事業について、条例の視点を踏まえ不足している部分等がないか審議するため、条例第14条「困難を有する子どもとその家庭に対する支援」の検証に引き続き、条例第17条「子どもの居場所・遊び場づくり」の検証を行いました。

（※ 平成29年度にプランの内容に関する見直しを実施し、現在は114事業）

3 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条について

奈良市の取組として奈良市子ども・子育て支援事業計画「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」に含まれる関連事業（15事業）やその他関連事業等についてまとめた資料が示されました。それらの資料をもとに、子ども条例部会では、この条例第17条の内容について、「市、保護者、地域住民、子どもが育ち・学ぶ施設の関係者及び事業者」のそれぞれの立場から主体的にできること、取り組んでいること等について、各委員が意見を出し合い、検証を行いました。

（子どもの居場所・遊び場づくり）

第17条 市、保護者、地域住民及び子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、子どもが安心して過ごすこと及び自然との触れ合いや遊び等様々な体験や子ども同士の交流をすることにより、豊かな自己を育むことができる居場所・遊び場づくりに努めるものとする。

1. 子どもの居場所・あそび場とは

検証を始めるにあたって、まず、「子どもの居場所・遊び場」とはどういったものかについて考えました。

条例17条の主旨は、子どもは自らの権利として、豊かな自己を育むために必要な居場所を得ることができ、遊ぶ機会と場所が保障されると明記しています。また、その子どもの権利への応答として、市、保護者、地域住民及び子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、子どもの居場所と遊び場づくりを推進する指針や計画を作成する役割（積極的な努力義務）を担うと定めています。

条例第2条1項の基本理念である「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」第31条において「子どもの休息・余暇・遊び・文化的・芸術的生活への参加の権利」を定めていますが、条例17条はこの権利の実現を目的とするものです。

① 子どもの居場所とは、安心して、ありのままの自分でいられるところ。

自己肯定感をえられるための時間と空間と関係（人や事物や自然との関係性）です。

② 遊びは、一人ひとりが気の向くままにしたいことができる時間と自由度という広い意味を

持っています。遊びは、子どもに特有な探索と思考の両面の統合作用であり、大人に支配されることなく、特別の決め事もない、子ども自身の状態を指します。楽しさの追求として、仲間といっしょに活動することを含みます。子どもの遊び場とは、以上のような遊びの機会を保障する場所です。

2. なぜ居場所・遊び場が必要か

次にその、「子どもの居場所・遊び場」がなぜ今、必要なのかについて考えました。

遊びは、第1に子どもの生活をより豊かにします。一人ひとりの子どもの可能性が花開くために必要な条件です。第2に、子ども時代の質を保証し、子どもの発達条件を権利として保障する上で、より高い快適さを推進するとともに、学ぶ権利など他の権利の実現のために欠かせないものです。第3に、子どもの健康と幸福に不可欠です。それは子どもの創造性・想像力・自信・自己有用感・身体並びに社会的な認識・心の強さ・身体の器用さを育みます。第4に、子どもたちの交渉力・感情の抑制・争いごとの決着・意思決定といった能力を促進します。こうした活動に没頭することを経験して、自らを取り巻く世界を知り、自分の立場を理解します。第5に、家族やコミュニティそして社会の文化を引き継ぎ、模倣（ごっこ遊びなど）し、創造し、発信します。また、子ども時代の文化を通じて、異なった文化環境に接近したり、新しい文化を生み出したりする先頭集団でもあります。第6に、食物や住居、健康管理、教育などと同じように重要です。十分な休息が、参加に必要な活力や動機、体力、精神力を養います。のんびり休むことは心の赴くまま、時間・空間の拘束を受けずに過ごす不可欠な余裕です。（国連子ども権利委員会・一般的見解 第17号より）

このように居場所や遊び場が重要であるにもかかわらず、

- ① 環境の変化によって、家庭や学校以外での子どもの居場所・遊び場が少なくなっている。
- ② 放課後を子どもだけで過ごす家庭の増加や、事故や事件の不安から、子どもが安心して過ごすことのできる場所が必要になっている。

3. 今、何が足りないか（課題）

「子どもの居場所・遊び場」の必要性を踏まえたうえで、今の奈良市で行われている事業に関する資料をもとに奈良市に今、なにが足りないかを検証しました。

- ① 居場所や遊び場を考えるにあたって、利用する子ども自身や地域の方の参画を通して、地域全体の意見を取り入れながら、進める体制が重要である。
- ② 木登り・水遊び・どろんこ遊び・火遊び（たき火）など自己責任で自由に遊ぶプレーパーク（冒険遊び場）が必要である。
- ③ 公園は制限が多く、天候によっては使えないこともあるため、集まったり遊んだりできる室内の居場所・遊び場が必要である。
- ④ 中高校生向けの児童館（バンド練習・ミニバスケットボール・自習室など）の設置が望まれる。
- ⑤ 障がいのある子どもや外国にルーツをもつ子ども、LGBTQ（セクシャルマイノリティ）の子どもたちの居場所の確保が重要である。
- ⑥ 子どもの居場所を福祉の視点からとらえる意味でも子ども食堂や学習支援等の充実が必要である。就労支援・ひきこもり・10代の親の支援を含む
- ⑦ 取組の情報が適切に利用者等に届くように、情報の整理や情報の届け方について工夫が必要である。
- ⑧ 行政の施設を利用する際に規制が多く、居場所や遊び場づくりを進める妨げになる場合もあると思うので検討が必要である。

4. どのように取り組むか（方向性）

課題を検証することに加えて、その対策をどのように取り組むのか審議しました。

- ① 新しいものを一からつくるという考えだけでなく、今あるものを活用することが重要であると考え。例として、学校にある図書館の活用及び図書館司書の配置の充実を図り、子どもの居場所にできないかと考える。学校を活用することは、利用者である子どもにとっても安全で安心な居場所になると考える。
- ② 居場所や遊び場を考えるにあたって、子どもたちへの禁止事項を増やすのではなく、

自己責任の考え方を取り入れて、自由に活用できる方向性で進める方がよいのではないかと考える。

③ 奈良市が地域の自治会や社会福祉協議会等と連携して、地域も子どもの支援に関わって応援できる制度を作り、放課後に子どもが自由に遊べる工夫ができればよいと考える。

④ 事業者として行える取組は、家庭での親子で過ごす時間を少しでも多く持つってもらうため、働きやすい勤務時間を提供するといった労働条件面の整備や、子どもの突発的な病気などに臨機応変に対応できる体制づくりに取り組むことである。こうした取組により、家庭での滞在時間を増やすだけでなく、少しでも仕事によるストレスを減らすことで、親子とも充実した家庭生活を送ることができるかと考える。

⑤ 平成30年度の「子ども会議」では「子どもの遊び場づくり」について子ども参加者が議論し、市長へ提案したが、その提案の実現を目指す。

⑥ 居場所・遊び場づくりの事業には共通する内容が多いと感じる。各事業同士の連携をさらに強化し、奈良市全体として総合的に取り組むことが重要であるかと考える。

⑦ 各施設や団体で協力をし合うための SNS グループをつくるなど、施設の枠を超えた交流があればよいと考える。

5. 子どもの居場所・遊び場づくりにおける留意点

最後に、子どもの居場所や遊び場づくりをする上での留意点についても審議を行いました。

① 居場所・遊び場づくりにおいて、計画段階から子どもの声を取り入れることが重要だと考える。

② 子どもの居場所・遊び場づくりの取組について、ただ、行うだけでなく、広報を併せて行い、奈良市の魅力として発信していくことも重要である。

③ 防犯や安全の視点から、子どもにとって身近で行きやすいところであることも重要である。

6. 提案

1 から 5 までの意見を踏まえ、次のとおり提案する。

- ① 「子どもの居場所づくり」や「子どもの遊び場づくり」を推進に関する指針及び実施計画を策定することを求める。

ここでいう指針及び実施計画とは、市が直接子どもに居場所や遊び場を提供することだけではありません。広く市内の子ども施設や保護者・市民などにも呼びかけて、居場所・遊び場づくりの意義を具体的・積極的に奨励することを意味する。

奈良市は全国的に学習活動に熱心な風土であり、保護者も学習する権利のみに関心が傾きがちです。ともすればないがしろにされがちな「居場所・遊び場づくり」の大切さを市は広報し、子育て世代がより暮らしたくなる自治体を目指す。

- ② 市は、公民館や図書館などの公共施設や、「バンビーホーム」などの放課後活動、さらには条例により設置された「子ども会議」、その他民間を含む多様な施設や活動、行事等々について、それらを「子どもの居場所・遊び場づくりの推進に関する指針および実施計画等」に位置づけ、子どもの居場所・遊び場づくりを積極的に奨励する役割を担うことを提案する。

【 関連資料 】

資料 1 : 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランにおける

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第 17 条に該当する事業一覧

※「No.」は奈良市子どもにやさしいまちづくりプランにおいて各事業につけられている番号。(1～114)

事業名 (No. 25)	放課後児童健全育成事業
担当課	地域教育課
内容	保護者が就労などで昼間家庭にいない世帯の小学生を預かり、放課後児童健全育成事業施設内において、集団生活を体験させながら、健全育成を図ります。

事業名 (No. 26)	放課後子ども教室推進事業
担当課	地域教育課
内容	放課後等に小学校等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得てスポーツ等交流活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行います。

事業名 (No. 27)	教育センター学習事業
担当課	教育支援課
内容	教育センターのキッズ学びのフロアの設備を活用した体験教室等を開催することで、子どもたちの豊かな学びを保障し、創造性や探究心を育てます。

事業名 (No. 28)	青少年野外体験施設の運営管理
担当課	生涯学習課
内容	自然環境の中での野外活動やレクリエーション活動を通じて、青少年の心身の健全な育成を図ります。

事業名 (No. 29)	児童館事業の充実
担当課	子ども育成課
内容	児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点としての事業を行い、より開かれた児童館をめざします。

事業名 (No. 30)	スポーツ体験フェスティバルの開催
担当課	スポーツ振興課
内容	「体育の日」にちなんで、スポーツの裾野を拡大し、「見て、触れて、体験」することにより、子どもたちがスポーツに親しみ、取り組む足がかりとなる場を提供します。

事業名 (No. 31)	スポーツ少年団の育成
担当課	スポーツ振興課
内容	スポーツ少年団事業として魅力ある本部事業を展開し、団への加入を促進することにより、子どもたちのスポーツの継続的な活動を促進します。

事業名 (No. 32)	子どもを対象とした文化事業の実施
担当課	文化振興課 奈良町にぎわい課
内容	子どもたちが優れた芸術や伝統的な芸能等、文化に親しむ機会を設けます。

事業名 (No. 33)	アウトリーチ活動の実施
担当課	文化振興課
内容	学校教育との連携を図り、子どもたちが芸術文化に親しむ機会を充実させます。

事業名 (No. 58)	地域子育て支援拠点事業
担当課	子ども育成課
内容	乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。

事業名 (No. 59)	子育てスポット事業
担当課	子ども育成課
内容	公共施設の空きスペースで、月1～2回、乳幼児と保護者が気軽に集って、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。

事業名 (No. 60)	子育てスポットすくすく広場事業
担当課	子ども育成課
内容	福祉センターで、主として乳幼児（0～3歳）と保護者が気軽に集える場を提供し、高齢者から昔ながらの遊びや昔話を教えてもらうなど、異世代間における交流を行います。

事業名 (No. 61)	市立こども園の地域活動の推進
担当課	こども園推進課
内容	地域に開かれたこども園として、地域の様々な人との交流を推進するとともに、未就園児の親子登園や子育て相談を実施する等、地域の子育て支援の拠点として子育て支援の充実を図ります。

事業名 (No. 62)	地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進
担当課	こども園推進課
内容	地域の仲間とふれあう機会が少なくなっている幼児や、子育てに孤立感・不安感を抱えている保護者のために、園庭・園舎を開放し、在園児との交流や未就園児の親子登園を実施します。

事業名 (No. 63)	公民館での各種教室・講座
担当課	生涯学習課 (奈良市生涯学習財団)
内容	公民館の特性を生かし、各年度において、各種子育て支援事業を実施します。 ①親子が集える「場」の提供・情報提供事業 ②子育て支援教室・講座（保護者対象）

	③体験教室・講座（親子対象） ④体験教室・講座（児童対象） ⑤地域の子育て力向上をめざした教室・講座（市民対象）
--	---

1	事業名	奈良市子ども会議開催事業	担当課	子ども政策課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
子ども会議の雰囲気伝えられる様な媒体、名前、サブタイトルが必要ではないかと感じました。例えば、【「市長と直接対話してみたい！」そんな希望を叶えるチャンス！】であるとか、「やってみたい」という気持ちを刺激する様な、一言があればよいと思います。また、保護者に控室があるとよいのではないしょうか。他にも、キッズスペースがあること、駐車場無料、傍聴可能（退席自由）等の案内があれば、保護者に対してウエルカムな思いが、伝わるのではないのでしょうか。			参加者募集等で、より多くの方に興味を持っていただけるように、募集チラシや案内方法についてご意見を踏まえて工夫していきたい。	
テーマの選定を含め、積極的な取組は評価できます。初回から提出されている市長への提案について、具体的に検討されているかの発信が必要ではないでしょうか。			また、子ども会議に興味はあるが、日程や開催場所等が原因で参加しにくい子どもたちや、その他様々な事情の子どもたちの意見表明の機会として、参加者募集に併せて、学校等と連携し可能な範囲で簡単なアンケート等ができないかも検討したい。	
子どもの多様性を尊重するような、あらゆる年齢層、ひとり親家庭、外国籍の子ども等の少数意見にも耳を傾ける工夫ができるともっと豊かな会議になると思います。			さらに、これまでの子ども会議で出された提案に対するその後の取組について、進展しているものは子どもたちに伝えていけるように、積極的に情報発信していきたい。	
さらに広域での参加者を募るため、これまでの実績を様々な手法で情報発信し、特に学校との連携をこれまで以上に強化してほしい。また、開催場所も固定せず、いろんな場所で開催してはどうか。			これまでの子ども会議のテーマ設定等については、より話し合う時間を多くとるため、事前に設定するやり方を取り入れていたが、奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会での審議等を踏まえて検討したいと考えている。	
市政に関心を持つといった側面からは参加する子どもたちにとっては意味ある取組となっており、参加者の満足度も高い。運営に関してはスタッフ、担当課の努力によるところが大きいが、柔軟に対応する参加者の子どもたちに助けられている部分もあると思われる。				
その一方で、テーマ設定や会議の流れ、会議のゴールのあり方など、大人が子どもに「こうしてほしい」という意図が年々顕著になっているようにも感じられ、子どもたちの自由な意見を出し合える会議となっているのかが不安である。スタッフの学生やリピーター参加者も巻き込んだ形で、子ども会議自体の今後のあり方を話し合うような場が別にあっても良いように感じられる。				
子ども会議の活動について情報発信していくことは来年以降の募集につながっていく。				

2	事業名	教育・保育施設及び地域型保育事業の整備	担当課	子ども政策課 保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
待機児童解消に向けた受け皿の確保は、喫緊の課題であるため、目標に掲げた数値をしっかりと実現できるよう取り組んでもらいたい。			保育ニーズの高い地域を重点的に幼保施設の新設、分園の設置、既存施設の改修や私立幼稚園のこども園化等による受皿の確保を進めたことから、待機児童数が減少しているが、その解消には至っていない。	
一方で、ただ受け皿だけを増やし、数字上だけの解決を目指すのではなく、子どもの育つ環境をどのようにしていきたいのか、どんな環境を提供していきたいのか、子育て環境のデザインを踏まえて整備を進めてほしい。			今後も少子化による児童数の減少に加え、平成31年度に実施予定の幼児教育無償化による新たな保育ニーズの増加にも注意し、需給バランスを考慮した受皿の確保が必要である。そのため、適切なニーズ把握に努めると共に、市立幼保施設の再編だけでなく、民間活力を積極的に活用した対策を実施していきたいと考えている。	
施設整備を積極的に推進され、定員増・入所児童数を拡大、待機児童を減らしてきたことは高く評価できる。但し、待機児童解消“0”を目指すという点では依然ハードルは高い。				
平成29年に行った「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」見直し後の最終年度（31年度）の保育希望率は2号で49.9%、3号の1・2才児では45.0%という数値見込みであり、目標設定そのものに疑問が残り、更に、政府が予定している保育・幼児教育無償化が実施されれば、先行実施自治体の状況からも、入所希望の更なる増大が予想されることから、数値目標を抜本的に見直し、待機児童増加地域への更なる施設整備が必要と考えます。				
また、施設整備だけでなく保育士の待遇改善も重要な課題です。保育士の待遇改善にも思い切った予算措置が必要です。一方で、既存園では、定員を大幅に超えた詰め込み保育の問題も深刻です。				
本プランでも指摘しているように「乳幼児期における教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」であり、本条例の理念でもある「子どもの最善の利益を保障する」観点からも、詰め込みを前提にするのではなく、子育て世帯からの最もニーズの高い公設公営も含めた認可保育所の整備拡充へ、基本施策を転換していくことが望ましいと考えます。				
保育ニーズは多様になる少子化の中で、大規模な施設整備を伴わず、きめ細かい小規模保育や家庭的保育の必要性は高まると考えます。待機児童解消というだけでない子育て支援の視点を盛り込んだ小規模保育の実現を期待します。				
働き方が多様になり、それぞれの家庭にあった多様なメニューが必要である。無償化に伴い、幼稚園という選択肢も広がっているため、待機児童解消について考えるにあたって、施設整備だけでなく、民間園との連携など全体的な視点が必要であるように感じる。				
民間と一体となって目標に向かうことが大切であり、その一致した目標に向け、どのように事業を進めていくのかということが（見えることが）必要である。				

3	事業名	市立こども園の設置	担当課	子ども政策課　こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
幼保連携型認定こども園の設置運営基準では、3才以上の園児については「同じ年齢での学級編成が原則」とされています。そのことから、 ①　生活リズムの違う子どもたちを同一クラスにすることによる問題 ②　長期休暇のあるなしによる経験の違いによる保育の調整の大変さ ③　3才児クラスでの保育経験のある子どもとない子どもを同一クラスにすることの問題 ④　幼稚園教諭と保育士の勤務条件、保育観等のちがいによる調整の大変さ ⑤　保護者会、P　T　Aの違いによる保護者の活動の困難さ 等が指摘されており、保育の質にかかわる大きな課題となっていると思われますが、このような視点からの評価も必要ではないでしょうか。 そもそも、既存の幼保や認定こども園にしても幼稚園型、保育園型の検討がされていないのではないのでしょうか。今後、幼保のすみわけを基本にしつつ、認定こども園での1号の子どもの保育時間の延長、幼保別のクラス化等を検討されることが必要かと思います。			市立幼稚園の過小規模化及び保護者の保育ニーズの多様化に対応するため、市立幼保施設の再編実施方針に基づき、市立幼保施設を再編し、計画的に認定こども園への移行を行っている。また、市立こども園の設置に加えて、民間移管による私立幼保連携型認定こども園の設置に向けた取組を進めている。 今後も保護者ニーズの適切な把握に併せて、様々な視点から現状把握に努め、更なる教育・保育の充実に向けて取り組んでいきたいと考えている。	

4	事業名	幼稚園等の一時預かり事業	担当課	こども園推進課　保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
昨年度の対応欄において、「各園でアンケート調査等によりニーズを把握したい」と記載があって、当該年度について「保護者のニーズに応え」とあったが、具体的にどのようなニーズであったのか明確に示してほしい。			公立園の一時預かり実施園にアンケート調査を行った結果、就労・育児軽減・学校行事への参加により利用されている方の割合が高く、受入体制を整え一時預かり事業を行った。今後、全園に対して調査を行うことで、一時預かり実施園以外のニーズも把握していきたいと考えている。	
私立幼稚園は、すでに一時預かりを行っている。これに対して補助をしていくということになるのか。公私ともに一時預かりを含めてどのように待機児童を減らしていくか総合的にどのように戦略立てられているか見えにくい。			私立幼稚園のうち、新制度に移行している園に関しては、一時預かりに対する補助を行っている。 短時間労働の保護者のお子様は一時預かりを利用することで、保育園等の利用をしなくても必要な保育時間を満たすことができるため、そのことが待機児童を減らすことにつながっている。	

5	事業名	保育所等の延長保育	担当課	こども園推進課　保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
延長保育も重要ですが、奈良市に住む子育て世帯の勤務先の実態等をふまえて、保育時間の延長等に対応をお願いします。			保育時間の区分については、国の制度に基づいて実施しており、保護者の就労形態に合わせて延長保育を利用できる体制をつくっている。延長保育の利用に関わらず、園と保護者が連携をとり、子どもの育ちを共に支える関係を大切にし、今後も取り組んでいきたい。 私立園については、新設園開所の際に延長保育事業実施を促しており、平成31年度にも、延長保育実施園数は増加する見込みである。利用園児数の減少については、その年度によって保護者の就労形態が異なり、就労時間によって必要時に延長保育を利用されるため、利用者数が減少となる年度もあるとともに、在園児数の減少も原因の一つと考えられる。 保育士の処遇改善についても国の動向等を踏まえ取り組んでいく。	
新制度により、保育短時間、保育標準時間の2区分となり、それを超えた場合は延長保育料が発生する仕組みとなり、特に短時間認定を受けた保護者は日々変動する仕事の終了時間とお迎えの時間のせめぎあいのなかで余裕を無くし子どもにきつく当たったり自責の念に駆られたり、逆に、保育時間が保育料の対価であり権利であると認識することで、子どもの迎えの時間が遅くなり、保育量が増大するといった弊害も生れている。保育で大切な子どもを保護者と保育者が共同して育てていくという意識が希薄化し保護者と保育士との間に分断を生むことなども懸念されており、こういった視点からの評価も検討すべきと考える。園や保護者から聞き取りするなど、実際にどうなっているのかを検証し、保育料の差が1.7%しかないなかで短時間・標準時間の区分をなくすことも含め再検討すべきと考える。			延長時間の拡大等、多様化する保育ニーズに対応するには保育士の確保や処遇改善など多くの課題解決が必要であるが、年々減少傾向にある利用児童数は私立保育所での実施園数が減少していることが原因となっているのでしょうか。 30年度は目標値も大幅に増加するが、目標達成に向けた利用しやすい施策が早急に必要であると感じる。	

6	事業名	休日保育事業	担当課	保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
保育コンシェルジュによる聞き取りと、ニーズの把握は必要ですので、今後もきめ細かな対応をお願いします。 保育ニーズはますます多様化していきますが、顕在化するニーズに応えるだけではなく、子どもにやさしいまちづくりにつながるようなニーズをしっかりとみ取ることも必要だと思います。なので、目標値の見直し等も検討してください。			保育コンシェルジュは保育士出身の相談員が子育てに関する情報を収集し、入所手続にあたって子育てのニーズを聞き取りで把握している。必要に応じて休日保育を情報提供しているが、奈良市では実施園が限られているのが現状である。	
休日保育については実施箇所が少ないため就労場所等への通勤時間の関係から預けにくく、実際には高額な自費による託児所へ預けるケースも少なくない。各園でアンケート調査を行うなどニーズの高い園で優先的に実施できるよう予算化の検討を。				
利用者実績が減少傾向となっているので、アンケートなどを通して利用者ニーズをしっかりと把握し、利用のしやすさや安心感を伝える情報発信を積極的に行っていただきたい。				
保育コンシェルジュの仕事内容、どのような人がコンシェルジュをしているのかを知りたい。休日保育は、サービス業の多い奈良市では、土日にも働いて欲しい企業が多い。企業側の思いと保育事情があっていない。休日、夜間の保育園が充実してほしい。				

7	事業名	夜間保育事業	担当課	保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
「保育コンサルジュ」の役割や、対応できる内容、どの場所で、どの様な相談を受ける事ができるのかといった情報提供がもっと必要だと思われます。			保育コンサルジュは保育士出身の相談員が子育てに関する情報を収集し、入所手続きにあたって子育てのニーズを聞き取りで把握している。必要に応じて夜間保育を情報提供しているが、奈良市では実施園が限られているのが現状である。	
保育コンサルジュによる聞き取りとニーズの把握は必要ですので、今後もきめ細かな対応をお願いします。				
多様な働き方の実現に寄与することになると思いますので、保育士の確保等に取り組みつつ、安定した受け入れを目指してください。				

8	事業名	保育所及び幼稚園等職員研修の推進	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
保育士や幼稚園教諭の質の継続的向上は必要不可欠ですので、一人一人がしっかり研修を受けられる体制確保をお願いしたい。 変化が激しく、また多様化する保育ニーズに応えるためには、様々な研修メニューが必要になるため、どのような研修を実施するのかについてもしっかり検討する必要がある。			研修体制及び研修内容については今後も引き続き、研修へのニーズを研修時や会議等で把握しながら内容の充実が図られるよう進めていく。また継続して、国立私立園も研修参加対象とし、奈良市としての就学前教育の充実を図っている。 職員が安心して働くことができる環境、継続して勤務できる職場づくりという点については、職員の確保への取組として就職フェアの開催、職員の処遇改善として平成29年度から臨時保育教育士の賃金ベースアップを行い、また、現場で働くことへの不安解消につなげるための研修会を実施し取り組んでいる。	
保育の質は研修も重要であるが、学びを実践に生かし、実践から教訓を導き出し職員みんなで共有することが重要です。経験を積み重ねていくためにも、その前提として、保育士が安心して働き続けられる環境をつくることが重要となってきます。奈良市内の認可保育所（公立・私立）で働く保育士の勤続年数を明らかにし、保育士の労働条件、労働環境の改善を図る中で、他の指標と同様に数値目標化することが重要ではないでしょうか。多くの保育士からは「保育所の中でその日の引き継ぎがやっとである」のが実感だと聞いている。特に、勤務形態に関わらず、自治体職員は市民サービスの担い手であり、経験ある職員の退職は市民の損失であるという認識が必要だと思います。また、本プラン、条例の基本理念、園児数からも公立だけでなく私立の職員についても園の経営者任せにせず同様の研修や勤続年数の延伸が保障されるよう一定の予算措置が必要だと考えます。				
研修を行うことも重要だが、その職員が辞めてしまえば、意味がない。このプランで取り入れるかは別として、指標の一つに、勤続年数を取り入れて、それが伸びていくような取組が重要ではないか。				

9	事業名	保育所及び幼稚園等と小学校との連携の推進	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
幼保から小学校への滑らかな接続は大事ではあるが、就学前の保育や教育を学校教育の前段として捉えることだけに課題を矮小化してしまうことがないようお願いしたい。乳幼児期という、人格形成の土台を育み、一人一人の子どもの発達を保障していく視点が薄れないよう、本プランの基本理念に則り、長期的な視点に立った連携のあり方についても検討していただきたい。			幼稚園教育要領等の改訂に伴い、小学校の接続が明確化され、研修等においても就学前の教育・保育を小学校の前段としての教育として捉えるものではないということを含めて教育・保育現場の職員は学び理解している。また、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」として明記されたものを基に、園生活において様々な経験を積み重ねた子どもの姿を「育ち」として伝えられるよう、幼保と小学校の相互の教育の取組への理解と共有を図り、連携を進めていきたいと考えている。	

10	事業名	特別な支援を要する園児への支援体制の充実	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
発達支援センターの予約も取りづらいとよく聞きます。本当に必要な子どもに支援が行き届いていない気がします。園で専門家に相談できる機会を増やすこと等をお願いしたいです。			・支援を要する園児に対して、まずは園の保育において適切な支援が行えるよう研修を実施している。また、園の相談役として特別支援教育コーディネーターの巡回などを行っている。研修についても様々なニーズがあることを考慮してさらなる内容の充実を図っていきたいと考えている。 ・エビペンを含む食物アレルギー児や個々のケアが必要な園児については園全体で把握し対応できる体制を整えている。	
支援体制の中に、エビペンを所持している食物アレルギーの園児や、ケアの必要な喘息やアトピー等も対象にしていいただけると助かります。				

11	事業名	公立保育所等の充実	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
民間保育所の保育士は処遇改善加算の適用等により、給与または手当等で処遇改善が行われているが、公立保育所職員は、条例による給料表の適用があるが、公立保育所に勤める保育士についても、処遇改善加算を適用できるよう制度の見直し等について努めていただきたい。			公立園の臨時保育教育士については、平成29年4月より処遇改善として、賃金月額8,000円のベースアップを行った。	
平成30年4月の公立保育園10園の正規職員数(再任用含む)は170名、非正規は180名、こども園15園の正規職員数(再任用含む)は151名、非正規は182名です。生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期を担う保育、教育体制として、非正規が過半数を占めている現状に疑問を持たざるを得ない。一般的に保育士の労働環境はブラック化しており、介護と並び人が集まりにくい職種といわれている。改善されたとはいえ、公立でも非正規となると、賃金も低く、土曜出勤や時差勤務など、労働条件的にも良くなかつたという問題が議会でも取り上げられており、市の答弁などからも、担任は園だよりやクラスだより、保育計画や指導計画、記録の提出等、事務作業が多くあるが園ではほとんどできず、家に持ち帰り作業していたとのことであり、保育士の増員を対策の基本に据え、処遇改善や労働環境を改善する中で、保育士の確保に取り組むことが重要ではないか。大和郡山市議会では、自治体の臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書が採択されており、奈良市でも参考にしてもらいたい。			また、幼児クラスの1人担任に対しては月額4万円の加算を行い非正規職員の職務に応じた賃金改善を図っている。	
年々目標と実績の乖離が大きくなっている。目標達成に足りないものを分析し、取り進めてほしい。			保育士確保については、就職フェアや潜在保育士の研修回数を増やすとともに、新たに私立園と合同での就職フェアも実施した。	
保育士の確保や定着は、非常に難しい課題ではあるが、予算をフルに活用しながら労働環境の整備に努めてほしい。			さらに、研修や担当課からの園職員に対する指導を通して、現在働いている臨時保育教育士の不安を軽減し、園と担当課によりフォローできる体制を整え、働きやすい環境づくりに努める。	
			保育士の労働環境の見直しとしては、事務書類の軽減や、簡素化できるような工夫を行った。	

12	事業名	保育所等における食育の推進	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
食物アレルギー対応ですが、メニュー表を多色刷りにする事ができないでしょうか。 卵、小麦、牛乳等、主要なものだけでも、色別にできれば、育児現場でのチェックもしやすいのではと考えます。 食物アレルギーを持つ乳幼児は増加傾向にあり、全国的には死亡事故などの重大な事故も多数報告されている。対策については保護者との連携強化やヒヤリハットなどの情報共有、事故発生時の対応研修も重要だが、保育士や調理職員の配置を増やさないと、入所児童数の増加に伴いアレルギー対応児が増加する中、十分に目が行き届かないのではないか。アレルギー対応児の多い園への保育士、調理職員の加配など、一定の予算措置も必要と考える。 個別対応には費用もかかるとしますので、実現に向けた予算化をお願いしたいです。			食物アレルギー児への給食提供については、誤食リスク低減のため、完全除去食対応（非常に困難な場合を除き、その園で一番アレルゲンを持つ児にあわせたアレルギー食を全アレルギー対応児に提供する）を実施している。 献立表はチェック表の役割を兼ねており、献立表に示されたアレルギー食材を、保護者・調理員・保育教育士がそれぞれ確認し突合することで何重にもチェックをしている。特に加工品は、メーカーや商品の種類によって含まれる成分が異なる場合も多く、成分が断定できるものだけに色をつけると、却って見落としやミスが出る可能性も考えられる。意識付けのためにも職員や保護者が主体的に商品を確認し、チェックしていく習慣づくりをする体制を整えたい。 食数の多い園、アレルギー児の多い園に対しては調理員の配置についても考慮しているが、それに加え、アレルギー食の食器の色を変える、個別にトレートを準備する等、誰が見ても分かりやすく区別することで、配膳のミスを防ぐ工夫をしている。 食物アレルギー対応については、今後も継続的な啓発や研修等を通じてマニュアルの理解と実践につなげ、誤食事故の未然防止に努めるとともに、緊急時にもより迅速に適切な対応ができるような環境・体制整備を図りたい。	

13	事業名	民間保育所等運営費補助金	担当課	保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
保育士の確保が大変難しい状況である中、給与改善の他にも、住宅補助など奈良市が活用できるものを最大限に活用し、福利厚生の実が図られる事が必要だと思われます。 他のアルバイト、職種では得られない、単価増額だけでは終わらない、雇用形態の大きな改善が必要ではないでしょうか。 民間保育園では保育士の募集について問題が山積しており、給与と労働条件の改善ができる公定価格・補助の引上げ、最低基準の引上げが急務です。市としても事業者の声を聞き、運用面での改善等、一定の努力が必要と考える。 補助と同時に経営に関する指導も必要である。			職員給与改善に関する補助金の増額に加えて、今年度から保育士宿舍借り上げ支援事業費補助金を創設した。保育士への福利厚生の実を図ることで、引き続き保育内容の充実を目指していく。	

14	事業名	保育所等のサービス評価の実施	担当課	こども園推進課 保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
第三者評価受審の存在がある事自体、一般に知られていません。JASマークの様に、このマークがあったら安心だと判断できる様な、社会的信用性のある評価が存在している事を、まずは一般に認識される事が必要だと思います。 また、評価される事で、保育所にとって、利益や安定的な運営につながる事が無ければ、サービス評価の実施はあまり意味を持たないのではないのでしょうか。 第三者評価を受審する施設数が指標となっているが、平成27年度以降、実績も予算執行も行われていないことから、本気度が感じられない。計画的に受審してもらうためのロードマップや、実施に向けたマニュアル等を整備するなどし、各園が受審に向けて動き出せるような働きかけをおこなうべき。 実績がゼロとなっているが、問題点を明確にし第三者評価を通してチェック体制の充実を図ってほしい。			（公立）園内での評価、保護者評価、保育内容等をホームページ等で公表する等により周知している。また、その評価より教育・保育を振り返り、より良い教育・保育サービスの提供・質の向上を図っていくよう取り組んでいる。 （私立）認可した私立園に対しては、適切な教育・保育が提供されているのかを年1回全ての園において監査を実施し、改善を要する事項については指導を行っている。 また、第三者評価を受審した施設が0に留まっていることから、第三者評価について県等より情報を収集し、私立保育所等へ情報提供を進める。	

15	事業名	私立幼稚園運営費補助金	担当課	保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
継続的支援により、保護者の財政的負担の軽減を図っていただきたいが、額としては、公立幼稚園に比べると低いと感じる。同じ奈良市の幼児であり、需要も多いこと、またこれまで公立園に先立って奈良市の幼児教育を担ってきた実績を考慮され、更なる充実を図っていただきたい。 預かり保育の充実がとても重要です。また私立幼稚園ならではの教育を維持できるよう支援をお願いしたいです。			本市の財政状況も考慮しつつ、私立幼稚園の発展及び本市在住の園児の教育に対して財源が活用できるよう努めていくこととする。 幼児教育の需要増加に対応するため、今後も継続的に支援することで、私立幼稚園における教育条件の維持及び向上を図っていく。	

16	事業名	人権教育推進のための副教材の配付	担当課	学校教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
道徳科が教科として導入されている現在のカリキュラムの中で「なかまとともに」をどう活用しているのか。現実的な事業内容なのかも含め、現場の実態などもはっきりしていない中での評価であるように思う。			人権教育は、学校の教育活動全体で行うものであるため、道徳科の授業を含め、特別活動や、朝の会、帰りの会など様々な時間で「なかまとともに」を活用している。今後も、各校へ「なかまとともに」の積極的な活用を推進していく。	

17	事業名	地域で決める学校予算事業	担当課	地域教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
コーディネーターの育成も重要だと思うが、コーディネーターが配置されることによって、具体的にどうなるのかわかりづらい。 地域で決める学校予算というものが、具体的にどのようなものなのかを、地域住民がイメージできているものなのでしょうか。			・コーディネーターは学校・地域間の調整や、支援人材の情報収集・募集・連絡調整、会計事務等の役割を担う。学校と地域をつなぐことで、地域コミュニティの活性化や学びの拡充・学校支援になる。 ・事業の内容や意義を地域住民に理解していただくことは重要だと考えている。そのため、活動の周知のためにSNSや広報誌等による広報活動を行っているが、更なる工夫が必要だと考えている。	
中学校区単位は規模が大きいの、具体的な事業内容が伝わってこないです。例えば小学校区を単位とするなど、より身近に感じられるようにはできないでしょうか。			・こども園・幼稚園から中学校卒業までを連続した教育課程として捉え、長いスパンでの子どもたちの成長を地域で支えることを目指しているため、中学校区単位の規模としている。より身近な取組となるよう各学校園運営委員会での取組も発信していくよう工夫を目指す。	
持続可能な組織としての方策が、会計処理等事務を地域の方々が受け持つことであるというのは目標の捉え方として適切と思えない。地域で決める学校予算事業や地域教育協議会の活動がどのようなものであるのか、地域や保護者には浸透しておらず、既存の団体からコーディネーター等の人員を出して運営している状況である限り、後継者不足が続き形骸化や先細りの事業となるように思う。事業を通じてこの組織自体で担い手を作り出していける活動を考えなくてはいけない時期にあると考えます。			・担い手を作り出していくための研修や事業周知の工夫を進めなければならない時期であると考えている。その上で、各地域教育協議会が自律的な組織として運営・企画・実施を行い今後の持続発展を目指すには、各協議会内での事務処理ができるようになることも実務的に重要な項目の1つである。	
地域で決める学校予算事業（地域教育協議会）は、地域での取組に温度差があり一律には語れないが、「交流の集い」などを通して地域の理解も増加してきたと思う。平成31年より全校で、コミュニティスクール（学校運営協議会）制度が新設されようとしています、予算措置がされている地域教育協議会が中心軸となって学校運営協議会を進めていくことによって、地域の関わりも明確になってくると思う。			・協議会関係者が学校運営協議会に入り、学校の方針やニーズを知ること、地域で決める学校予算事業の視野がさらに広がり、学校との連携協働活動がさらに深まると考える。	
この事業では「会計担当者設置校区数」が適切な評価指標であるのか疑問を感じる。				

18	事業名	世界遺産学習推進事業	担当課	学校教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
身近にある世界遺産を活用することは有意義だと思うが、世界遺産に触れることが地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることにつながるか疑問。指標については再考の余地があると思います。			地域の良さを見出したり、地域人材に学ぶ学習を展開したりすることで「奈良」（地域）を誇りに思う心を十分に養う。そこから、新たな価値を発見することで、地域の課題を見出し、その解決に向けた行動化を目的とした学習を展開していく取組を行っている。 取組を通して奈良とほかの地域と比べたり、文化遺産などを通して過去の社会と比較したりすることで、現在の社会を相対的に捉えることができ、より良い将来のビジョンを描く力を身に付けることができると考える。 世界遺産学習を通じて地域の良さや課題を追求しながら、そこでの学びを行動につながることをめざしている。	

19	事業名	学校ICTの推進	担当課	教育総務課 学校教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
環境の整備には初期の投資は必要となるものの、効果的な活用を通じて学力及び学習意欲の向上に向け、取り組んでいただきたい。また全教職員の研修も当初の負担は大きいがスムーズに授業で活用できるよう積極的に実施してほしい。 一方、きちんと鉛筆で字を書く、自然に触れるなどの実体験を増やし、環境面ではエアコン設置等子どもの安全面を最優先に取り組んで欲しい。			平成29年度末稼働の各システムや導入ソフトウェアの研修会を学校現場の意向を確認しながら、複数回実施。また、学校からの要望に応じた出前研修を実施し、活用の浸透をすすめた。 夏休み期間中には市内小中全教員にプログラミング教育研修を実施した。引き続き学校現場での活用を促していく。	

20	事業名	地域に開かれた魅力ある学校・教育の推進（学校の自己評価）	担当課	学校教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
学校評価とその分析については各学校で取り組んでおられるようですが、次年度に向けた確な課題設定やそれに対する検証といったことが十分に行われるためには引継ぎ体制等の問題があるように感じる。 異動の多い教員の間でこうしたことを行っていくためには、時間をそこに割けるだけの負担軽減も必要と考えられる。			教職員をはじめ、児童生徒・その保護者、及び地域からも意見を聴取し、取組の検証と次の計画立案に生かしている。その引継ぎ体制に関する方策の一つとして学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置がある。地域の方々の協力のもと学校運営協議会が機能することで、教職員の異動があっても中学校区ビジョンや学校ビジョンが引き継がれると考える。	

21	事業名	コミュニティ・スクールの導入	担当課	学校教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
学校ビジョン等を学校と共有している地域、保護者はごく一部の人に限られており、コミュニティスクールとは何か、また地域の学校がコミュニティスクールであるかどうか、ということさえも認知度は低いと思われる。 地域教育協議会の活動と同様に、その目的や意義を知らせていく必要があると考えられる。 平成31年度の完全実施に向けて、コミュニティ・スクールがどのようなものか、また、どのように組織づくりをしていけばよいのかなど、例えば地域教育協議会のコーディネーター会議等で説明する機会を得る。また、学校長が各種団体と円滑なコミュニケーションをとりながらそれぞれの地域の特色を生かした持続可能な組織運営ができるよう助言を重ねていく。				
平成31年完全実施に向けて取り組みをされていますが、地域側での理解がまだ進んでいないように思います。学校長と地域の団体とのコミュニケーションの場の設定が必要。地域では、地域自治協議会づくりに向けて地域内組織の連携や協働に向けた取組をしているのでその関係性を使って「地域とともにある学校づくり」の具体的な取組事例等を例示しながら進めると地域は受けやすいと思います。				

22	事業名	小学校での少人数学級の実施	担当課	教職員課 学校教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
小学校での少人数学級の実施という点で、奈良市はこの数年間で後退が続いている。 個別対応が必要等の課題は別の問題として評価すべきであり、予算額が年々減少し3～6年生が35人から40人と少人数学級ではなくなっている現状を正しく評価するべきだと考えます。 奈良市教育大綱においても「教員が授業など児童生徒への指導に専念できるような負担軽減」こそが質の高い公教育の実現に結び付くとされており、これを受けた奈良市教育振興基本計画でも小学校3～6年生における35名以下学級を継続し「少人数学級」のよさを生かした教育を推進するとしている以上、逆行する市の方針変更に変え大変失望しております。			2020年度から実施される新学習指導要領では、子どもの主体性を引き出し、他者とやりとりしながら学習を進め、学びを深めていくことが重視されており、特に理科・社会科・総合的な学習の時間がある小学校3年生以上は、低学年よりも人数の多い集団で学ぶ環境をつくることで、グループ活動や子ども同士の学び合いが活発になり、多様な考えにふれながら学びを広げていくことが必要となることから、国の基準である40人学級編制とします。なお、義務教育入門期の小学校1・2年生については、基本的な生活習慣や学習規律の定着に重点を置き、一人一人の子どもに対して丁寧な指導ができるよう、30人学級編制を継続します。	

23	事業名	教職員研修の推進	担当課	教育支援課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
教職員研修の充実、子どもたちの成長に必要不可欠です。一人一人の個性を大切にできる教員を育成するための研修をしっかりと受講させることが必要です。 学校の教え方はまだ、昔と変わらない一方通行的な授業のイメージ。社会では、自ら意見を言い、行動できる人が求められるので、そんな研修もいれるべき。			質の高い公教育が維持できるよう「学び続ける教員」として、「初任者研修」「中堅教諭等資質向上研修」「エキスパート研修」を設定しており、教員は経験年数や担当内容に応じて研修を受講している。 教員個々の課題や目的に応じて指導力を向上できるよう「教員個別訪問研修」を実施し、児童生徒が主体的に学ぶ授業となるよう対象教員に対して直接指導している。また、「スキルアップ研修」を実施し、児童生徒一人一人が主体的・対話的で深い学びができるよう、指導方法の改善に努めている。	

24	事業名	中学校給食実施事業	担当課	保健給食課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
中学校全校の給食開始は、保護者の負担の軽減につながるので非常に評価できる。一方で、選択制になっていると、場合によっては貧困等が浮き彫りになる可能性もあるため、給食費負担の軽減と、完全給食化の実現を目指してもらいたい。 保護者の負担が軽減されるのでありがたいです。しかし、アレルギー食への対応はまだまだ不十分なので、柔軟に対応していただきたいと思います。			・昨年と同様に今のところ無償化の予定はございません。 ・アレルギー食への対応につきましては、学校給食を安全に喫食してもらうため、文部科学省作成の「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づき、平成28年度12月に「学校給食における食物アレルギー対応指針」を作成しました。奈良市立小中学校では、平成29年度より、この指針に沿った対応に移行しているところです。	

25	事業名	放課後児童健全育成事業	担当課	地域教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
実績も着実に増えており、高く評価できる。 夏休みの昼食提供事業に加え、通常時の食堂の開設など、さらに充実したものにしていきたい。 子どもの居場所としての機能も充実させるため、児童館等との連携も強化していただきたいと思います。			従前より放課後子ども教室と連携を図っているが、居場所として機能も充実させるために、更に連携を強化していきたい。	

26	事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	地域教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
子どもの居場所作りとしても、放課後の子ども教室は推進して欲しいところですが、地域差が強く出ている事業ではないでしょうか。 奈良市の小学生ができるだけ、同じ様な活動を行える様に、スポーツだけではなく、図書室の環境改善を大幅に進め、放課後を自由にすごせる場所の確保に努めて欲しいと思います。 参加している子ども達はとても喜んでいます。希望者のみの教室なので、参加費を集め予算を減らしてもよいのではないのでしょうか。 校区ごとに事情は様々ではあるが、放課後子ども教室に保護者が関わることは良いのだが、保護者が関わらざるをえない状況となっていることは課題の一つだと考えられる。 また、昨年度も指摘させて頂いたが奈良市PTA連合会の安全会保険を適用させている問題については早急に改善して頂きたいと考えている。			・放課後子ども教室はそれぞれの地域の特性や実態に合わせて活動しているため、内容等に地域差がある。そのため、放課後子ども教室の種類や内容等の情報を共有していく。学校図書室については、本来整備を行うべき学校との相談の上、各教室で活用方法を工夫するよう努める。 ・事業の趣旨としては、全ての子どもたちにとっての安全・安心な居場所づくりであるため、現在は調理実習等の材料費や子どもの保険料といった実費についてのみ徴収することになっている。 ・この事業の趣旨は学校・家庭・地域の三者が連携・協力して、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することである。そのため、保護者の協力も必要不可欠である。 ・平成30年7月に各小学校運営委員会に保険の加入状況を確認した。平成28年度と比較すると、PTA保険を適用している運営員会は半分以上になった。今後も引き続き、PTA連合会安全会の保険の利用はPTAとの共催事業のみとし、他の保険への加入を検討してもらうよう周知していきたい。	

27	事業名	教育センター学習事業	担当課	教育支援課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
キッズホリデークラブの活動は、とても人気があり、内容も充実していると思います。 ただ、気軽に食事を取れる場所が欠けています。幼い兄弟も一緒に食事ができる無料の解放スペースが必要だと思います。 レストランのスペースは、小さく、アレルギー対応等、低年齢の子どもには特に重要な課題です。乳幼児健診なども行われるスペースでもあり、今後、子ども連れの家族にやさしいスペースの確保に努めていただきたいと思います。 「ワクワクセンター学習」は好評なので、全市の小中学校が参加できるようにした方が良い。ただ、学校から会場までの交通手段が問題になると思いますが、「みどり号」の活用などを考える。 「キッズホリデークラブ」の多彩なプログラムが提供されているが、家族連れが多いように見える。低学年の参加だけでなく高学年用プログラムやIT関係プログラム等の増加が必要。 指標が年間来館者数となっているが、適切な評価指標であるのか疑問に思う。			市内学校園の児童生徒や親子が実験や工作などを行うことができる学習スペースとして、教員の研修施設である教育センター9階の施設を「キッズ学びのフロア」として活用している。 「キッズホリデークラブ」については、参加者の多くは園児及び低学年児童であることから、親子体験型の簡単な科学実験やプログラミング講座を設定している。また、科学実験や天文教室は高学年児童にも十分対応できる内容であり、特にロボットを活用したプログラミング教室では、基本的な操作ができる園児児童を対象とした講座や高学年の児童を対象とした講座を設定している。 「わくわくセンター学習」については、授業日に希望のあった市内の学校園を対象に受け入れている。特に小学校4年生においては、理科で天体に関わる学習が始まることから教育センターのプラネタリウムを活用した学習ができるようバスを配車し、全市立学校4年生が来所している。 施設活用度合いの観点から、来館者数を指標としており、各講座の参加者数と合わせ、来館者に任意で内容に関するアンケート調査も行っている。	

28	事業名	青少年野外体験施設の運営管理	担当課	生涯学習課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
両施設は、指定管理者制度で運営されているが、不登校生対策施設として教育委員会が積極的に活用するプログラムが必要ではないか。また、市内にある黒髪山キャンプフィールドでは、魅力あるプログラムづくりや、指定管理者の都合だけでなく、若者（青年）だけでも利用できるような検討が必要ではないかと思います。 指標が年間来館者数となっているが、疑問に思う。どちらかというと施設で行っているプログラム数とかがいいのではないか。			・不登校生の対策施設としての利用は、所管課においても青少年の野外体験施設として認知はされているものの利用までには至っていないという現状であるが、施設利用時には協力をしていく。なお、現状で両施設ともに青年だけの利用も可能である。 ・指標については、現在、第4次総合計画（後期基本計画）と併せているが、ご意見にあるように、人口減少に伴い利用者数を指標にすることについての妥当性や、指標の見直しについても検討する必要があると考えている。	

29	事業名	児童館事業の充実	担当課	子ども育成課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		利用実績が年々減少しているのが気にかかる。 児童館は地域の子育て拠点としての役割が強く求められているため、広報活動を通して利用者の拡大に努めていただきたい。	・児童館の取組（イベント等）を市ホームページでの公開やチラシの設置等で、利用促進を図った。今後はFacebookやTwitterなどのＳＮＳを活用した効果的な広報活動を検討していく。	

30	事業名	スポーツ体験フェスティバルの開催	担当課	スポーツ振興課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		－	－	

31	事業名	スポーツ少年団の育成	担当課	スポーツ振興課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		－	－	

32	事業名	子どもを対象とした文化事業の実施	担当課	文化振興課 奈良町にきわい課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		－	－	

33	事業名	アウトリーチ活動の実施	担当課	文化振興課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		海外では、平日の夜間、または土曜日等、博物館のナイトミュージアム&無料開放Dayが開催されています。博物館が奈良市には色々あり、これらの施設をもっと活用する方法を検討していただきたいです。 土、日曜日、家族が出掛ける事が難しい場合でも、一緒に楽しむ事ができる、美術館、博物館を含めた芸術文化に触れる機会を増やす試みをしていただきたいです。	現行事業に加え、各文化施設の特徴を活かしながら、子ども達により多くの文化芸術に触れていただく機会を提供できるよう、創意工夫と他団体等と広く連携を図り事業の実施に努めます。なお、写真美術館や書道美術館などでは毎年「なら燈花会」の開催に合わせ夜間の開館を行っています。	

34	事業名	教育相談業務の充実	担当課	教育相談課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		スクールカウンセラーが、学校に派遣されていますが、「時々しか会えない相手に、本当に相談できるものなのか？」「本当に親身になって話を聞いてもらえるのか？」「自分の希望する時間に相談できるのか？」と言った初歩的な所で、活用に繋がっていない現実がある様です。私たち親も含めて、スクールカウンセラーに対しての信頼感を構築する機会作りが必要だと思われます。	・各校のスクールカウンセラーは心理に伴う専門的知識や経験を持ち、校内において児童生徒や保護者が安心して相談ができる存在である。そのようなカウンセラーと児童生徒保護者との信頼関係の構築のための啓発や周知については、PTAへの講演や研修を行うなど各校において工夫している。 ・教育相談総合窓口では、相談ニーズが高まっているが、出来る限り早く相談を受けていただけるよう、体制の効率化を図るなど整備を進めている。今年度は臨床心理士が増員され、より相談を受けやすい体制となっている。今後も信頼される窓口として機能できるよう更なる相談相談体制の充実に努める。	
		教育センターにおける教育相談総合窓口での対応が、不登校や特別支援教育の相談ニーズの量に追いついていない現状があると思われる。 信頼できる最初の窓口として、増加する相談に対応できる十分な予算配分が望まれる。		

35	事業名	特別支援教育推進事業	担当課	教育相談課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		－	－	

36	事業名	すこやかかテレフォン事業	担当課	生涯学習課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		年々相談件数が増加していることは、広報活動により広く周知されているのだと思う。 ただ件数が増えることが決していいわけではないので、相談内容についてしっかりとした支援を引き続き行ってほしい。	・相談件数の増加が本事業の目標値ではないが、広報活動の充実を図ることで事業の認知度が上がり、必要としている保護者や青少年へ相談の機会を提供できることは有意義であると考えている。そのため、引き続き広報活動を充実させつつ、市全体で連携体制を取りながら事業に取り組んでいきたい。	

37	事業名	エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発事業	担当課	保健予防課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		－	－	

38	事業名	未成年の喫煙対策	担当課	医療政策課 健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

39	事業名	思春期保健対策（性）	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

40	事業名	産後ケア事業	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
認知が低い可能性がある。共働き世代が増えていくので、民間のドゥーラ制の活用も視野に入れて、充実して欲しい。			産後ケア事業については、しみんだより、市ホームページ及び奈良県内の育児情報誌への掲載、市内産科医療機関へのリーフレットの配置、新生児訪問及び乳児家庭全戸訪問でのリーフレットの配付並びに母子健康手帳交付時の案内により広く市民に周知している。 民間のドゥーラ制の導入については、財政面の負担が大きくなると考えられ、今後も引き続き国庫補助事業である産後ケア事業の周知を図るとともに、利用しやすい環境づくりに努めていきたいと考えている。	

41	事業名	特定不妊治療費助成事業	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

42	事業名	母子健康手帳の交付	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

43	事業名	妊婦健康診査事業	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

44	事業名	親子健康教室	担当課	健康増進課
意見			回答	
目標値に対して、実績が大きく下回っているため、積極的に参加者を増やす取組を行うべきです。 具体的には、「母親教室」とされている名称を「両親教室」等に変えて、これまで以上に積極的な父親の参加を促すことが必要不可欠だと考えます。			「母親教室」は教室の名称を「はじめてのママ・パパサロン」と改め、育児不安の軽減を図るため、保護者同士の交流をプログラムに取り入れ実施している。また、妊娠届出時に周知・啓発を行い、両親の参加を促している。 今後は、できるだけ多くの方が教室に参加していただけるよう、子育て支援拠点施設を利用する保護者に周知するため、各施設にポスター掲示や勧奨チラシを配置していきたいと考えている。	

45	事業名	妊産婦、新生児、未熟児訪問（保健指導事業）	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

46	事業名	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

47	事業名	4か月児健康診査（乳児一般健康診査）	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

48	事業名	10か月児健康診査（乳児一般健康診査）	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

49	事業名	1歳7か月児健診、1歳7か月児歯科健診	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
実際に健診に行ってしまうのは、時間がとても長くなり、とても大変だという事です。待ち時間も長い様に思います。 まだ、聞き分けのない子どもを、時には兄弟も一緒に連れて行かなくてはなりません。1度に多くの項目を検査できる事は大事ですが、できれば検査場所を分散する等して1時間以内に終わる内容にする等、健診を受ける親子の負担を軽くする工夫、改良が必要ではないでしょうか。 健診への要望が他にも多く届いていると聞きます。早急に改善する事を望みます。			・1歳7か月児健康診査の待ち時間が長いことは認識しており、課全体で職員が健康診査に従事できる体制、人員配置の弾力的運用、健康診査の順序に工夫を凝らすなどして対応している。平成30年度の年度途中からは、健康診査の従事職員を増員するなどして健康診査の時間の短縮に努めている。 ・検査場所の分散については、財政面の負担や医療機関の受け入れ態勢等の課題があり、実施は困難であるとする。	

50	事業名	3歳6か月児健診、3歳6か月児歯科健診	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
実際に健診に行ってしまうのは、時間がとても長くなり、とても大変だという事です。待ち時間も長い様に思います。 まだ、聞き分けのない子どもを、時には兄弟と一緒に連れて行かなくてはなりません。1度に多くの項目を検査できる事は大事ですが、できれば検査場所を分散する等して1時間以内に終わる内容にする等、健診を受ける親子の負担を軽くする工夫、改良が必要ではないでしょうか。 健診への要望が他にも多く届いていると聞きます。早急に改善する事を望みます。 就学前に心配を抱える保護者が多いと思います。5歳6か月頃に発育発達の健診を行い、就学前に専門の方に相談できる機会を設けるとよいのではないのでしょうか。受診率も高くなると思います。			・3歳6か月児健康診査の待ち時間が長いことは認識しており、課全体で職員が健康診査に従事できる体制、人員配置の弾力的運用、健康診査の順序に工夫を凝らすなどして対応している。平成30年度の年度途中からは、健康診査の従事職員を増員するなどして健康診査の時間の短縮に努めている。 ・就園に達する年齢以降の相談に対しては子ども発達センターが各園と連携し個別相談や園への巡回相談を行うことにより対応している。集団に所属していない児に対しては健康増進課で随時相談を受けている。	

51	事業名	フッ化物塗布事業	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

52	事業名	乳幼児予防接種事業	担当課	保健予防課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

53	事業名	妊産婦・乳幼児健康相談事業	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

54	事業名	発達支援	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

55	事業名	妊産婦の喫煙・飲酒対策事業	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

56	事業名	休日・夜間応急診療所、休日歯科応急診療所の充実	担当課	医療事業課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

57	事業名	妊娠・出産の安全確保	担当課	医療事業課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

58	事業名	地域子育て支援拠点事業	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
児童数だけで事業評価をするのではなく、利用者を保護者と捉える視点も持ち、親の利用数や相談件数等も事業評価の対象としてほしいと思います。 また、他機関との連携が求められる事業なので、支援者の質向上のための研修には力を入れていただきたいです。利用者支援事業や包括支援センターとの連携は不可欠で、在宅で子育てをしている家庭にとっては重要な事業だと考えます。			・事業評価の指標・項目の一つである利用者数は、児童数と保護者数を合せた数字であるため、保護者の利用者数も事業評価の対象としている。そのため、拠点事業の方針としては、子育て親子が”身近に感じる”・利用しやすい”という点を注視して、市として、拠点として事業運営を行っている。 また、相談件数に関しては、年々増加しているという背景を踏まえた上で、今後は相談件数・相談に対する対応の仕方等も鑑み、重点項目として評価していきたいと考える。 ・各子育て支援拠点担当者向け研修をH29年度に6回実施し、支援者の質の向上やスキルアップに努めた。今後は、研修の回数・頻度を増やすとともに、毎回行っている研修後のアンケートの意見をくみ取り、支援者のニーズに合った研修の開催にも努めていきたい。 そして、他拠点・行政との連携の面に関しては、定期的に交流会が拠点主催や市主催で行われており、平成30年度より地域子育て支援センターに子育て支援コーディネーターを配置し、センター会議を隔月で行っている。また、子ども育成課・健康増進課・子育て相談課の三課会議も定期的に行っている。今後も引き続きさらなる情報共有・連携につなげていきたい。	

59	事業名	子育てスポット事業	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
地域格差が広がる時ほど、市町村独自の事業として特色を発揮しながら展開を期待します。			・子育てスポットは地域にある身近な公共施設等を利用し、地域の団体に委託することで、地域に根ざした子育て支援を目指している。今後は、子育てスポット等の地域の子育て支援団体や地域子育て支援拠点を対象とした「子育て支援交流会」を実施し、地域の様々な人が子育てに関わり、地域全体で子育てを応援するための交流・連携の強化を図る。 また、こども園の子育て支援事業との協働・連携など、時代や地域のニーズに沿った運営をしていく。	

60	事業名	子育てスポットすくすく広場事業	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
子育てコンシェルジュと子育てコーディネーターの役割が重なっていないか、確認が必要。役割分担がわかりにくい。			・「保育コンシェルジュ」とは、当市では子ども未来部保育所・幼稚園課に配置している保育所・幼稚園に関する情報提供等を行う専門の職員で、主に「待機児童対策」を担っている。 「子育て支援コーディネーター」とは、地域子育て支援拠点事業の内、地域子育て支援センターに7カ所に配置している身近な拠点等で利用者に包括的な寄り添い型の支援を行う職員である。また、子ども育成課に子育てナビゲーターも1人配置し、コーディネーターと関係機関の橋渡しを行っており、利用者支援事業基本型が円滑に運営されるよう、調整役を担っている。	

61	事業名	市立こども園の地域活動の推進	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
評議員の充実を図るのに合わせて、地域と親子を繋ぐことを大きな目標として取り組まなければならないと感じる。			今後も学校評議員制度を継続し、園運営に対する様々な立場からの意見・評価を園運営に活かしていく。 園において、地域の方と交流する機会を設け、園児が地域の方と関わりを持ち、地域の方と子どもの育ちを共有するとともに、子どもの豊かな心やつながる力を育む等、教育・保育の充実を図っている。また、園内整備等に地域の方へのご協力を働きかけることで、保護者と地域をつなぎ、地域全体で子育てを行う環境づくりの推進に努めている。引き続き、園と家庭・地域をつなぐ役割を担えるよう取り組んでいく。	

62	事業名	地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
－			－	

63	事業名	公民館での各種教室・講座	担当課	生涯学習課（奈良市生涯学習財団）
子ども・子育て会議における意見等			回答	
公民館事業で、子どもに関わる事業が行われていますが、ふれあい会館でも実施できるようになると地域も関わりやすい。公民館が積極的にふれあい会館事業について支援することによって、地域の関わりも増やすことができると考えます。			・地域ふれあい会館は、指定管理者である地域住民が主体となり、乳幼児・児童育成支援のための子育てサロンや書道教室、お話し教室、ダンス教室、空手教室、映画会等を開催しており、地域特性を生かして子育て支援に努めている。 ・公民館の主催事業のなかには、高齢者を対象とした出前講座を地域ふれあい会館等で実施しているものもあり、今後、子育て支援に関する講座も、地域ふれあい会館や地域住民のニーズに応じて検討していく。 ・今後も、創意工夫をもって施策を講じていきたい。	

64	事業名	保育所等における一時預かり事業	担当課	保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
子育て支援、児童虐待防止の観点からもニーズの高い事業であり、引き続き利便性も勘案し、実施箇所数の更なる拡大を期待します。 在宅子育て家庭のレスパイトや求職の手助けとなる要素が強い一時預かり事業はとても重要だと考えます。とはいえ普段は保育所を利用していない層が利用することを考慮して、手続きの簡素化など利用しやすい工夫をしつつ、さらなる拡充をお願いしたいです。			国の補助基準額に市単補助として1,000,000円の上乗せや、新設園開所の際に事業実施を促す等、一時預かり事業を実施する市内私立保育所等の拡充を目指すとともに、保護者のニーズに対応していく。	

65	事業名	地域子育て支援拠点における一時預かり事業	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
日常的に慣れ親しんだ場所や支援者がいるところでの一時預かり事業は、在宅子育て家庭の子どもや保護者にとって安心のよりどころとなると考えます。地域子育て支援拠点事業との連携を図ることで、相談機能としての厚みも出てくることが期待されます。職員配置などを含め柔軟に対応することで、さらなる子育て支援の効果があらわれると思います。			・0～3歳の未就園児が利用する各地域子育て支援拠点において、一時預かり事業を行うことは、利用される子育て親子にとって普段通いなれた場所で、顔なじみのスタッフのもとでの利用により、安心につながると考える。 また、一時預かりを行う6拠点において、一時預かりの情報をまとめた一覧表を作成し、地域子育て支援センター等21箇所へ配布した。今後は、作成した一覧表を活用し、既存の一時預かりに関する情報（HP等）と併せて、周知・広報活動を展開していく。 ・一時預かりの必要性については、実績等を鑑み検討中である。	
実績がわかりにくく、ファミリーサポートとの差別化や民間保育所などがある中で、必要性があるか検討が必要。				

66	事業名	病児・病後児保育事業	担当課	保育所・幼稚園課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
病児・病後時保育についてはその性格上、当日申し込みのケースが多く、実施事業所の自助努力だけでは厳しい。常に定員一杯までの応需を求めるのであれば、職員確保が十分できるような予算措置が必要と考える。			利用人数から算定する国の補助基準額に最低保証額を設けており、利用人数に関わらず職員配置できるよう補助を行っている。また、利用しやすい運営になるよう実施施設に働きかけを行っていく事で、稼働率を向上させるとともに、引き続き新園開設に向けて尽力する。	

67	事業名	子育て短期支援事業	担当課	子育て相談課（29年度までは子ども育成課）
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

68	事業名	利用者支援事業	担当課	保育所・幼稚園課 子ども育成課、健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
窓口対応の特定型だけでなく、利用者に身近な場所で展開する基本型の整備を進めるというのは先駆的な自治体の取組だと思います。個別支援を進めていくためには、他機関との連携は必至でありますので、相談体制の強化を図るためにも人材育成に力をいれていただきたいです。 子育てナビゲーター、コンシェルジュ、コーディネーターと役割の重複が出ていないか確認が必要である。			・「保育コンシェルジュ」とは、本市では子ども未来部保育所・幼稚園課に配置している保育所・幼稚園に関する情報提供等を行う専門の職員で、主に「待機児童対策」を担っている。 「子育て支援コーディネーター」とは、地域子育て支援拠点事業の内、地域子育て支援センターに7カ所に配置している身近な拠点等で利用者に包括的な寄り添い型の支援を行う職員である。また、子ども育成課に子育てナビゲーターも1人配置し、コーディネーターと関係機関の橋渡しを行っており、利用者支援事業基本型が円滑に運営されるよう、調整役を担っている。 ・市内の地域子育て支援センター7カ所は、子育てナビゲーター主催の連絡会議や各拠点への訪問時の情報共有など、月1回以上の連携を図りながら利用者支援事業を実施している。 そして、その連携・情報共有によって挙げられた相談内容等に基づいて、関係機関と連携を図り、つなげる役割も子育てナビゲーターが担っている。また、関係機関との連携強化のため、連携会議等も定例もしくは必要に応じて実施している。 ・各支援センターのスタッフへの専門研修についても継続して実施していく。	

69	事業名	子育て世代支援PR事業	担当課	子ども政策課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

70	事業名	家庭児童相談室運営事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
存在を知ってもらうことがスタートとなるので、広報活動をしっかりと行っていただきたい。 また、平成30年度から予定している子ども家庭総合支援拠点の設置と合わせて、周知をお願いしたい。			・ホームページ等を活用し事業の積極的な広報に努める。 ・平成30年度から設置を予定している子ども家庭総合支援拠点についても、チラシ等を活用し関係機関の支援者並びに市民に対して周知に努める。	

71	事業名	幼稚園や保育所の子育て相談	担当課	こども園推進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

72	事業名	家庭教育支援事業	担当課	生涯学習課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		—	—	

73	事業名	子ども医療費助成	担当課	子ども育成課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		長年の懸案であった償還払い（一旦立替が必要）制度が、国の制度改善により就学前までは現物給付が認められ、県内においても平成31年8月からの実施ではあるが、導入が決まったことは評価できる。但し、小中学生については償還払い制度のままであり、県や他の市町村とも協議は必要ではあるが、実施をしている他府県の市町村も参考にしながら、速やかに現物給付方式に改めるべきではないか。本計画、本条例の理念からも先行実施すべき課題であるとする。 現物給付方式の導入をお願いします。後日振り込まれていないトラブルも耳にします。	本市の子育て環境の充実を図るために、現物給付方式の早期導入が必要と考えているが、子ども医療費助成制度は県下統一で自動償還払い方式を導入しているため、現物給付方式への変更は県下市町村の合意形成が必要となる。国のペナルティが廃止された未就学児までを対象に現物給付方式導入について合意形成がとれ、平成31年8月から実施することとなった。しかし、本来どこに住んでも等しく安心して子どもを産み育てられことのできる環境を保障するのは国の責務であることから、国において子ども医療助成制度を早期に創設することを求めている。	

74	事業名	就園奨励費補助	担当課	保育所・幼稚園課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		C評価は残念です。大和郡山市等の市町村では、各家庭の市民税を市で確認するというシステムになってきており、働く人の増えた今日では保護者にとっても、ありがたい方法だと思う。	平成31年10月より幼児教育無償化が実施される見込みであり、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園について、国基準として月額2.57万円を上限に無償化されることから、私立幼稚園に通う保護者の経済的負担の軽減は達成できると考える。	

75	事業名	就学援助	担当課	教育総務課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		子どもの貧困が社会問題化する中、他市町村の先進事例に倣い、新入学準備金の入学前支給を前年の中学生に加え小学生も実施する等、積極的に対応されている点は高く評価できる。但し、制度の周知という点では具体的な手立てが不十分ではないか。また、同制度の対象者にとって、医療が必要となった場合、一時的な立替であっても負担は大きく、受診抑制にもつながりかねない。市内の医療機関の中には「無料低額診療事業」を実施している病院や診療所もあり、他の自治体では、同制度利用者に対し医療機関の紹介を行なっているところもある。奈良市においても、子どもの貧困対策として取り入れてはどうか。	現在の周知の方法として、市立学校を通じた全校児童生徒への案内の配布、しみんだより、市ホームページでの案内、関係課や民生児童委員への周知などを行っていますが、常に改善を進めなければならないと認識しております。今後はホームページの表示方法の改善や関係課による保護者への案内との連携を検討していきます。 「無料低額診療事業」を実施している病院などの医療機関の紹介については、他自治体の状況を確認し、検討していきます。	

76	事業名	特別支援教育就学奨励事業	担当課	教育総務課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		—	—	

77	事業名	ひとり親家庭等医療費助成	担当課	子ども育成課
		子ども・子育て会議における意見等	回答	
		—	—	

78	事業名	ひとり親家庭等相談	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
現在の日本では、離婚数が増加傾向にあり、それに伴い奈良市でもひとり親家庭の増加、またはこうした状況に対応するための予算が年々増えています。子どもが５歳になるまでに離婚する夫婦は、全体の離婚数と比べて高い所にあります。 離婚は子どもの虐待や貧困の原因になり得るとも言われます。 予算を確保し支援の充実も必要ですが、民間の力も積極的に取り入れ、離婚を思い留まるなどの多角的な視座を持って、この問題にあたっていただきたいです。 ひとり親家庭の課題や相談内容が（プライバシーの問題を除いて）地域に示されないと取り組むことができない。地域では、民生委員や地区社会福祉協議会の人たちや各種団体が活動しているが、実情・実態を理解できていないと思います。防災関係では、避難行動要支援者支援プランづくりが行われていますが、情報の共有が大切だと考えます。			ひとり親家庭のおかれた状況や支援制度について、民生委員や地区社会福祉協議会、ＮＰＯ等へ情報提供を行い、連携して支援を行う。	

79	事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
ひとり親家庭等日常生活支援事業の平成２６年度実績値が７件から平成２９年度実績９４件と１３倍以上となっている。今後も増加していくことが予想されます。平成３０年度は予算額も１１０万円の増額となっています。また、くらしと仕事支援室を設置されて支援を行なっておられますが、その実態がわからないため地域での取り組みは進んでいない。庁内での関係課の取組の課題の明確化と具体的対策の情報共有が図られると、地域での活動の協働が可能になると思います。			引き続き庁内関連部署や関係機関との連携を図り、制度の充実に努める。	

80	事業名	母子家庭等就業・自立支援センター事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
利用者が増えることが必ずしもいいことではないが、弁護士相談の設置等を前面に出した広報活動を通じて利用者の拡大を引き続き図っていただきたい。			引き続き、しみんだよりやホームページ、ＳＮＳ等による広報活動やスマイルセンター他ＮＰＯとの連携により、必要な人に制度の周知が徹底されるよう努める。	

81	事業名	母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

82	事業名	母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

83	事業名	公共賃貸住宅における母子・父子世帯向けの優先入居制度の活用	担当課	住宅課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

84	事業名	放課後児童健全育成事業施設における障がい児の受け入れ推進	担当課	地域教育課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
障害を持つ子の家庭の中には、就労、介護、下の子の育児など諸事情により、障害児を放課後バンビホームに通わせたいと考える人も多いと思われる。家庭支援の見地からも希望のある場合はできるだけ受け入れを認めてほしい。障害の程度によっては、困難な場合もあるであろうが、児童が地域の子どもたちに、理解され、地域の一員として大切にされるためには、貴重なふれあいのチャンスでもあると思える。可能な限りの実現をお願いしたい。また、障害を持つ子が安心して過ごせる場所であるためにも、指導員の方に、必要な研修を受けていただいたり、退職の教員の方で、障害児の指導経験を持つ方に積極的に協力していただくなどの対策を取っていただきたい。			特別な支援を要する児童への対応等の研修を行い、特別な支援を要する児童が安心して過ごせるように努めていきたい。	

85	事業名	短期入所	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

86	事業名	障害児通所支援	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

87	事業名	居宅介護	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

88	事業名	行動援護	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

89	事業名	奈良市歯科診療	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

90	事業名	日中一時支援	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

91	事業名	移動支援	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

92	事業名	みどり園	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
利用者の減少が平成28年ごろからの報告に上がっている。保護者から自分の住んでいる地域から遠距離であること、利用する幼児の障害の程度に差が大きいと感じた、などという声を聞いたことがある。最近子ども発達センターが大きな働きをしていると感じるが、みどり園の立ち位置を明確に、市民に分かりやすく説明、アピールする必要があるのではないか。また、今までの役割の維持だけで利用が伸びないのであれば、変革もありだと思う。利用者の減少は、社会の中でのニーズの変化と捉えて、柔軟に、役割や内容を変化させていく等の対応を取られることが望ましいと思われる。今までの働きの歴史や、広い敷地や施設を有効に活用されることを願う。			・利用者の減少については、認定こども園への入園児が増えたためであると考え。また、児童発達支援の事業所の増加により母子分離での発達支援も増加傾向にある。そこで、みどり園としては、親子通園という強みを生かして、親支援の充実の強化を図っている。	

93	事業名	相談支援事業	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

94	事業名	親子体操教室	担当課	障がい福祉課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

95	事業名	子ども発達支援事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

96	事業名	長期療養児支援	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

97	事業名	子ども家庭総合支援拠点事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
-			-	

98	事業名	被虐待児童対策地域協議会の活用	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
通告件数も引き続き多く発生しているが、アドバイザーの招聘や専門性の高いプログラムなどを通して事例検討をしていただいていると感じる。支援者向けの研修の充実を図るとともに教育現場や警察との連携もしっかり取っていただきたい。			・引続き子どもと接する機会の多い教諭や地域を見守る民生児童委員との更なる連携を深めながら、支援者への研修により関係機関のスキルアップ・支援の充実を図る。また教育委員会・母子保健等とのワーキング会議、本市を管轄する3警察署と定期的に情報共有・意見交換会の開催を予定。 ・街頭キャンペーンや市民だより等を活用した啓発活動も積極的に取り組んでいる。	

99	事業名	養育支援訪問事業	担当課	子育て相談課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
育児不安解消の相談業務にとどまらず、育児の負担を具体的に解消する育児ヘルパーも業務の内容に含め、個々の子育て家庭のニーズにあわせた支援を実現できる事業だと考えます。虐待予防を視野にいれた場合、相談に加え一段深めた具体的な支援が必要になってきていると感じています。			訪問事業を直営にしたことで相談に加え、早期の段階から養育に関する指導・助言等を行うことが可能となった。また平成30年度から子ども家庭総合支援拠点の機能の一部とすることにより、リスクアセスメントやリスク管理を適切に進めていく予定。	

100	事業名	家庭訪問	担当課	健康増進課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
女性の社会進出の増加や働き改革が家庭環境を大きく変えています。また、ひとり親家庭の増加が子供達に大きく影響しています。 この事業は、出産された家庭への訪問が中心になっていると思いますが、「NO78ひとり親家庭等相談・NO79ひとり親家庭等日常生活支援事業」また学校教育におけるいじめ・不登校・DVなどの対策として訪問活動が必要ではないかと考えます。新生児・幼児を対象とした家庭訪問対象の範囲を拡大していくことが、学校教育の問題も縮小させる活動になっていくと考えます。			・健康増進課では母子保健法に基づき、妊産婦と就学前までの児を支援している。訪問事業は新生児・乳児のみならず就学前までの幼児で必要な児や家庭に対し家庭訪問を行っている。妊娠・乳幼児期からひとり親やDVなど要支援者の状況に応じ、他課・関係機関とも連携し、支援を行っている。また、学童期以降にも支援が必要な児・家庭については、必要に応じ学校等へ引き継いでいる。	

101	事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
「サポーターは、どんな人がいるのか？」初めての利用者にとって、サポーターとのマッチングの不安があると思います。 サポーターと出会う場所として、子育てスポットで保育サポーターが活動する場所を設ける等して、「この人なら大丈夫。」「この人なら懷いてくれそう」そんな安心感を利用者側が体感する場所が必要ではないでしょうか？ また、万が一の事故の場合、奈良市がどのような立場に立って対応するのかを、はっきりさせておく事はサポーターにとっても利用者側にとっても必要な事だと思います。 利用料の一部を助成する等、多様な利用者層を想定した取組を実践していると思います。送迎なども含め、利用者のニーズにあわせてさらなる促進の工夫をしていただけることを期待します。また、提供会員と利用会員の両方会員を増やす工夫を考え、相互扶助の仕組みがつくれれば、子育て家庭のサポート体制が豊かになると考えます。			・年に2回全体交流会を開催しており、どのような会員がいるか雰囲気を知ることのできる機会となっている。また、初めての利用が不安な場合は慣らし利用を提案する等、安心して利用できるように事務局が努めている。 ・活動中に生じた事故は、会員間での解決を原則としているが、万一の事故に備えて、ファミリー・サポート・センター補償保険に一括して加入するものとし、当該保険料については市が負担するとしている。また、事業の実施主体は市であり、事故が起こった場合責任をもって円満な解決への尽力や事故防止や対処法の研修実施等を通して十分な対策に努めていく。 ・積極的な広報活動の結果、会員数は年々増加しているが、依然として依頼会員に比べ、援助会員が少ない状況にある。このため、積極的な広報活動や援助を行いやすい環境づくりに引き続き取り組み、援助会員の増加を図る。	

102	事業名	子育て支援アドバイザー事業	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
昨年度の意見に「子育て支援アドバイザーが、事前面接や書類選考なしに希望する受講者全員が2日間の研修で、アドバイザーに認定される」事に不安を感じるとありますが、私もそう思います。 子育てのアドバイスをする人は、自分の経験だけでなく、確固たる知識量と心理的なダメージを推し量れる、経験豊かな人材が必要だと思われます。アドバイザーは、数でなく、質を求めるべき所だと思います。			アドバイザー事業の委託先である地域子育て支援拠点のスタッフが子育て支援に関する専門知識や経験に基づいて派遣の調整を行っており、アドバイザーによって簡単な依頼で様子を見る、または派遣を見合わせることも行っている。また、アドバイザーは登録時に活動の種類（遊びの紹介、聞き役、見守り）に分けて登録し、適材適所への派遣に努めており、フォローアップ講座を開催し、質の向上にも努めている。	

103	事業名	子育てサークルの支援	担当課	子ども育成課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
予算に対しての実績額が非常に少ないことが気になる。 昨年度の回答で、サークルメンバーがアドバイザーを頼る構図ができているということであったが、実績額が増えていないのに支援できていると言えるのか。 また、平成30年度は予算が減少していることも、活動の抑制につながりかねないと考えます。 「子育て中の保護者が自主的に運営する子育てサークル」を支援することを目標にされて、補助金を出されているとのことですが、子育て中の保護者が全員対象になっているのでしょうか。地域では「地域自治協議会」作りを進めていますが、これらの事業は協働事業とすることができるのではないかと考えます。			・こども園の未就園児クラス、私立幼稚園の2歳児クラスなど市の子育て支援環境の変化により、サークルを廃止する団体が年々増えている。引き続き、市や地域子育て支援拠点によるサークルについての広報活動や情報提供、講師やアドバイザー派遣などの支援を継続したい。 ・補助金交付は要件を満たす子育てサークルのみが対象である。 ・「地域自治協議会」については、必要に応じて周知を検討していく。	

104	事業名	交通安全教室の開催	担当課	交通政策課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
所轄警察署との連携により、目標を上回る交通安全教室の実施をしていただいたことは高く評価できる。 自転車の乗り方やルール の指導については、特に一人で行けることが増えてくる小学生を中心に引き続き徹底してほしい。 また、通学時の交通事故も後を絶たないため、交通安全教室の範囲ではないが、既存の通学路の安全性確認も所轄警察署と連携して合わせて行っていただきたい。			・自転車の乗り方やルール の指導については、引き続き交通安全教室や啓発活動を通じて周知を行っていく。 ・通学路安全推進協議会や通学路安全点検等を通じて通学路の安全を確保していく。	

105	事業名	学校・家庭・地域が連携した防犯力の充実	担当課	いじめ防止生徒指導課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
子ども安全の日の集いを、参加者だけの学びの場にせず、より多くの児童保護者の啓発に効果が出る事業にされるよう期待したい。 事業内容が、「子どもの安全に取り組む大人の防犯意識を高めます」となっていますが、その評価指標が「「子ども安全の日の集い」参加人数（人）」で行われています。 地域では、子供の登下校の見守り活動（立哨含む）、巡視活動、青色パトロール、を行っていますが、少年指導協議会・駅前交番活動・交通安全指導委員・地域安全指導員等々学校との連携は取れていません。それぞれの団体が、防犯の取組をしていても連携・協力ができていないと思います。学校教育部が「学校・家庭・地域が連携した防犯力の充実」を図ろうとするのであれば、「子供安全の日の集い」に集う人数を評価指標とするのではなく、地域で子供達のために活動する団体数や、活動内容を把握して、その連携・協力事業数を評価対象とすべきではないかと考えます。			次年度は、PTAや地域の方々も含めた参加型の「子ども安全の日の集い」を計画し、各小学校区での取組につなげたいと考えている。また、いじめ防止生徒指導課で、見守りボランティアの方々の課題や状況を把握するアンケート等の実施を計画している。	

106	事業名	不審者情報の配信	担当課	いじめ防止生徒指導課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

107	事業名	「子ども安全の家」標旗配布	担当課	いじめ防止生徒指導課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
「子ども安全の家」の標旗をつけて下さっているお家を見かけますが、その家にどんな人が住んでいるのかは、保護者である私も知らないままです。何かトラブルが生じた時、知らない人の家に本当に、逃げ込む事ができるのでしょうか。安全と書かれていても、ためらうのが普通ではないでしょうか。できれば、「子ども安全の家」の方と交流したり紹介する場を設けて欲しいと思います。 確かに旗は見かけるが、いざというときにどうやって中の人に知らせるかなど、子どもがわかっていなければ、有効な対策とは言えないと思う。各小学校で、児童の通学路と安全の家の位置を確認し、子どもたちにいざという時にどうすればよいかをしっかり伝えておかなければ事業の意味がないと感じる。			「子ども安全の家」の方々の協力を得て、「子ども安全の家」を回るスタンブラーを実施したり、親子で地域の危険箇所を調べて、地域の見守りボランティアやP T Aの方々と一緒に安全マップづくりを行う取組などを実施する小学校もあり、こうした取組の市内小学校への周知・交流を図る。	

108	事業名	イクメン手帳の配付	担当課	男女共同参画課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
男性の育児参加、家事分担はありがたい事ですが、結婚後に起こる「産後クライシス」。女性ホルモンの変化による、母親の精神状態の不安定な状況を知らないままでは、子育てを初めてする夫婦にとって、マイナス要因になると思われます。 男性の積極的な育児参加を求めるのであれば、女性の産後の精神&女性ホルモンの状態を知る必要性があると思います。母親教室は赤ちゃんに主眼を置っていますが、出産後、夫婦の関係には変化が訪れます。これからは、産後の夫婦の関係性に主眼を置いた新しい講座や講義も必要だと思います。 乳幼児に関する仕事をしている場所に、啓発のために見本として配布していただけるとありがたい。			イクメンハンドブックでも産後の母親の状態とそれに対して父親ができる事を掲載することで、産後の夫婦関係の変化に対応できるよう啓発を行っている。今後は頂いたご意見を参考に、産後の子育て世代の夫婦関係に着目した啓発を検討していく。 イクメンハンドブックの配布については平成30年度より新たに市民課と保育所・幼稚園課の窓口へ配置を行っている。 更なる周知のため、保育所やこども園への見本の配置も検討していきたい。	

109	事業名	仕事と生活の調和推進事業	担当課	産業政策課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
このような取組を行っている企業に対し、奈良市から分かりやすい方法で評価を与えて欲しいと思います。 奈良市が認める「くるみんマーク」の様なものがあれば、これから働く場所を選ぶ人にとっても分かりやすいと思います。企業側にとっても、ある一定のレベルを達成しているとの評価を一般にも公表できる形態をとる事が望ましいと思います。			市独自の認定制度の予定はないが、具体的な改善策や取組内容、取組後の社内の状況や役員からのコメントなど、参加企業ごとのWLBに関する取組について総括し、webサイトやFacebookに掲載して情報発信している。データを各参加企業に提供し、社内での啓発にも活用していたい。	

110	事業名	通学路整備事業	担当課	道路建設課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

111	事業名	公園管理運営	担当課	公園緑地課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
草刈りが年3回から2回に減ってしまったのは、子どもの居場所作り、防犯上も含めて大変問題があると思います。最近、草刈りが出来ない庭や場所に、レンガや小石を敷き詰めたり、ヒメイワダレソウの様な、草刈りの要らないグリーンカバーが存在しています。環境整備は、草刈りの方法だけではないと思います。新しい方法も含めて検討する必要性を感じます。 他府県から移ってきた方に、よく「奈良は子どもが遊べる公園が少ない」といわれる。実際、公園はあるが不審者がでるといふ噂あったり、せっかく広い敷地があるのに鍵がかかったままであったりで使用できないなどの声を聞く。高価な遊具を置く必要はないが、子どもたちを安心して遊ばせることのできる場所があることも、過ごしやすい街づくりに必要な条件ではないか。ただ、犬の糞の始末をしないと、マナーの悪い人は多いと想像がつくので、利用については、厳しいルール作りが必要かと思う。 奈良旧市街付近に子供を安心して遊ばせることのできる公園が少ないです。公園そのものが少ないのと、遊具がなかったり、メンテナンスがされていない状況です。			厳しい予算の中で除草については年2回の対応しかできていない状況であるが、地元グリーンサポートさんや公園ボランティアさんのご協力も得ながら公園の維持管理に努めています。また、限られた財源を工夫しながら効果的に投資し、市民の皆様のニーズに応えられるように公園整備に努めています。 奈良市の管理する都市公園は大小合わせて570箇所あり、市民の皆様が安全に公園を利用していただけるよう奈良市都市公園条例を定め、維持管理に努めているところであるが、マナーの悪い方については地域の皆様と相談しながら、看板設置等の注意喚起を実施しています。 奈良市の管理する公園の遊具については、国の補助金を活用して損傷の激しいものから順次入替えを実施しています。また、予算の範囲内で遊具の修繕対応を実施しています。今後も市民の皆様が安全・安心して遊べる遊具の設置に努めます。	

112	事業名	公園整備事業	担当課	公園緑地課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
公園を子どもの居場所と位置付けると非常に重要で確保が必要になる。そこにリスクがあると安心して遊ばすことができない。リスクがあるならば早急に改修、撤収すべきである。			公園は子どもたちの健全育成を図るために設置しています。安全・安心して公園の遊具で遊んでいただけるよう長寿命化計画に基づき順次改修を実施しています。また、公園施設日常点検も行いながら、リスクの高い公園施設の把握に努め、修繕及び撤去の対応を検討します。	

113	事業名	公共賃貸住宅における多子世帯向けの優先入居制度の活用	担当課	住宅課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
—			—	

114	事業名	公共賃貸住宅における子育て世帯向けの優先入居制度の活用	担当課	住宅課
子ども・子育て会議における意見等			回答	
子育てしやすい町 奈良をアピールするには、より良い住宅環境を求める子育て世代に積極的に知らせる必要がある事業です。 今あるものを、積極的に活用でき、宣伝もしやすい事業ではないでしょうか。今後は、内容、数ともに充実させ、積極的に活動を行って欲しいです。			既存のしみんだよりやホームページ・子育て世帯向け冊子等による広報に加えて、さらなる積極的な広報活動を検討し、今後も現行の取り組みを継続します。	

第2期「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」策定に係るニーズ調査について

(1) ニーズ調査の趣旨

- 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランでは、本市の幼児期の教育・保育、地域の子育て支援事業についての5年間の需給計画を定めている。
- 計画の基礎となる事業の量の見込みの設定に当たっては、子ども・子育て支援法及び同法に基づく基本指針において、現在の利用状況と今後の利用希望を踏まえて設定することとされており、計画の策定時の平成25年度及び中間見直しのため平成29年度にもニーズ調査を実施している。
- 次期計画策定のため、他市との比較や経年比較を行えるよう、基本的にはこれまで実施してきた方針を踏襲し国の調査票イメージに基づき、調査を実施する。

(2) ニーズ調査のスケジュール

10月	11月	12月	1月～2月	3月
調査票の作成	発送準備・調査実施	集計・分析	報告書作成	
	子ども・子育て会議		子ども・子育て会議	
平成30年11月14日(水)	第23回奈良市子ども・子育て会議で審議			
平成30年11月19日(月)	アンケート調査内容の確定			
平成30年11月下旬	アンケート調査票印刷・配布準備			
平成30年12月上旬	アンケート調査配布 ※調査は週末を含む約2週間を予定。			
平成30年12月中旬	アンケート調査回答締切 ※母子健康手帳交付者については月末			
平成31年1月	調査結果の集計・分析			
平成31年2月	アンケート調査報告書(速報値)完成			
平成31年3月	アンケート調査報告書完成			
平成31年4月～	第2期奈良市子ども・子育て支援事業計画の検討			

(3) ニーズ調査の概要

1 [調査の対象者及び対象者数]

対象者	配布数	抽出方法	過去の配布数(回収率)	
			H29	H25
就学前児童の保護者(0～2歳)	1,000件	住民基本台帳から無作為抽出	1,000件(52.7%)	1,500件(60.5%)
就学前児童の保護者(3～5歳)	1,000件		1,000件(51.1%)	1,500件(54.3%)
小学生児童の保護者	2,000件	対象学級を2年、5年より無作為に抽出	2,000件(41.6%)	2,000件(57.6%)
母子健康保健手帳交付者	約200件	期間内に交付を受けた方に配布	—	—

◇対象者について

母子健康保健手帳交付者(妊婦調査)を追加する。

今後の教育・保育、及び地域子ども・子育て支援事業の量を見込むため、妊娠期での希望を調査するとともに、妊娠期に必要な支援等に関する調査を実施する。

2 [調査方法]

- (1)就学前の児童の保護者…郵送による
- (2)小学生…学校を通じて配布し、郵送により回収
- (3)母子健康手帳交付者…妊娠届出時に調査票を配布、郵送により回収

3 [調査の内容]

第1期策定時(H25)及び計画見直し時(H29)の調査票をベースとして、以下を踏まえた調査項目及び調査票の再検討を行った。

①新たに追加する項目

・国手引きの改正事項

共働き等家庭の子どもの幼稚園利用についてニーズを把握することを目的とした調査項目

・幼児教育の無償化等今後予定される施策の利用希望等について

幼児教育の無償化された場合の、現在の保育の利用や就労状況の変化等

②調査票の工夫

・事業の説明を加えるなど、回答しやすい工夫をすると同時に回答にかかる負担を減らす。

4 調査票(案)…別紙

①0～2歳のお子さんを育児されている方への調査

②3歳から小学校就学前のお子さんを育児されている方への調査

③小学生のお子さんを育児されている方への調査

④母子健康手帳交付者への調査

奈良市から
子育てに関するアンケート調査へのご協力をお願い



【0～2歳のお子さんの保護者の方への調査】

調査票(案)

平成30年12月
奈良市

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは封筒のあて名のお子さんのことに、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただく質問と、数字などをご記入いただく質問とがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きに従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称・内容が分からない場合はこの文書の裏面に記載している説明書をご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともにお名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて 月 日（ ）までに郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



＜アンケートに関するお問い合わせ先＞

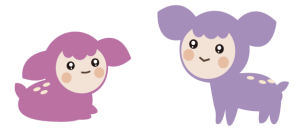
奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 FAX：0742-34-4798



奈良市が取り組む子育て支援事業の一例



定期的に利用できる事業

認定こども園

就学前の子どもを持つ保護者の教育・保育ニーズに対応し、教育・保育を一体的に行います。

（市立：16園、私立：11園）

認可保育所

保護者が昼間、仕事や病気などで家庭で保育ができない児童を保護者に代わって預かり、保育を行います。定員があります。

（市立：10園、私立：20園）

幼稚園

幼児を教育し、健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

（国立：2園、市立：20園、私立：14園）

幼稚園の預かり保育

通常の教育時間の終了後に、就労や介護のほか、リフレッシュのために、希望する保護者を対象に、引き続き幼稚園で児童を預かります。

（市立：10園、私立：13園）

認可外保育施設

保育所や幼稚園の認可を受けていませんが、児童の保育を行います。入園の手続きや保育料、保育時間等は各施設によって異なり、利用に当たっても直接その施設に申し込むことになります。奈良市に届出されている施設は、10施設あります。

ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助をしたい人」が会員として登録し、会員相互間で子育て等の援助を行う事業です。センターでは、会員相互の連絡調整を行っています。

保育所や幼稚園の開園時間の前後に子どもを預けたり、送迎のような定期的な利用だけでなく、保護者の事情による一時的な利用も可能です。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

地域子育て支援センター

乳幼児とその保護者が気軽に、かつ自由に交流できる場の提供、子育てに関する相談や情報の提供、子育て支援に関する講習の開催、公共施設等に出向いての子育て支援活動などを行っています。利用料無料、申込不要です。（市内7か所）

つどいの広場

乳幼児とその保護者が気軽に、かつ自由に交流できる場の提供、子育てに関する相談や情報の提供、子育て支援に関する講習の開催などを行っています。利用料無料、申込不要です。（市内6か所）

福祉センターの子育て広場

乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場及び育児相談等を行う場の提供を、市内各地域の福祉センターで実施しています。また、高齢者との異世代間交流ができる場でもあります。利用料無料、申込不要です。（市内4か所）

児童館の子育て広場

公立児童館において、乳児から就学前の児童とその保護者を対象とした子育て親子の交流、子育てについての相談、情報提供、その他の援助を行う子育て広場を実施しています。利用料無料、申込不要です。（市内4か所）

子育てスポット

月に1～2回、3時間程度、幼稚園や公民館等の一室で、子育て親子が集って遊べる広場を実施しています。利用料無料、申込不要です。（市内28か所）

一時預かり（保育所）

保護者の事情により、一時的に家庭での保育ができない場合に、保育所等で一時的に子どもを預かり、保育を行います。

（保育所等：17園）

病児・病後児保育

子どもが病気もしくは病気の回復期で、保護者の仕事の都合で家庭での保育が困難な場合に、専用施設で預かり、保育を行います。

（病児保育：2か所、病後児保育：2か所）

奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」では、上記の取組のほかにも、奈良市での子育てに役立つ情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>



0歳～2歳のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○)

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (丁目)				

あて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問2 ご家族の状況についてお答えください。

(1)あて名のお子さんを含めて、お子さんは何人いらっしゃいますか。 ()人

(2)あて名のお子さんの生年月月をお答えください。 平成()年()月

(3)お子さんが2人以上の場合、一番下のお子さんの生年月月をお答えください。 平成()年()月

(4)あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)を①の欄にお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。但し単身赴任等で別居されている場合は②の欄に○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他の親族
①同居					
②単身赴任等で別居					

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

あて名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問4 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()
----------	---------	---------	----------	-----------

問5 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問5-1 問5で「1」～「4」とお答えの方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. みてもらう人の身体的負担が大きく心配である
3. みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

①～⑨の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		父親	母親
①就労の有無		1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
「1. 就労している(育休等含む)」とお答えの方は②以降もお答えください。2、3とお答えの方は⑥へ。			
就 労 し て い る 場 合	②就労形態 ①②の場合は育休中かどうかもお答えください。	1 フルタイム (育休中・育休中でない) 2 パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3 自営業 4 その他()	1 フルタイム (育休中・育休中でない) 2 パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3 自営業 4 その他()
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間	※もっとも多いパターンをお答えください	
		就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)	就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)
	④家を出る時間と帰宅時間	※24時間制でお答えください (例: 帰宅時間 19時)	
		1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時
⑤ ②で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	

就 労 し て い な い 場 合	⑥就労希望は ありますか		1. 就労したい 2. 就労したくない	1. 就労したい 2. 就労したくない
	1. 「就労したい」とお答えの方は、⑦～⑨にお答えください。			
	就 労 し た い 場 合	⑦希望の 就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()
		⑧希望の 就労時期	1. 1年より先、一番下の子どもが ()歳になった頃就労したい 2. すぐにでも、もしくは1年以内に 就労したい 3. その他()	1. 1年より先、一番下の子どもが ()歳になった頃就労したい 2. すぐにでも、もしくは1年以内に 就労したい 3. その他()
		⑨現在就労して いない理由	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先が ないためできない 3. その他()	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先が ないためできない 3. その他()

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

※育休等…育休、産休、介護休

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問7-1に示した事業が含まれます。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

利用の有無
1. 奈良市内で利用
2. 他市町村で利用 ⇒現在の利用(市・町)
3. 利用したいができない
4. 利用する必要がない

①と②の欄それぞれに○を記入

②の欄に○を記入

事業	①現在	②希望
1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)		
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)		
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)		
4. 認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せもつ施設)		
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)		
6. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)		
7. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)		
8. その他の認可外の保育施設		
9. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業、ベビーシッター)		
10. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)		
11. その他()		

1. はい 2. いいえ

問7-3 問7で「1」～「4」とお答えの方にうかがいます。

平日の教育・保育を利用したい場所について、いずれかに○をつけてください。

1. 奈良市内 2. 他の市町村

問7-4 問7で「1」～「3」とお答えの方にうかがいます。

(1)「1」または「2」とお答えの方

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。

1週あたり()日

1日あたり()時間(_____時 ~ _____時) **

(2)「1」～「3」とお答えの方

希望としてはどのくらい利用したいですか。

それぞれ、1週当たり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、()内に数字で
ご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1週あたり()日

1日あたり()時間(_____時 ~ _____時) **

問7-5 問7で「1」～「3」とお答えの方にうかがいます。

「1」(奈良市内で利用)または「2」(他市町村で利用)とお答えの方

①利用している施設を選んだ理由について当てはまる番号3つまで

②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、

重視することについて当てはまる番号**3つまで**

(現在2ヶ所以上の施設を利用している方は、主に利用されている施設について
お答えください。)

「3」(利用したいができていない)とお答えの方

②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、重視することは何か

当てはまる番号をそれぞれ**3つまで**選んで○をつけてください。

①と②の欄それぞれに○を記入

②の欄に○を記入

利用している施設を選んだ理由／今後選ぶ際に重視すること	①現在利用している施設を選んだ理由	②今後選ぶときに重視すること
1. 通園距離や立地条件が適しているから(自宅・職場に近い、通勤経路にある等)		
2. 教育方針や保育方針の内容がよいから		
3. 保育に伴うサービスがよいから(預かり時間・バス送迎・課外教室等)		
4. 施設・設備が整っているから(園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等)		
5. 園内で調理する手作りの給食が提供されるから		
6. 保育料・その他経費の負担が少ないから		
7. きょうだいや知人の子どもが通っている(通っていた)から		
8. 近所や知人の評判がよいから		
9. 公立だから		
10. 私立だから		
11. 希望の幼稚園、認可保育所に入れなかったから		
12. 認可された幼稚園・保育所であるから		
13. その他 *	()	()

問7-6 問7で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についてうかがいます。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため		
2. 子育て(教育を含む)をしている方が		① 現在就労している ② 就労予定/求職中である ③ 家族・親族等の介護をしている ④ 病気や障がいがある ⑤ 学生である
3. その他(		)

問7-7 問7で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます。

現在、利用している施設へ通園するための主な手段と所要時間についてうかがいます。

あてはまる番号1つに○をつけ、片道の通園所要時間を記入してください。

①現在の通園手段	1. 徒歩	4. 通園バス
	2. 自転車	5. 公共交通機関
	3. 自家用車	6. その他()
②現在の通園所要時間	通園時間	片道おおよそ()分

問7-8 問7-1で現在の利用欄で「8. その他の認可外の保育施設」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用している認可外の保育施設についてお答えください。

(1)利用している施設がある場所

1. 奈良市内	2. 他の市町村
---------	----------

(2)1ヶ月の保育料

1. 10,000円未満	3. 20,000円以上30,000円未満
2. 10,000円以上20,000円未満	4. 30,000円以上

問7-9 問7-1で希望の欄で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんが何歳になったら利用したいですか。

1. 3歳	2. 4歳	3. 5歳
-------	-------	-------

問7-10 問7で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

3に○をつけた方は、何歳になったら利用したいか()に記入してください。・

1. ほかに子どもを見る人がいる	①祖父母や親せき	②父母の友人や知人
2. 利用したいが利用できない		①空気がない ②経済的な理由・ ③延長・夜間等の時間帯の条件が合わない ④事業の質や場所など、納得できる事業がない
3. 子どもがまだ小さいため	()	歳になったら利用しようと考えている
4. 利用対象になると知らなかった		
5. その他(		)

問7-11 現在、教育・保育施設を利用してる方(問7で「1」または「2」とお答えの方)に伺います。

幼児教育の無償化(※)が実現した場合に、現在の利用を継続して利用したいですか。または変更したいですか。

幼児教育の無償化が実施された場合、現在利用してる教育・保育施設を継続して利用したいですか。

1. 継続して利用したい。 ⇒問8へ 2. 異なる教育・保育施設を利用したい。 ⇒問7-12へ

問7-12 問7-11で「2. 異なる教育・保育施設を利用したい」とお答えの方に伺います。

幼児教育の無償化が実施された場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)	5. 小規模な保育施設	9. 居宅訪問型保育
2. 幼稚園の預かり保育	6. 家庭的保育	10. ファミリー・サポート・センター
3. 認可保育所	7. 事業所内保育施設	11. その他()
4. 認定こども園	8. その他の認可外の保育施設	

問7-13 現在、教育・保育施設を利用していない方(問7で「3」または「4」とお答えの方)に伺います。

幼児教育の無償化が実施された場合に、新たに教育・保育施設の利用を希望しますか。

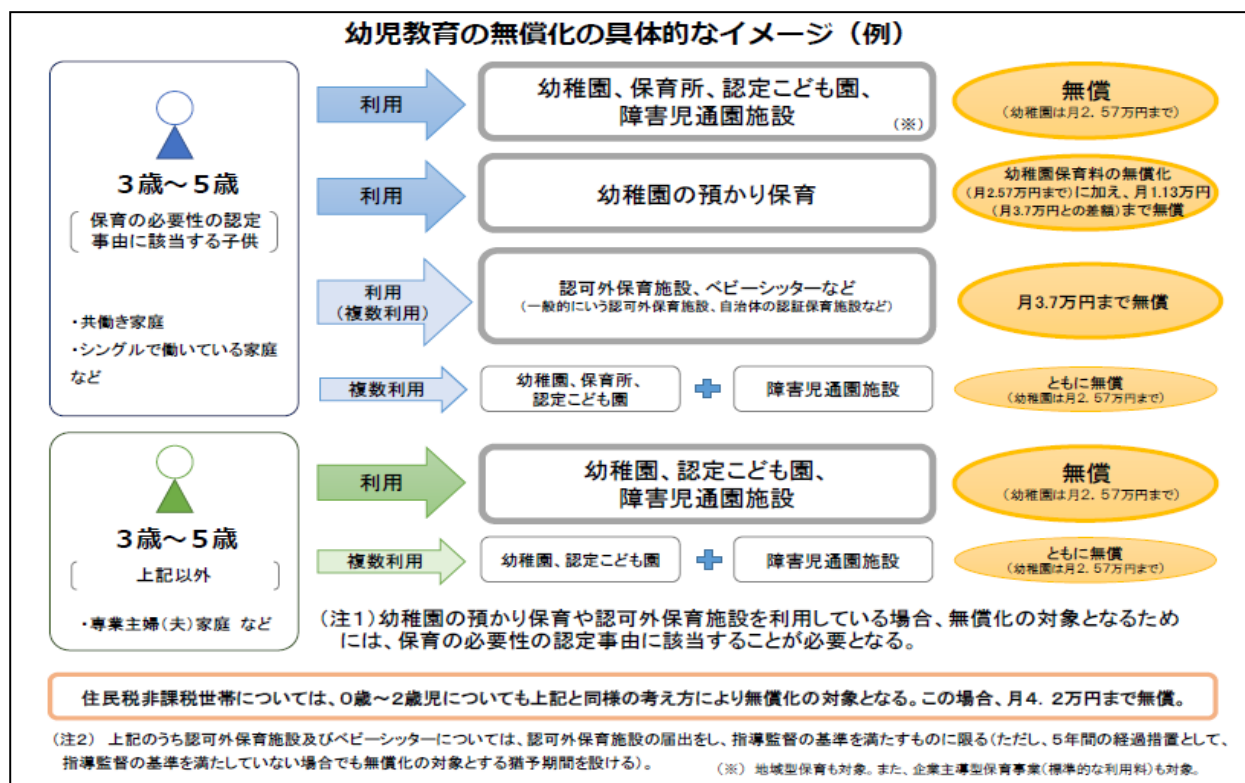
1. 新たに教育・保育施設を利用したい。⇒問7-14へ 2. 新たに教育・保育施設の利用を希望しない。⇒問8へ

問7-14 問7-13で「1. 新たに教育・保育施設を利用したい」とお答えの方に伺います。

幼児教育の無償化が実施された場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)	5. 小規模な保育施設	9. 居宅訪問型保育
2. 幼稚園の預かり保育	6. 家庭的保育	10. ファミリー・サポート・センター
3. 認可保育所	7. 事業所内保育施設	11. その他()
4. 認定こども園	8. その他の認可外の保育施設	

※幼児教育の無償化について



(内閣府 子ども・子育て本部資料)

問7-15 すべてのかたにうかがいます。

幼児教育の無償化が実現した場合に、現在の就労状況は変わりますか。それぞれ当てはまる番号に○してください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

無償化実現後の就労状況の変化	父親	母親
1. 変わらない		
2. 就労時間を今よりも短くする		
3. 就労時間を今よりも長くする		
4. 就労していなかったが、就労を開始する		
5. 就労しているが、就労をやめる		

あて名のお子さんの土曜・休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか

(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間制でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日(あてはまる番号1つに○)

(例)9時から18時

1. 利用する必要はない	] →	利用したい時間帯()時から()時まで・
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

(2)日曜・祝日(あてはまる番号1つに○)

1. 利用する必要はない	] →	利用したい時間帯()時から()時まで・
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問8-1 問8の(1)または(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。

毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由は何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	4. リフレッシュのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他()・
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問9 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えの方(問7で「1」または「2」と答えた方)にうかがいます。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問9-1 問9で「1. あった」とお答えの方にうかがいます。

その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください

1年間の対応		総日数
1. 休みをとった	①父親がとった ②母親がとった	()日 ()日

(休みをとらず対応した場合)	総日数
2. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	()日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
4. 病児・病後児の保育を利用した	()日
5. ベビーシッターを利用した	()日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
8. その他()	()日

問9-2 問9-1で「1. 休みをとった」とお答えの方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば利用したかった ⇒()日 → 問9-3へ	2. 利用したいとは思わなかった → 問9-4へ
---------------------------------	-----------------------------

問9-3 問9-2で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にうかがいます。

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業
4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
5. その他()

問9-4 問9-2で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にうかがいます。

そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	5. 利用料がかかる・高い
2. 質に不安がある	6. 利用料がわからない
3. 近くに施設がない	7. 親が仕事を休んで対応する
4. 利用可能時間・日数が合わない	8. その他()

問9-5 問9-1で「2」～「8」(休みをとらず対応した)とお答えの方にうかがいます。

(1)休みを取らなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 2. 自営業なので休めない | 4. その他() |

(2)その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。

いずれかに○をつけ、「1」については問9-1の「2」～「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数について数字でご記入ください。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 思った …できれば仕事を休んで看護したい ⇒()日 | 2. 思わなかった |
|-------------------------------|-----------|

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問10 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 地域子育て支援センター(公共施設や保育所等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施) |
| 2. つどいの広場(親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供) |
| 3. 福祉センターの子育て広場(子育てスポットすくすく広場) |
| 4. 児童館の子育て広場 |
| 5. 子育てスポット(幼稚園等の一室で、親子どうしの交流や子育てに関するアドバイスの場を提供) |
| 6. ひとつも知らない * |

問11 あて名のお子さんは、現在問10の「1」～「5」の事業を利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

- | | | | |
|-----------------|-----------|------|----------------|
| 1. 地域子育て支援センター | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 2. つどいの広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 3. 福祉センターの子育て広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 4. 児童館の子育て広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 5. 子育てスポット | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 6. 利用していない | | | |

問11-1 問11で 6.「利用していない」とお答えの方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 知らなかった | 4. 利用する必要がある |
| 2. 近くにないため、利用できない | 5. その他() |
| 3. 休日に開館していないため、利用できない | |

問12 問10のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 利用していないが、今後利用したい | 1週当たり()回 もしくは 1ヶ月当たり()回程度 |
| 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい | 1週当たり 更に()回もしくは1ヶ月当たり 更に()回程度 |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない * | |

問13 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①子育て世代包括支援センター						
②妊婦健康診査						
③はじめてのママパパサロン(両親教室)						
④すまいるmamaサポート(産後ケア事業)						
⑤こんにちは赤ちゃん訪問						
⑥はぐくみセンターの教室 ぱくぱく教室(離乳食教室)や歯びか教室(むし 歯予防教室)等						
⑦保育所の園庭開放や子育て相談						
⑧幼稚園の園庭開放や子育て相談						
⑨こども園の子育て支援や子育て相談						
⑩子ども発達センターの療育相談						
⑪子育ての総合相談窓口 (家庭児童相談室)						
⑫ファミリー・サポート・センター						
⑬キッズホリデークラブ (教育センター)						
⑭子育て@なら(子育て応援ホームページ)						
⑮こども園・幼稚園・保育所のホームページ						
⑯エンゼル・サポート事業						
⑰多子世帯支援ポイント事業						

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

- 問14 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合は1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1.一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	()日
2.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
3.夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	()日
4.ベビーシッター	()日
5.地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり	()日
6.その他()	()日
7.利用していない	

- 問14-1 問14で「7.利用していない」とお答えの方は、その理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 近くに施設がない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数が合わない	10. その他()

- 問15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で問14に示した事業を利用したいと思いますか。いずれか1つに○をつけてください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	➡ 問15-1へ	2. 利用する必要がない	➡ 問16へ
----------	----------	--------------	--------

- 問15-1 問15で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。

また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

①②それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を()内に数字でご記入ください。

①利用目的	年間日数
1. 私用(買物等)、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等	()日
3. 不定期の就労	()日
4. その他()	()日
②事業形態	
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他()	

- 問16 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。
- (預け先が見つからなかった場合も含みます)

1. あった		問16-1へ	2. なかった		問17へ
--------	---	--------	---------	---	------

- 問16-1 問16で「1. あった」とお答えの方、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応	
① 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	()泊
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)・	()泊
③ ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
④ 仕方なく子どもを同行させた	()泊
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
⑥ その他()	()泊

- 問16-2 問16で「1. あった」「①親族・知人(同居者を含む)にみてもらった」と答えた方にうかがいます。あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

- 問17 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【3. 取得していないとお答えの方の理由番号は以下から選んでください】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
7. 保育所などに預けることができた	15. その他()
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	

※産前産後…産前6週間、産後8週間

問17-1～17-8は母親の方のみお答えください。

- 問17-1 問17で「2.取得した(取得中である)」とお答えの方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。・

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である	3. 育児休業中に退職した
--------------------	----------------	---------------

問17-2～17-7は問17-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみお答えください。

- 問17-2 問17-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」

にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという

場合も「1.」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

- 問17-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰した
希望の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰したかった

問17-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはあて名のお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としてはお子さんが()歳()か月まで育児休業を取得したかった

問17-5 問17-3で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. 職場の制度の都合のため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 6. その他() |

(2)「希望」より遅く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他() |

問17-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) |

問17-7 問17-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」とお答えの方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた |
| 6. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他() |

問17-8 問17-1で「2.現在も育児休業中である」とお答えの方にうかがいます。あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

アンケート終了までもう少しです。
最後に、子育てに関する困りごとについて
うかがいます。



子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問18 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

満足度を5段階評価してください。

1	2	3	4	5
(低い)	←————→			(高い)

問19 子育てに関する情報をどのように入手していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族(親、きょうだいなど)	7. 子育て雑誌・育児書
2. 隣近所の人、知人、友人	8. インターネット
3. 学校・保育所・幼稚園・こども園	9. コミュニティー誌
4. 市役所や市の機関	10. その他()
5. 市の広報やパンフレット	11. 情報の入手先がない
6. テレビ、ラジオ、新聞	12. 情報の入手手段がわからない

問20 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発育・発達に関すること	12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
2. 食事や栄養に関すること	13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など まわりの見目が気になること
3. 育児の方法がよくわからないこと	14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる 人がいないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	15. 子どもを叱りすぎているような気がする
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり 世話をしなかったりしてしまうこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと	17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み 方法がよくわからないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	18. その他()
8. 子どもの教育に関すること	19. 特になし
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する	
10. 不登校などの問題について	
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの 協力が少ないこと	

問21 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー	11. 母子相談員
2. その他の親族(親、きょうだいなど)	12. 民生・児童委員、主任児童委員
3. 隣近所の人、地域の知人、友人	13. 教育センター(教育相談窓口)
4. 職場の人	14. 地域子育て支援拠点(ひろばやセンター等) のスタッフやボランティアの人
5. 学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間	15. 中央こども家庭相談センター(児童相談所)
6. 子育てサポーター	16. 民間の電話相談
7. 学校・保育所・幼稚園・こども園の先生	17. インターネットを利用したコミュニケーション
8. 医療機関の医師・保健師・看護師・栄養士など	18. 相談相手がいらない
9. はぐくみセンター(保健所)や保健センターの保健師、 助産師、栄養士など	19. その他()
10. 家庭児童相談室(子育て相談課)	20. 相談すべきことがない

問25 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問25-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 経済的支援が充実している | 7. 近隣にショッピングができる環境がある |
| 2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している | 8. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている |
| 3. 教育・保育に関する環境が充実している | 9. 公共交通機関が整備されている |
| 4. 子育て住宅が整備されている | 10. その他() |
| 5. 親子で外出する環境が整備されている | |
| 6. 子どもにとって安全な環境がある | |

自由記述

問26 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。
お忙しい中、最後まで記入いただきまして、ありがとうございました。
ご回答いただいた内容は、統計データとして処理し、今後の計画に活用します。



奈良市から
子育てに関するアンケート調査へのご協力をお願い



【3～小学校就学前のお子さんの保護者方への調査】

調査票(案)

平成30年12月
奈良市

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただく質問と、数字などをご記入いただく質問とがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きに従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称・内容が分からない場合はこの文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともにお名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて 月 日（ ）までに郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



＜アンケートに関するお問い合わせ先＞

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 F A X：0742-34-4798



奈良市が取り組む子育て支援事業の一例



定期的に利用できる事業

認定こども園

就学前の子どもを持つ保護者の教育・保育ニーズに対応し、教育・保育を一体的に行います。

(市立：16園、私立：11園)

認可保育所

保護者が昼間、仕事や病気などで家庭で保育ができない児童を保護者に代わって預かり、保育を行います。定員があります。

(市立：10園、私立：20園)

幼稚園

幼児を教育し、健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

(国立：2園、市立：20園、私立：14園)

幼稚園の預かり保育

通常の教育時間の終了後に、就労や介護のほか、リフレッシュのために、希望する保護者を対象に、引き続き幼稚園で児童を預かります。

(市立：10園、私立：13園)

認可外保育施設

保育所や幼稚園の認可を受けていませんが、児童の保育を行います。入園の手続きや保育料、保育時間等は各施設によって異なり、利用に当たっても直接その施設に申し込むことになります。奈良市に届出されている施設は、10施設あります。

ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助をしたい人」が会員として登録し、会員相互間で子育て等の援助を行う事業です。センターでは、会員相互の連絡調整を行っています。保育所や幼稚園の開園時間の前後に子どもを預けたり、送迎のような定期的な利用だけではなく、保護者の事情による一時的な利用も可能です。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

地域子育て支援センター

乳幼児とその保護者が気軽に、かつ自由に交流できる場の提供、子育てに関する相談や情報の提供、子育て支援に関する講習の開催、公共施設等に出向いての子育て支援活動などを行っています。利用料無料、申込不要です。(市内7か所)

つどいの広場

乳幼児とその保護者が気軽に、かつ自由に交流できる場の提供、子育てに関する相談や情報の提供、子育て支援に関する講習の開催などを行っています。利用料無料、申込不要です。(市内6か所)

福祉センターの子育て広場

乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場及び育児相談等を行う場の提供を、市内各地域の福祉センターで実施しています。また、高齢者との異世代間交流ができる場もあります。利用料無料、申込不要です。(市内4か所)

児童館の子育て広場

公立児童館において、乳児から就学前の児童とその保護者を対象とした子育て親子の交流、子育てについての相談、情報提供、その他の援助を行う子育て広場を実施しています。利用料無料、申込不要です。(市内4か所)

子育てスポット

月に1~2回、3時間程度、幼稚園や公民館等の一室で、子育て親子が集って遊べる広場を実施しています。利用料無料、申込不要です。(市内28か所)

一時預かり(保育所)

保護者の事情により、一時的に家庭での保育ができない場合に、保育所等で一時的に子どもを預かり、保育を行います。

(保育所等：17園)

病児・病後児保育

子どもが病気もしくは病気の回復期で、保護者の仕事の都合で家庭での保育が困難な場合に、専用施設で預かり、保育を行います。

(病児保育：2か所、病後児保育：2か所)

奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」では、上記の取組のほかにも、奈良市での子育てに役立つ情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>



3歳～小学校入学前のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○)

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (丁目)				

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 ご家族の状況についてお答えください。

(1)あて名のお子さんを含めて、お子さんは何人いらっしゃいますか。 ()人

(2)あて名のお子さんの生年月をお答えください。 平成()年()月

(3)お子さんが2人以上の場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。 平成()年()月

(4)あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)を①の欄にお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。但し単身赴任等で別居されている場合は②の欄に○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他の親族
①同居					
②単身赴任等で別居					

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問4 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係であてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()
----------	---------	---------	----------	-----------

問5 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問5-1 問5で「1」～「4」とお答えの方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. みてもらう人の身体的負担が大きく心配である
3. みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

①～⑨の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		父親	母親
①就労の有無		1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
「1. 就労している(育休等含む)」とお答えの方は②以降もお答えください。2、3とお答えの方は⑥へ。			
就労している場合	②就労形態 ①②の場合は育休中かどうかもお答えください。	1 フルタイム (育休中・育休中でない) 2 パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3 自営業 4 その他()	1 フルタイム (育休中・育休中でない) 2 パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3 自営業 4 その他()
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間	※もっとも多いパターンをお答えください 就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)	就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)
	④家を出る時間と帰宅時間	※24時間制でお答えください(例:帰宅時間 19時)	
		1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時
	⑤ ②で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい

就 労 し て い な い 場 合	⑥就労希望はありますか		1. 就労したい 2. 就労したくない	1. 就労したい 2. 就労したくない
	1.「就労したい」とお答えの方は、⑧～⑩にお答えください。			
	就 労 し た い 場 合	⑦希望の就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()
		⑧希望の就労時期	1. 1年より先、一番下の子どもが ()歳になった頃就労したい 2. すぐにでも、もしくは1年以内に 就労したい 3. その他()	1. 1年より先、一番下の子どもが ()歳になった頃就労したい 2. すぐにでも、もしくは1年以内に 就労したい 3. その他()
		⑨現在就労していない理由	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先がないためできない 3. その他()	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先がないためできない 3. その他()

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

※育休等…育休、産休、介護休

問7-3 問7で「1」～「4」とお答えの方にうかがいます。

平日の教育・保育を利用したい場所について、いずれかに○をつけてください。

1. 奈良市内	2. 他の市町村
---------	----------

問7-4 問7で「1」～「3」とお答えの方にうかがいます。

(1)「1」または「2」とお答えの方

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。

1週あたり()日
1日あたり()時間(_____時 ~ _____時) **

(2)「1」～「3」とお答えの方

希望としてはどのくらい利用したいですか。

それぞれ、1週当たり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、()内に数字で
ご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。

1週あたり()日
1日あたり()時間(_____時 ~ _____時) **

問7-5 問7で「1」～「3」とお答えの方にうかがいます。

「1」(奈良市内で利用)または「2」(他市町村で利用)とお答えの方

①利用している施設を選んだ理由について当てはまる番号3つまで

②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、

重視することについて当てはまる番号3つまで

(現在2ヶ所以上の施設を利用している方は、主に利用されている施設について
お答えください。)

「3」(利用したいができていない)とお答えの方

②今後新たに幼稚園や保育所等を選ぶことを想定した場合、重視すること何か

当てはまる番号をそれぞれ3つまで選んで○をつけてください。

①と②の欄それぞれに○を記入

②の欄に○を記入

利用している施設を選んだ理由／今後選ぶ際に重視すること	①現在利用している施設を選んだ理由	②今後選ぶときに重視すること
1. 通園距離や立地条件が適しているから(自宅・職場に近い、通勤経路にある等)		
2. 教育方針や保育方針の内容がよいから		
3. 保育に伴うサービスがよいから(預かり時間・バス送迎・課外教室等)		
4. 施設・設備が整っているから(園舎が新しい、園庭が広い、遊具が充実している等)		
5. 園内で調理する手作りの給食が提供されるから		
6. 保育料・その他経費の負担が少ないから		
7. きょうだいや知人の子どもが通っている(通っていた)から		
8. 近所や知人の評判がよいから		
9. 公立だから		
10. 私立だから		
11. 希望の幼稚園、認可保育所に入れなかったから		
12. 認可された幼稚園・保育所であるから		
13. その他 *	()	()

問7-6 問7で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由についてうかがいます。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため		
2. 子育て(教育を含む)をしている方が		① 現在就労している ② 就労予定/求職中である ③ 家族・親族等の介護をしている ④ 病気や障がいがある ⑤ 学生である
3. その他(	)	

問7-7 問7で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます。

現在、利用している施設へ通園するための主な手段と所要時間についてうかがいます。

あてはまる番号1つに○をつけ、片道の通園所要時間を記入してください。

①現在の通園手段	1. 徒歩	4. 通園バス
	2. 自転車	5. 公共交通機関
	3. 自家用車	6. その他()
②現在の通園所要時間	通園時間	片道おおよそ()分

問7-8 問7-1で現在の利用欄で「8. その他の認可外の保育施設」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用している認可外の保育施設についてお答えください。

(1)利用している施設がある場所

1. 奈良市内	2. 他の市町村
---------	----------

(2)1ヶ月の保育料

1. 10,000円未満	3. 20,000円以上30,000円未満
2. 10,000円以上20,000円未満	4. 30,000円以上

問7-9 問7-1で希望の欄で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんが何歳になったら利用したい(もしくはしたかった)ですか。

1. 3歳	2. 4歳	3. 5歳
-------	-------	-------

問7-10 問7で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

3に○をつけた方は、何歳になったら利用したいか()に記入してください。・

1. ほかに子どもを見る人がいる	①祖父母や親せき	②父母の友人や知人
2. 利用したいが利用できない		①空気がない ②経済的な理由・ ③延長・夜間等の時間帯の条件が合わない ④事業の質や場所など、納得できる事業がない
3. 子どもがまだ小さいため	()歳になったら利用しようと考えている	
4. 利用対象になると知らなかった		
5. その他(	)	

問7-11 現在、教育・保育施設を利用してる方(問7で「1」または「2」とお答えの方)に伺います。

幼児教育の無償化(※)が実現した場合に、現在の利用を継続して利用したいですか。または変更したいですか。

幼児教育の無償化が実施された場合、現在利用してる教育・保育施設を継続して利用したいですか。

1. 継続して利用したい。 ⇒問8へ 2. 異なる教育・保育施設を利用したい。 ⇒問7-12へ

問7-12 問7-11で「2. 異なる教育・保育施設を利用したい」とお答えの方に伺います。

幼児教育の無償化が実施された場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。当てはまる番号すべてに○を付けてください

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)	5. 小規模な保育施設	9. 居宅訪問型保育
2. 幼稚園の預かり保育	6. 家庭的保育	10. ファミリー・サポート・センター
3. 認可保育所	7. 事業所内保育施設	11. その他()
4. 認定こども園	8. その他の認可外の保育施設	

問7-13 現在、教育・保育施設を利用していない方(問7で「3」または「4」とお答えの方)に伺います。

幼児教育の無償化が実施された場合に、新たに教育・保育施設の利用を希望しますか。

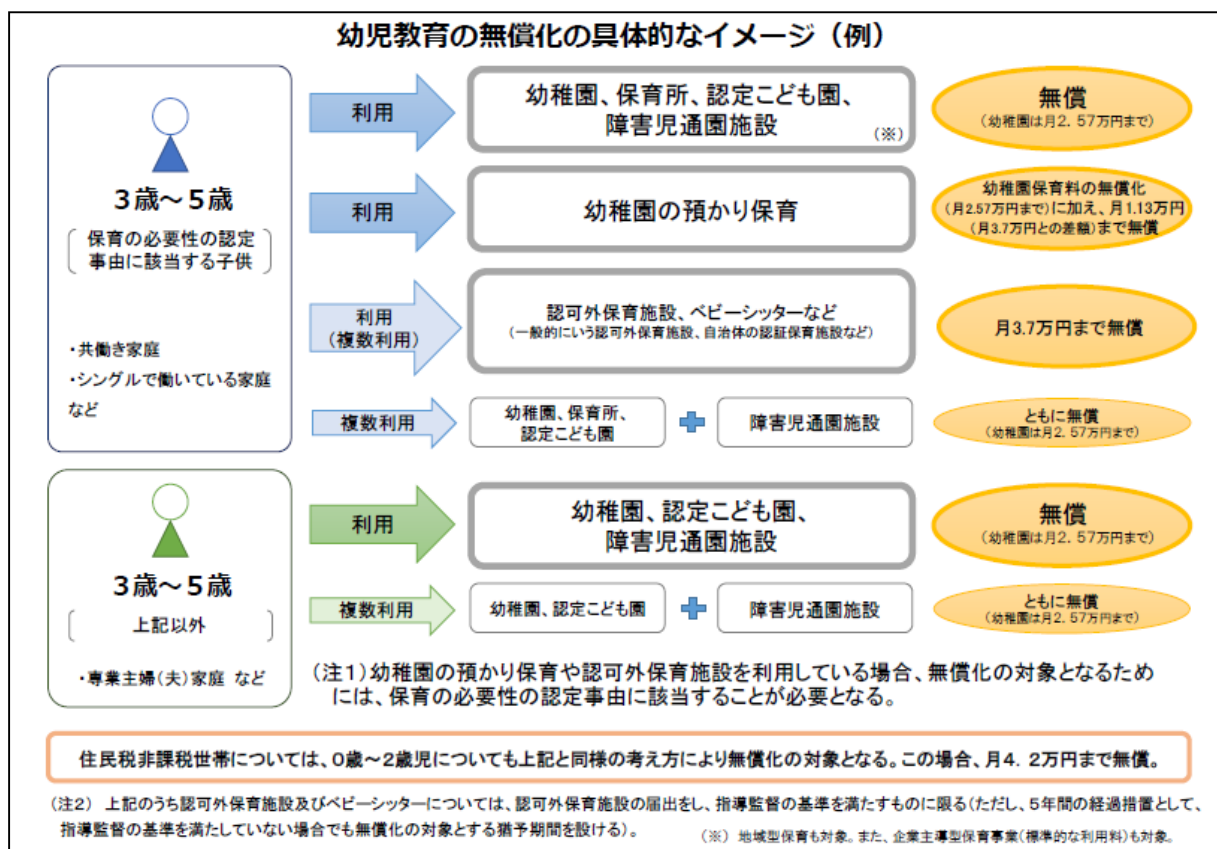
1. 新たに教育・保育施設を利用したい。 ⇒問7-14へ 2. 新たに教育・保育施設の利用を希望しない。 ⇒問8へ

問7-14 問7-13で「1. 新たに教育・保育施設を利用したい」とお答えの方に伺います。

幼児教育の無償化が実施された場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。当てはまる番号すべてに○を付けてください

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)	5. 小規模な保育施設	9. 居宅訪問型保育
2. 幼稚園の預かり保育	6. 家庭的保育	10. ファミリー・サポート・センター
3. 認可保育所	7. 事業所内保育施設	11. その他()
4. 認定こども園	8. その他の認可外の保育施設	

※幼児教育の無償化について



(内閣府 子ども・子育て本部資料)

問7-12 すべてのかたにうかがいます。

幼児教育の無償化が実現した場合に、現在の就労状況は変わりますか。

お母さん、お父さんそれぞれ当てはまる番号に○してください。

無償化実現後の就労状況の変化	お母さん	お父さん
1. 変わらない		
2. 就労時間を今よりも短くする		
3. 就労時間を今よりも長くする		
4. 就労していなかったが、就労を開始する		
5. 就労しているが、就労をやめる		

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯24時間制でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日(あてはまる番号1つに○)

(例)9時から18時

1. 利用する必要はない	] →	利用したい時間帯()時から ()時まで・
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

(2)日曜・祝日(あてはまる番号1つに○)

1. 利用する必要はない	] →	利用したい時間帯()時から ()時まで・
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問8-1 問8の(1)または(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」と答えた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	4. リフレッシュのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他()・
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

問9～9-3までは「幼稚園」を利用している方にうかがいます。

問9 現在お子さんが利用している幼稚園では預かり保育を実施していますか。

1. 実施している	2. 実施していない
-----------	------------

問9-1 問9で「1. 実施している」とお答えの方は、幼稚園の預かり保育を定期的に利用していますか。

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問9-2 問9-1で「1. 利用している」とお答えの方はその理由をお答えください。

1. 就労しているため	6. 親族や知人に負担をかけたくないため
2. 学生であるため	7. 保育所に空きがなかったため
3. 介護等をしているため	8. 保育所ではなく、幼稚園に通わせたいため
4. 病気や障がいがあるため	9. 保育所よりも利用料が安い
5. 自分の時間をつくりたいため	10. 送迎バスがあるため
	11. その他()・

問9-3 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の預かり保育の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、預かり保育の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯 ()時から()時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

問9-4 問9で「2. 実施していない」とお答えの方は、あてはまるもの1つに○をしてください。

1. 通っている園で預かり保育があれば利用したい
2. 今後も利用の必要がない
3. その他()

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問10 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えの方(問7で「1」または「2」と答えた方)にうかがいます。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問10-1 問10で「1. あった」とお答えの方にうかがいます。

その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください

1年間の対応		総日数
1. 休みをとった →	①父親がとった	()日
	②母親がとった	()日

(休みをとらず対応した場合)	総日数
2. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	()日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
4. 病児・病後児の保育を利用した	()日
5. ベビーシッターを利用した	()日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
8. その他()	()日

問10-2 問10-1で「1. 休みをとった」とお答えの方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば利用したかった ⇒ ()日 → 問10-3へ	2. 利用したいとは思わなかった → 問10-4へ
-----------------------------------	------------------------------

問10-3 問10-2で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にうかがいます。

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業 |
| 2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業 |
| 3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業 |
| 4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) |
| 5. その他() |

問10-4 問10-2で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にうかがいます。

そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。*

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 | 5. 利用料がかかる・高い |
| 2. 質に不安がある | 6. 利用料がわからない |
| 3. 近くに施設がない | 7. 親が仕事を休んで対応する |
| 4. 利用可能時間・日数が合わない | 8. その他() |

問10-5 問10-1で「2」～「8」(休みをとらず対応した)とお答えの方にうかがいます。

(1)休みを取らなかった理由は何ですか。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 2. 自営業なので休めない | 4. その他() |

(2)その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。いずれかに○をつけ、「1」の場合は問10-1の「2」～「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数について数字でご記入ください。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 思った …できれば仕事を休んで看護したい ⇒()日 | 2. 思わなかった |
|-------------------------------|-----------|

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問11 奈良市では、地域の子育て支援のために次のような事業を行っていますが、知っているものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 地域子育て支援センター(公共施設や保育所等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施) |
| 2. つどいの広場(親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供) |
| 3. 福祉センターの子育て広場(子育てスポットすくすく広場) |
| 4. 児童館の子育て広場 |
| 5. 子育てスポット(幼稚園等の一室で、親子どうしの交流や子育てに関するアドバイスの場を提供) |
| 6. ひとつも知らない * |

問12 あて名のお子さんは現在、問11の「1」～「5」の事業を利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。

また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

- | | | | |
|-----------------|-----------|------|----------------|
| 1. 地域子育て支援センター | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 2. つどいの広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 3. 福祉センターの子育て広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 4. 児童館の子育て広場 | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 5. 子育てスポット | 1週当たり()回 | もしくは | 1ヶ月当たり()回程度 * |
| 6. 利用していない | | | |

問12-1 問12で「6. 利用していない」と答えた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。

1. 知らなかった	4. 利用する必要がない
2. 近くにないため、利用できない	5. その他()
3. 休日に開館していないため、利用できない	

問13 問11のような地域の子育て支援のための事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい	1週当たり ()回 もしくは 1ヶ月当たり ()回程度・
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1週当たり 更に()回 もしくは 1ヶ月当たり 更に()回程度・
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問14 奈良市では、下記の事業や取組を行っています。この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
①子育て世代包括支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②妊婦健康診査	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③はじめてのママパパサロン(両親教室)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④すまいるmamaサポート(産後ケア事業)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤こんにちは赤ちゃん訪問	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥はぐくみセンターの教室 ぱくぱく教室(離乳食教室)や歯ぴか教室 (むし歯予防教室)等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦保育所の園庭開放や子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧幼稚園の園庭開放や子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨こども園の子育て支援や子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩子ども発達センターの療育相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪子育ての総合相談窓口 (家庭児童相談室)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬キッズホリデークラブ(教育センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑭子育て@なら(子育て応援ホームページ)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑮こども園・幼稚園・保育所のホームページ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑯エンゼル・サポート事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑰多子世帯支援ポイント事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけ、利用している場合は1年間のおおよその利用日数も()内に数字で
ご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1.一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業)・	()日
2.幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	()日
3.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
4.夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	()日
5.ベビーシッター	()日
6.地域子育て支援センター・つどいの広場における一時預かり	()日
7.その他()	()日
8.利用していない	

問15-1 問15で「8.利用していない」とお答えの方は、その理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 近くに施設がない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数が合わない	10. その他()

問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で問15に示した事業を利用したいと思いますか。
いずれか1つに○をつけてください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	➡ 問16-1へ	2. 利用する必要がない	➡ 問17へ
----------	----------	--------------	--------

問16-1 問16で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。
また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

①②それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を()内に数字でご記入ください。

①利用目的	年間日数
1. 私用(買物等)、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等	()日
3. 不定期の就労	()日
4. その他()	()日
②事業形態	
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他()	

問17 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

(預け先が見つからなかった場合も含みます)

1. あった	➡	問17-1へ	2. なかった	➡	問18へ
--------	---	--------	---------	---	------

問17-1 問17で「1. あった」とお答えの方、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応	
① 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	()泊
② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)・	()泊
③ ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
④ 仕方なく子どもを同行させた	()泊
⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
⑥ その他()	()泊

問17-2 問17で「1. あった」「①親族(同居者を含む)・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校入学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問18 あて名のお子さんについて、①小学校低学年(1～3年生)の間、また、②高学年の間には放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。また、「バンビーホーム」(放課後児童クラブ)の場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

※放課後子ども教室、バンビーホーム(放課後児童クラブ)については、次ページの説明を参照してください。

①お子さんが低学年(1～3年)のあいだの希望			②お子さんが高学年(4～6年)のあいだの希望		
1. 自宅	週	日	1. 自宅	週	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日
3. 習いごとや塾	週	日	3. 習いごとや塾	週	日
4. 児童館	週	日	4. 児童館	週	日
5. 放課後子ども教室	週	日	5. 放課後子ども教室	週	日
6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日	6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日
下校時から()時まで(24時間制で記入)			下校時から()時まで(24時間制で記入)		
7. ファミリーサポートセンター	週	日	7. ファミリーサポートセンター	週	日
8. その他(公民館や公園)	週	日	8. その他(公民館や公園)	週	日

問19 問18で「6. バンビーホーム」とお答えの方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を()内に(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。

土曜	日曜・祝日
1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで	1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで
2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで	2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで
3. 利用の必要なし	3. 利用の必要なし
夏休み・冬休み等長期休暇中	
1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで	
2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで	
3. 利用の必要なし	

放課後児童クラブ (バンビーホーム)

保護者の就労等の理由により、家庭で保育ができない子どもを対象として、授業終了後や夏休み等の期間において、家庭に代わる生活の場として、適切な遊びや指導を行います。

- ・対象学年 1学年～6学年
- ・利用料金 月額5,000円
(延長保育は月額2,000円を加算)
- ・実施施設 43箇所(市立)
- ・開所時間 (通常保育) 17時まで
(延長保育) 19時まで

放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校の余裕教室を活用して学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※文部科学省と厚生労働省が連携して総合的な放課後対策を推進する「放課後子ども総合プラン」に基づき、全ての児童が課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう「放課後子ども教室」と「バンビーホーム」の連携を進めています。

育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

問20 あて名のおさんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【3. 取得していないとお答えの方の理由番号は以下から選んでください】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
7. 保育園などに預けることができた	15. その他()
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	

※産前産後…産前6週間、産後8週間

問20-1～20-7は母親の方のみお答えください。

問20-1 問20で「2.取得した(取得中である)」とお答えの方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。・

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である	3. 育児休業中に退職した
--------------------	----------------	---------------

問20-2～20-7は問20-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみお答えください。

問20-2 問20-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」

にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという

場合も「1.」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問20-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何か月のときまで

取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰した

希望の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰したかった

問20-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としては()歳()か月まで

問20-5 問20-3で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

1. 希望する保育所に入るため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があったため	5. 職場の制度の都合のため ・
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	6. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

1. 希望する保育所に入れなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	6. その他() ・

問20-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校就学に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。・

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問20-7 問20-6で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」とお答えの方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた
6. 子育てや家事に専念するため退職した
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他()・

子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

問21 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。
満足度を5段階評価してください。

1	2	3	4	5
(低い)				(高い)

問22 子育てに関する情報をどのように入手していますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 親族(親、きょうだいなど) | 7. 子育て雑誌・育児書 |
| 2. 隣近所の人、知人、友人 | 8. インターネット |
| 3. 学校・保育所・幼稚園・こども園 | 9. コミュニティー誌 |
| 4. 市役所や市の機関 | 10. その他() |
| 5. 市の広報やパンフレット | 11. 情報の入手先がない |
| 6. テレビ、ラジオ、新聞 | 12. 情報の入手手段がわからない |

問23 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 病気や発育・発達に関すること | 12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと |
| 2. 食事や栄養に関すること | 13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など
まわりの見る目が気になること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと | 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる
人がいないこと |
| 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと | 15. 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと | 16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり
世話をしなかつたりしてしまうこと |
| 6. 話し相手や相談相手がいらないこと | 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み
方法がよくわからないこと |
| 7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと | 18. その他()・ |
| 8. 子どもの教育に関すること | 19. 特にない |
| 9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること | |
| 10. 不登校などの問題について | |
| 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの
協力が少ないこと | |

問24 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 配偶者・パートナー | 11. 母子相談員 |
| 2. その他の親族(親・きょうだいなど) | 12. 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 13. 教育センター(教育相談窓口) |
| 4. 職場の人 | 14. 地域子育て支援拠点(ひろばやセンター等)
のスタッフやボランティアの人 |
| 5. 学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間 | 15. 中央こども家庭相談センター(児童相談所) |
| 6. 子育てサポーター | 16. 民間の電話相談 |
| 7. 学校・保育所・幼稚園・こども園の先生 | 17. インターネットを利用したコミュニケーション |
| 8. 医療機関の医師・保健師・看護師・栄養士など | 18. 相談相手がいない |
| 9. はぐみセンター(保健所)や保健センターの保健師、
助産師、栄養士など | 19. その他() |
| 10. 家庭児童相談室(子育て相談課) | 20. 相談すべきことがない |

問25 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありませんか。

あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 上の子どもの世話 | 5. 子どもの病気 |
| 2. 家事 | 6. 経済的負担 |
| 3. 出産の際の病院等への移動手段 | 7. 家族の協力が得られないこと |
| 4. 健診時の病院等への移動手段 | 8. その他() |

問26 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか(解決につながった、など)について自由にご記入ください。

(希望するサポート)

(実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか)

子どもにやさしいまちについて質問します

問27 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問27-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

※「子どもにやさしいまち」は子どもが自立するための知識と経験を得られるよう子どもへの支援及び子育て支援に社会全体で取り組み、1人1人の子どもが安心して暮らすことのできるまち、と定義づけられています。子どもにやさしいまちを推進していく上で必要なものは何だと思いますか。

- | |
|--|
| 1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子どもが意見表明や参加する機会がある |
| 2. 安心して子育てできる環境がある |
| 3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある |
| 4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある |
| 5. 子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある |
| 6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある |
| 7. その他() |

問28 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問28-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 経済的支援が充実している | 7. 近隣にショッピングができる環境がある |
| 2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している | 8. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている |
| 3. 教育・保育に関する環境が充実している | 9. 公共交通機関が整備されている |
| 4. 子育て住宅が整備されている | 10. その他() |
| 5. 親子で外出する環境が整備されている | |
| 6. 子どもにとって安全な環境がある | |

自由記述

問29 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。
お忙しい中、最後まで記入いただきまして、ありがとうございました。
ご回答いただいた内容は、統計データとして処理し、今後の計画に活用します。



奈良市から
子育てに関するアンケート調査へのご協力をお願い



【小学生のお子さんの保護者の方への調査】

調査票(案)

平成30年12月
奈良市

ご記入にあたってのお願い

- ・ アンケートは封筒のあて名のお子さんのことについて、保護者の方がご記入ください。
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただく質問と、数字などをご記入いただく質問とがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きに従ってお進みください。
- ・ アンケートに記載されている事業やサービスの名称・内容が分からない場合はこの文書の裏面に記載している説明書きをご参照ください。
- ・ 封筒、アンケートともにお名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて 月 日（ ）までに郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。



＜アンケートに関するお問い合わせ先＞

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 FAX：0742-34-4798



奈良市が取り組む子育て支援事業の一例



定期的に利用できる事業

放課後児童クラブ (バンビーホーム)

保護者の就労等の理由により、家庭で保育ができない子どもを対象として、授業終了後や夏休み等の期間において、家庭に代わる生活の場として、適切な遊びや指導を行います。

- ・対象学年 1学年～6学年
- ・利用料金 月額5,000円
(延長保育は月額2,000円を加算)
- ・実施施設 43箇所(公設)
- ・開所時間 (通常保育) 17時まで
(延長保育) 19時まで
- ・日曜日・祝日は開所していません。

ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助をしたい人」が会員として登録し、会員相互間で子育て等の援助を行う事業です。センターでは、会員相互の連絡調整を行っています。

放課後やバンビーホーム終了後に子どもを預けるような定期的な利用だけではなく、保護者の事情による一時的な利用も可能です。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

放課後子ども教室

放課後等に小学校の余裕教室等を活用し、地域住民等の協力を得て、子どもたちが地域で心豊かに育まれる環境づくりを行っています。

活動内容については、各放課後子ども教室ごとに様々な取組を企画立案実行しています。

キッズホリデークラブ

教育センターにおいて、土曜日や日曜日等に親子で参加できる「科学実験」「ものづくり工作」「ロボット講座」などの教室を開催しています。また、季節に合わせたプラネタリウムの投影を行っています。

病児・病後児保育

子どもが病気もしくは病気の回復期で、保護者の仕事の都合で家庭での保育が困難な場合に、専用施設で預かり、保育を行います。

- ・対象年齢…小学6年生まで
- ・利用料金…1日あたり2,000円
(その他食事代等の実費あり)
- ・実施施設…病児保育 : 2か所
病後児保育 : 2か所

奈良市子育ておうえんサイト「子育て@なら」では、上記の取組のほかにも、奈良市での子育てに役立つ情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>



小学生のお子さんを持つ保護者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○)

中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (丁目)				

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 ご家族の状況についてお答えください。

(1)あて名のお子さんを含めて、お子さんは何人いらっしゃいますか。 ()人

(2)あて名のお子さんの生年月をお答えください。 平成()年()月

(3)お子さんが2人以上の場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。 平成()年()月

(4)あて名のお子さんと同居されている親族等(きょうだい以外)を①の欄にお答えください。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。但し単身赴任等で別居されている場合は②の欄に○をつけてください。

	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. その他の親族
①同居					
②単身赴任等で別居					

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

あて名のお子さんから見た関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他()
-------	-------	-----------

問4 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他()
----------	---------	---------	----------	-----------

問5 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問5-1 問5で「1」～「4」とお答えの方にうかがいます。祖父母等の親族や知人にあて名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. みてもらう人の身体的負担が大きく心配である
3. みてもらう人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問6 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてお答えください。

①～⑨の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。

※母子家庭・父子家庭の場合は、いずれかにお答えください。

※保護者が父母でない場合は、主にお子さんをみていらっしゃる方についてお答えください。

項目		父親	母親
①就労の有無		1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している(育休等含む) 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
「1. 就労している(育休等含む)」とお答えの方は②以降もお答えください。2、3とお答えの方は⑥へ。			
就 労 し て い る 場 合	②就労形態 ①②の場合は育休中かどうかもお答えください。	1 フルタイム (育休中・育休中でない) 2 パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3 自営業 4 その他()	1 フルタイム (育休中・育休中でない) 2 パート・アルバイト (育休中・育休中でない) 3 自営業 4 その他()
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間	就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)	就労日数 1週あたり()日 就労時間 1日あたり()時間 (残業時間を含む)
	④家を出る時間と帰宅時間	※24時間制でお答えください (例: 帰宅時間 19時)	
		1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時	1. 家を出る時間()時 2. 帰宅時間 ()時
	⑤ ②で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい

就労していない場合	⑥就労希望はありますか	1. 就労したい 2. 就労したくない	1. 就労したい 2. 就労したくない
	1. 「就労したい」とお答えの方は、⑧～⑩にお答えください。		
	⑦希望の就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()
	⑧希望の就労時期	1. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい 3. その他()	1. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃就労したい 2. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい 3. その他()
	⑨現在就労していない理由	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先がないためできない 3. その他()	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先がないためできない 3. その他()

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

※育児等…育児、産休、介護休

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問7 平日の放課後のお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下の枠内の選択肢の中からそれぞれ1つ選んで表に番号を記入してください。

14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時以降

【上記それぞれの時間帯について下記から選んでください】

1. 学校にいた	6. 友達の家でいた
2. バンビーホーム(放課後児童クラブ)にいた	7. 公園などで友達と遊んでいた
3. 保護者や祖父母などの家族・親族(大人)と過ごした	8. 児童館などの公共施設にいた
4. 家で兄弟姉妹と子どもたちだけで過ごした	9. クラブ活動や地域活動(子ども会・スポーツ活動)
5. 家で一人で過ごした(自分以外に誰もいない状態)	10. 学習塾や習いごとに行っていた
	11. その他()

問8 あて名のお子さんについて、①小学校低学年(1～3年生)の間、又は②高学年(4～6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。すべてに○をつけてください。

また、それぞれ希望する1週間あたりの日数も記入してください。

あて名のお子さんが設問の学年にあてはまらない場合も「希望」としてご記入ください。

①お子さんが低学年(1～3年)のあいだの希望			②お子さんが高学年(4～6年)のあいだの希望		
1. 自宅	週	日	1. 自宅	週	日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	日
3. 習いごとや塾	週	日	3. 習いごとや塾	週	日
4. 児童館	週	日	4. 児童館	週	日
5. 放課後子ども教室	週	日	5. 放課後子ども教室	週	日
6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日	6. バンビーホーム(放課後児童クラブ)	週	日
下校時から()時まで(24時間制で記入)			下校時から()時まで(24時間制で記入)		
7. ファミリー・サポート・センター	週	日	7. ファミリー・サポート・センター	週	日
8. その他(公民館や公園)	週	日	8. その他(公民館や公園)	週	日

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校の余裕教室等を活用して学習・スポーツ・文化芸活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問9 問8で「6. バンビーホーム」とお答えの方

うかがいます。
あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、また夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に保護者が昼間に家庭にいない場合に、バンビーホームの利用希望はありますか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

また、利用したい時間帯を()内に(例)9時から18時のように24時間制でご記入ください。

なお、バンビーホームの利用には一定の利用料がかかります。

土曜	日曜・祝日
1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで	1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで
2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで	2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで
3. 利用の必要なし	3. 利用の必要なし
夏休み・冬休み等長期休暇中	
1. 低学年の間利用希望 ()時から()時まで	
2. 高学年も利用希望 ()時から()時まで	
3. 利用の必要なし	

問10 各小学校区ごとに『放課後子ども教室』を実施していますが、その利用希望はありますか。

あてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は希望の日数を数字で記入してください。

1. 利用したい	⇒	1週あたり () 日くらい
2. 今後も利用しない		
3. 対象のサービスが地域であり実施されていない／実施されているかわからない		

あて名のお子さんのバンビーホーム(放課後児童クラブ)の利用についてうかがいます。

問11 あて名のお子さんについて、現在、バンビーホーム(放課後児童クラブ)を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※バンビーホーム(放課後児童クラブ)

地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童に、生活の場を提供するものです。

問11-1 問11で「1利用している」に○をつけた方は ①利用日数を数字で記入し、②利用している理由についてもあてはまる番号1つに○をつけてください。

利用 し て い る	①利用日数	1週あたり()日くらい ⇒ うち土曜日の利用(1. ある 2. ない)
	②利用している理由	お子さんの身の回りの世話を主にしている方が 1. 現在就労している 4. 学生である 2. 家族・親族の介護の必要がある 5. その他() 3. 病気や障がいがある

問11で「2利用していない」に○をつけた方は③利用していない理由と④今後の利用についてあてはまる番号に○をつけてください

利用 して い ない	③利用していない理由	1. 現在就労していないから 2. 就労しているが	⇒ ① 知らなかった ② 近くにない ③ 空気がない ④ 開所時間が短い ⑤ 利用料がかかる	⑥ 習いごとがある ⑦ 子どもだけで大丈夫だから ⑧ ほかの施設に預けている ⑨ その他 ()
	④今後の利用について	1. 利用したい 2. 今後も利用しない	⇒ 1週あたり()日くらい うち土・日の利用希望 (あり・なし)	

あて名のお子さんの居場所についてうかがいます。

問12 家の近くの子どもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。下の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 8. 緑などの自然が少ない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない | 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 10. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 4. 遊具などの種類が充実していない | 11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない |
| 5. 不衛生である | 12. その他() |
| 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする | 13. 特に感じることはない |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である | |

問13 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場 |
| 2. 子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場 |
| 3. 子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場 |
| 4. 子ども自身が悩みを相談できる場 |
| 5. その他() |

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問14 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えの方(問7で「1」または「2」と答えた方)にうかがいます。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問14-1 問14で「1. あった」とお答えの方にうかがいます。

その際の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

1年間の対応		総日数
1. 休みをとった →	①父親がとった	()日
	②母親がとった	()日

(休みをとらず対応した場合)	総日数
2. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	()日
3. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
4. 病児・病後児の保育を利用した	()日
5. ベビーシッターを利用した	()日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
8. その他()	()日

問14-2 問14-1で「1. 休みをとった」とお答えの方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設等を利用したい」と思いましたか。

あてはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば利用したかった ⇒ ()日	2. 利用したいとは思わなかった
➡ 問14-3へ	➡ 問14-4へ

問14-3 問14-2で「1. できれば利用したかった」とお答えの方にうかがいます。

上記の目的であて名のお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所等に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
2. 小児科等の病院に併設された施設で、看護師や保育士が保育する事業
3. 奈良市の研修を修了した看護師や保育士が自宅へ訪問することにより保育する事業
4. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
5. その他()

問14-4 問14-2で「2. 利用したいとは思わなかった」とお答えの方にうかがいます。

そう思う理由についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。・

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	5. 利用料がかかる・高い
2. 質に不安がある	6. 利用料がわからない
3. 近くに施設がない	7. 親が仕事を休んで対応する
4. 利用可能時間・日数が合わない	8. その他()

問14-5 問14-1で「2」～「8」(休みをとらず対応した)とお答えの方にうかがいます。

(1)休みを取らなかった理由は何ですか。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	3. 休暇日数が足りないので休めない
2. 自営業なので休めない	4. その他()

(2)その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思いましたか。いずれかに○をつけ、「1」の場合は問14-1の「2」～「8」の日数のうち仕事を休みたかった日数について数字でご記入ください。

1. 思った …できれば仕事を休んで看護したい ⇒ ()日	2. 思わなかった
--------------------------------	-----------

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

- 問15 奈良市では、下記の事業や取組を行っていますが、この中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
①教育相談窓口(教育センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②特別支援教育の相談(教育センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③子育ての総合相談窓口 (家庭児童相談室)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④放課後子ども教室(小学校や公民館等)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤児童館の各種教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦キッズホリデークラブ(教育センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧くろかみやま自然塾	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨子育て@なら(子育て応援ホームページ)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩なら子どもサポートネット(不審者情報メール)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

あて名のお子さんの一時預かり等の利用状況についてうかがいます。

- 問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数【年間】
1.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	()日
2.夜間養護等事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	()日
3.ベビーシッター	()日
4.その他()	()日
5.利用していない	—

- 問16-1 問16で「5. 利用していない」と答えた方は、その理由にあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	6. 利用料がかかる・高い
2. 利用したいサービスが地域にない	7. 利用料がわからない
3. 質に不安がある	8. 自分が利用できるかどうかわからない
4. 近くに施設がない	9. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
5. 利用可能時間・日数が合わない	10. その他()

- 問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用したいと思いますか。いずれか1つに○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	→ 問17-1へ	2. 利用する必要がない	→ 問18へ
----------	----------	--------------	--------

問17-1 問17で「1. 利用したい」とお答えの方は、希望としては年間何日くらい利用したいと思いますか。

また、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

①②それぞれあてはまる番号すべてに○をつけ、①については目的別の日数を()内に数字でご記入ください。

①利用目的	年間日数
1. 私用(買物等)、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的	()日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等	()日
3. 不特定の就労	()日
4. その他()	()日
②事業形態	
1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)	
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域の子育て支援拠点等)	
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	
4. その他()	

問18 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけ」で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対応としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。

1年間の対応		
1. あった	① 親族(同居者を含む)・知人にみてもらった	()泊
	② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)・	()泊
	③ ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	()泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	()泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()泊
	⑥ その他()	()泊
2. なかった		

問18-1 問18で「1. あった」「①親族(同居者を含む)・知人にみてもらった」とお答えの方にうかがいます。あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというと難しかった	3. 特に難しくなかった
-------------	------------------	--------------

育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度についてうかがいます。

- 問19 あて名のお子さんが生まれた時、母親・父親のいずれか、または両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を番号でご記入ください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない 理由番号()	3. 取得していない 理由番号()

【3. 取得していないとお答えの方の理由番号は以下から選んでください】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
2. 仕事が忙しかった	10. 子育てや家事に専念するため退職した
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
7. 保育園などに預けることができた	15. その他()
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	

※産前産後…産前6週間、産後8週間

問19-1～19-7は母親の方のみお答えください。

- 問19-1 問19で「2.取得した(取得中である)」とお答えの方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。・

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である	3. 育児休業中に退職した
--------------------	----------------	---------------

問19-2～19-7は問19-1で「1. 育児休暇取得後、職場に復帰した」とお答えの方のみお答えください。

- 問19-2 問19-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

- 問19-3 育児休業からは、「実際」にあて名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

実際の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰した
希望の復帰時期 …お子さんが()歳()か月のとき復帰したかった

問19-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはあて名のお子さんが何歳何か月
のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

希望としては()歳()ヶ月まで

問19-5 実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。*

(1)「希望」より早く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. 職場の制度の都合のため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | 6. その他() |

(2)「希望」より遅く復帰した方(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみってくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他() |

問19-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※短時間勤務制度とは、小学校に入学するまでの子どもを養育するために、常勤職員のまま、いくつかある勤務形態から選択し、希望する日及び時間帯に勤務することができる制度です。*

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)* |

問19-7 「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と答えた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみってくれる人がいた |
| 6. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他() |

アンケート終了までもう少しです。
最後に、子育てに関する困りごとについてうかがいます。



子育てに関する困りごとなどについてうかがいます。

- 問20 奈良市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。
満足度を5段階評価してください。

1 (低い)	2	3	4	5 (高い)
-----------	---	---	---	-----------



- 問21 子育てに関する情報をどのように入手していますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族(親、きょうだいなど)	7. 子育て雑誌・育児書
2. 隣近所の人、知人、友人	8. インターネット
3. 学校・保育所・幼稚園・こども園	9. コミュニティ誌
4. 市役所や市の機関	10. その他()
5. 市の広報やパンフレット	11. 情報の入手先がない
6. テレビ、ラジオ、新聞	12. 情報の入手手段がわからない

- 問22 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気や発達・発達に関すること	12. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
2. 食事や栄養に関すること	13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など まわりの見る目が気になること
3. 育児の方法がよくわからないこと	14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる 人がいないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	15. 子どもを叱りすぎているような気がする
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり 世話をしなかったりしてしまうこと
6. 話し相手や相談相手がないこと	17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み 方法がよくわからないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	18. その他()
8. 子どもの教育に関すること	19. 特になし
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する	
10. 不登校などの問題について	
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの 協力が少ないこと	

- 問23 子育てに関する悩みや不安をどなたかに相談していますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー	11. 母子相談員
2. その他の親族(親・きょうだいなど)	12. 民生・児童委員、主任児童委員
3. 隣近所の人、地域の知人、友人	13. 教育センター(教育相談窓口)
4. 職場の人	14. 地域子育て支援拠点(ひろばやセンター等) のスタッフやボランティアの人
5. 学校・保育所・幼稚園・こども園の保護者の仲間	15. 中央こども家庭相談センター(児童相談所)
6. 子育てサポーター	16. 民間の電話相談
7. 学校・保育所・幼稚園・こども園の先生	17. インターネットを利用したコミュニケーション
8. 医療機関の医師・保健師・看護師・栄養士など	18. 相談相手がない
9. はぐみセンター(保健所)や保健センターの保健師、 助産師、栄養士など	19. その他()
10. 家庭児童相談室(子育て相談課)	20. 相談すべきことがない

問24 妊娠中や出産後3か月以内に家事・育児に関して困ったことはありましたか。

あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 上の子どもの世話 | 5. 子どもの病気 |
| 2. 家事 | 6. 経済的負担 |
| 3. 出産の際の病院等への移動手段 | 7. 家族の協力が得られないこと |
| 4. 健診時の病院等への移動手段 | 8. その他() |

問25 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。サポートを受けたことがある方は良かったことや、受けてどうなったか(解決につながった、など)について自由にご記入ください。

(希望するサポート)

(実際に受けたサポートと、良かったこと、受けてどうなったか)

子どもにやさしいまちについて質問します

問26 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問26-1 子どもにやさしいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

※「子どもにやさしいまち」は子どもが自立するための知識と経験を得られるよう子どもへの支援及び子育て支援に社会全体で取り組み、1人1人の子どもが安心して暮らすことのできるまち、と定義づけられていますが、子どもにやさしいまちを推進していく上で必要なものは何だと思えますか。

- | |
|--|
| 1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子どもが意見表明や参加する機会がある |
| 2. 安心して子育てできる環境がある |
| 3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある |
| 4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある |
| 5. 子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある |
| 6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある |
| 7. その他() |

問27 奈良市は子育てしやすいまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. あまり思わない |
| 2. そう思う | 4. まったく思わない |

問27-1 子育てしやすいまちだと感じる条件は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 経済的支援が充実している | 6. 子どもにとって安全な環境がある |
| 2. 子どもや子育てに関する相談窓口が充実している | 7. 近隣にショッピングができる環境がある |
| 3. 教育・保育に関する環境が充実している | 8. 職場が近く、ワークライフバランスが保たれている環境がある |
| 4. 子育て住宅が整備されている | 9. 公共交通機関が整備されている |
| 5. 親子で外出する環境が整備されている | 10. その他() |

自由記述

問28 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。



以上でアンケートは終了です。
お忙しい中、最後まで記入いただきまして、ありがとうございました。
ご回答いただいた内容は、統計データとして処理し、今後の計画に
活用します。

奈良市から
子育てに関するニーズ調査へのご協力をお願い

【母子健康手帳交付者への調査】

調査票(案)

平成30年12月
奈良市

ご記入にあたってのお願い

- ・
- ・ 回答は当てはまる番号を○で囲んでいただく質問と、数字などをご記入いただく質問とがあります。
- ・ 回答部分が選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ・ 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きに従ってお進みください。
- ・ ニーズ調査に記載されている事業やサービスの名称・内容が分からない場合はこの文書の裏面に記載している説明書をご参照ください。
- ・ 封筒、調査用紙ともにお名前は記入しないでください。
- ・ ご記入いただきました調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて 月 日（ ）までに郵便ポストに入れてください。なお、切手を貼っていただく必要はありません。

＜ニーズ調査に関するお問い合わせ先＞

奈良市 子ども未来部 子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話：0742-34-4792 F A X：0742-34-4798



奈良市が取り組む子育て支援事業の一例



定期的に利用できる事業

認定こども園

就学前の子どもを持つ保護者の教育・保育ニーズに対応し、教育・保育を一体的に行います。

(市立：16園、私立：11園)

認可保育所

保護者が昼間、仕事や病気などで家庭で保育ができない児童を保護者に代わって預かり、保育を行います。定員があります。

(市立：10園、私立：20園)

幼稚園

幼児を教育し、健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

(国立：2園、市立：20園、私立：14園)

幼稚園の預かり保育

通常の教育時間の終了後に、就労や介護のほか、リフレッシュのために、希望する保護者を対象に、引き続き幼稚園で児童を預かります。

(市立：10園、私立：13園)

認可外保育施設

保育所や幼稚園の認可を受けていませんが、児童の保育を行います。入園の手続きや保育料、保育時間等は各施設によって異なり、利用に当たっても直接その施設に申し込むことになります。奈良市に届出されている施設は、10施設あります。

ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助をしたい人」が会員として登録し、会員相互間で子育て等の援助を行う事業です。センターでは、会員相互の連絡調整を行っています。保育所や幼稚園の開園時間の前後に子どもを預けたり、送迎のような定期的な利用だけではなく、保護者の事情による一時的な利用も可能です。

地域の子育て支援や一時的に利用できる事業

地域子育て支援センター

乳幼児とその保護者が気軽に、かつ自由に交流できる場の提供、子育てに関する相談や情報の提供、子育て支援に関する講習の開催、公共施設等に出向いての子育て支援活動などを行っています。利用料無料、申込不要です。(市内7か所)

つどいの広場

乳幼児とその保護者が気軽に、かつ自由に交流できる場の提供、子育てに関する相談や情報の提供、子育て支援に関する講習の開催などを行っています。利用料無料、申込不要です。(市内6か所)

福祉センターの子育て広場

乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場及び育児相談等を行う場の提供を、市内各地域の福祉センターで実施しています。また、高齢者との異世代間交流ができる場もあります。利用料無料、申込不要です。(市内4か所)

児童館の子育て広場

公立児童館において、乳児から就学前の児童とその保護者を対象とした子育て親子の交流、子育てについての相談、情報提供、その他の援助を行う子育て広場を実施しています。利用料無料、申込不要です。(市内4か所)

子育てスポット

月に1～2回、3時間程度、幼稚園や公民館等の一室で、子育て親子が集って遊べる広場を実施しています。利用料無料、申込不要です。(市内28か所)

一時預かり(保育所)

保護者の事情により、一時的に家庭での保育ができない場合に、保育所等で一時的に子どもを預かり、保育を行います。

(保育所等：17園)

病児・病後児保育

子どもが病気もしくは病気の回復期で、保護者の仕事の都合で家庭での保育が困難な場合に、専用施設で預かり、保育を行います。

(病児保育：2か所、病後児保育：2か所)

奈良市の子育ておうえんサイト「子育て@なら」では、上記の取組のほかにも、奈良市での子育てに役立つ情報を掲載しています。

URL <http://www.naracity-kosodate.jp/>



母子健康手帳交付者の皆さんに向けたアンケート

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの中学校区はどこですか(1つに○) 中学校区がわからない場合は、お住まいの町名を回答欄の最後にある()内にご記入ください。

1. 春日	2. 三笠	3. 若草	4. 伏見	5. 富雄
6. 都南	7. 田原	8. 興東館柳生	9. 登美ヶ丘	10. 平城西
11. 二名	12. 京西	13. 富雄南	14. 平城	15. 飛鳥
16. 登美ヶ丘北	17. 都跡	18. 平城東	19. 月ヶ瀬	20. 都祁
21. 富雄第三				
※中学校区がわからない場合…() (町) (丁目)				

ご家族の状況についてうかがいます。

問2 ご家族の状況についてお答えください。

現在妊娠中のお子さん以外のお子さんについてお答えください。

- (1) お子さんは何人いらっしゃいますか。 ()人
- (2) (1)のお子さんがいらっしゃる場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。 平成()年()月
- (3) あなたのお子さん以外に、あなたと同居されている親族等はいいますか。

1. 同居の親族がいる	2. 同居の親族はいない
-------------	--------------

1. と答えた方は、同居されている方あてはまる番号すべてを①の欄にお答えください。

ただし、単身赴任の場合は、②の欄に○を付けてください。

	1. 配偶者・パートナー	2. あなた又は配偶者の母親	3. あなた又は配偶者の父親	4. その他の親族
①同居				
②単身赴任等で別居				

問3 現在の妊娠月数についてお答えください。

1. 妊娠初期(～4か月)	2. 妊娠中期(5～7か月)	3. 妊娠後期(8～10か月)
---------------	----------------	-----------------

問4 妊婦一般健康診査受診票は、妊娠何か月から使用を開始する予定ですか。既に使用している方は、使用を開始した妊娠月をお答えください。(1つに○)

1. 2か月以内	2. 3か月	3. 4か月	4. 5か月	5. 6か月～臨月
----------	--------	--------	--------	-----------

問5 妊娠・出産に関する必要な情報は入手できていますか。(①～⑤それぞれ1つに○)

必要な情報	得られている	どちらともいえない	得られていない
①妊娠出産に関する制度について			
②妊娠中の過ごし方について			
③出産・分娩に関することについて			
④出産後のことについて			
⑤子育てを支援してくれる制度について			

問6 出産や子育て・教育に関して、①気軽に相談できるのは誰(どこ)ですか。また、②情報は何かから得ていますか。
(①②それぞれ当てはまる欄に○)

相談先あるいは情報源となるもの	①相談先	②情報源
1. 配偶者・パートナー		
2. 実父・実母、義父・義母、その他親族、親類		
3. 友人・知人		
4. 民間の相談サービス		
5. 民生委員・児童委員		
6. 市の相談窓口・保健センター・男女共同参画センターなど		
7. 病院・診療所		
8. 市の広報誌・パンフレットなど		
9. 子育て@なら(奈良市の子育て情報サイト)		
10. テレビ・新聞、インターネットなどのマスメディア		
11. その他 相談先() 情報源()		
12. 相談できる人(相談先)はない		

問6-1 問6で「12」に○を付けた方にうかがいます。

今後、どのような相談先を得たいと思いますか。問6の選択肢の中から選び、下の欄の同じ番号に○をつけてください。

(当てはまる番号すべてに○)

1	2	3	4	5	6	7	10	11(具体的に)
---	---	---	---	---	---	---	----	-----------

問6-2 すべての方にうかがいます。

あなたは、どのような妊娠・出産・子育てに関する情報を知りたいと考えていますか。

(主な番号3つに○)

1. 子育て支援施設(幼稚園・保育園等)の受け入れに関する情報 2. 妊婦健診に関する情報 3. 病院(産科)・助産師に関する情報 4. 産後ケア事業に関する情報 5. 乳幼児健診、予防接種等に関する情報 6. 両親教室や子どもの健康教室(離乳食、むし歯予防等)に関する情報 7. 病院(小児科)・休日当番医等に関する情報 8. 子どもに関する手当(児童手当・医療費助成等)に関する情報 9. 子育て支援センター・児童館等で行われるイベント情報 10. 小学校に関する情報 11. バンビーホーム(学童保育)に関する情報 12. 一時預かり(一時保育)、ファミリー・サポート・センターに関する情報 13. 病児・病後児保育に関する情報 14. 健康・発達についての情報 15. しつけ・成長等子育てに関する情報 16. 食事・栄養に関する情報 17. その他()
--

問7 出産や子育て・教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと考えていますか。
 ご自由にお書きください。

あなた及び配偶者・パートナーの就労状況についてうかがいます。

問6 あなた（妊婦の方）及び配偶者・パートナーの方の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

①～⑨の項目ごとに当てはまる番号1つに○をつけてください。

※配偶者・パートナーがいない場合は、「あなた」の欄のみお答えください。

項目	あなた	配偶者・パートナー
①就労の有無	1. 就労している（育休等含む） 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない	1. 就労している（育休等含む） 2. 以前は就労していたが、現在は就労していない 3. 就労したことがない
「1. 就労している（育休等含む）」とお答えの方は③以降もお答えください。		
②就労形態 ①②の場合は育休中かどうかもお答えください。	1 フルタイム （育休中 ・ 育休中でない） 2 パート・アルバイト （育休中 ・ 育休中でない） 3 自営業 4 その他（ ）	1 フルタイム （育休中 ・ 育休中でない） 2 パート・アルバイト （育休中 ・ 育休中でない） 3 自営業 4 その他（ ）
就労している場合	※もっとも多いパターンをお答えください	
	③1週間の就労日数と1日当たりの残業時間を含む就労時間 就労日数 1週あたり（ ）日 就労時間 1日あたり（ ）時間 （残業時間を含む）	就労日数 1週あたり（ ）日 就労時間 1日あたり（ ）時間 （残業時間を含む）
	※24時間制でお答えください（例：帰宅時間 19時）	
	④家を出る時間と帰宅時間 1. 家を出る時間（ ）時 2. 帰宅時間 （ ）時	1. 家を出る時間（ ）時 2. 帰宅時間 （ ）時
⑤ ③で2パート・アルバイトで就労しているに○を付けた方	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない 3. パート・アルバイトを続けたい 4. パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい

就 労 し て い な い 場 合	⑥就労希望は ありますか		1. 就労したい 2. 就労したくない	1. 就労したい 2. 就労したくない
	1.「就労したい」とお答えの方は、⑧～⑩にお答えください。			
	就 労 し た い 場 合	⑦希望の 就労形態	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()	1. フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業 4. その他()
		⑧希望の 就労時期	1. 1年より先、一番下の子どもが()歳 ()歳になった頃就労したい 2. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい 3. その他()	1. 1年より先、一番下の子どもが ()歳になった頃就労したい 2. すぐにも、もしくは1年以内に 就労したい 3. その他()
		⑨ 現在就労して いない理由	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先が ないためできない 3. その他()	1. 就労したいが仕事がない 2. 就労したいが子どもの預け先が ないためできない 3. その他()

※フルタイム…1週あたり5日程度、1日あたり8時間程度の就労

※育休等…育休、産休、介護休

平日の施設・事業の利用について

- ・この項目における施設・事業は、以下の表にある番号でお答えください。
 ・施設や事業の内容については、2Pにある「奈良市が取り組む子育て支援事業の一例」も参考にしてください。

施設・事業の種類
1. 幼稚園(通常の就園時間のみの利用) 2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育(通常の就園時間+在園児を対象とした園長保育の利用) 3. 認可保育所(保育園)(法令による認可を受けたもので定員20人以上のもの) 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 5. 小規模保育事業(0~2歳児を預かる施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の0~2歳児を事業) 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) 8. 認証保育所(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) 9. その他の認可外の保育施設 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が0~2歳児をその子どもの家庭で保育する事業) 11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)

※ これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問9 出産後、お子さんに上の表の中にある施設・事業で、日常的に利用させたいと考えるものはありますか。(当てはまる番号に○)

1. 利用させたい施設・事業がある ⇒ 問9-1、問9-2へ
 2. 利用させたい施設・事業がない ⇒ 問10へ

問9-1 利用させたいと考える施設・事業はどれですか。(上の表の中から当てはまる番号をすべて記入)

日常的に利用させたい施設・事業 ⇒

問9-2 問9-1で選んだ施設・事業で、もっとも利用したいものはどれですか。1つ選んで番号を記入してください。

もっとも利用させたい施設・事業 ⇒

問9-3 問9-1で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんが何歳になったら利用したいですか。

1. 3歳 2. 4歳 3. 5歳

問10 すべての方にうかがいます。

幼児教育の無償化(※)が実現した場合に、表の中にある施設・事業で、もっとも利用したいものはどれですか。

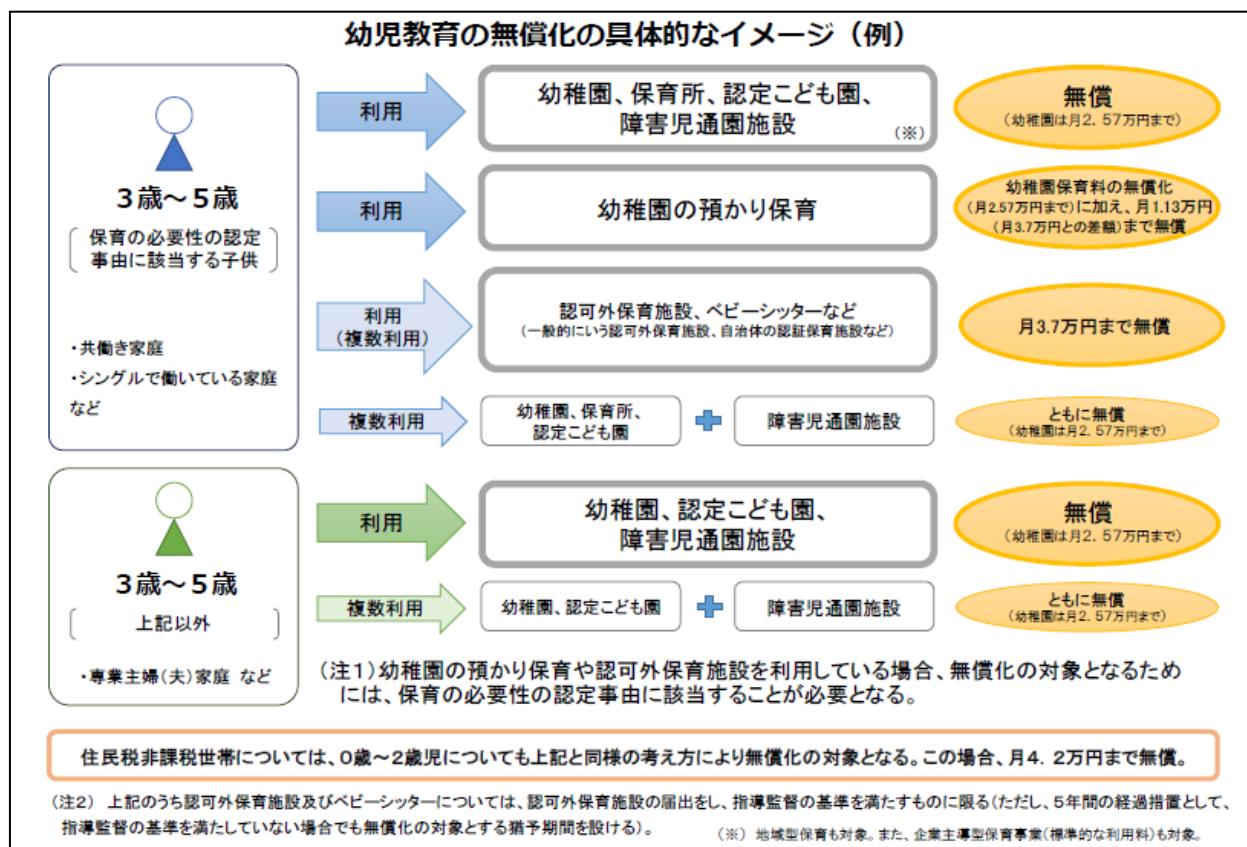
1つを選んで番号を記入してください。※ 回答に当たって〇〇を参考にしてください。

1. 無償化実現後に、もっとも利用したい施設・事業	⇒	
2. 利用したい施設・事業がない		

問10-1 幼児教育の無償化が実現した場合、理想とする働き方(就労形態)は変わりますか。(当てはまる欄に○)

無償化実現後の就労形態の変化	あなた	配偶者・パートナー
1. 変わらない		
2. 就労時間を短くする		
3. 就労時間を長くする		
4. 就労しようと思っていたが、就労しないで子育てや家事に専念する		
5. 就労しないで子育てや家事に専念するつもりだったが、就労しようと思う。		

※幼児教育の無償化について



(内閣府 子ども・子育て本部資料)

土曜・休日の施設や事業の利用希望について

・この項目では、土曜・休日の「定期的な」施設や事業の利用についてうかがいます。
 なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問11 出産後、お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、施設・事業の定期的な利用希望はありますか。（それぞれ1つに○）
 希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。なお、一時的な利用は除きます。

(1)土曜日	
1. 利用する必要はない	⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	
(2)日曜日・祝日	
1. 利用する必要はない	⇒ 利用したい時間帯 時から 時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

地域の子育て支援事業の利用希望について

・地域の子育て支援事業とは、親子が集まって過ごしたり、育児の相談や地域の子育て情報を知ることができる事業などのことをいいます。

問12 出産後のお子さんについて、地域の子育て支援事業を利用したいと思いますか。①～⑤の事業ごとにA・Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。①～⑥のBで「いいえ」をつけた方は、理由を下記から選び、番号を記入してください。「5. その他」の場合は直接理由を記入してください。

地域子育て支援拠点事業等の名称	A 知っている	B 今後利用したい
①地域子育て支援センター（公共施設や保育所等で、子育て情報の提供や子育て相談を実施）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ ⇒（理由： ）
②つどいの広場（親子どうしの交流や、子育てに関するアドバイスの場を提供）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ ⇒（理由： ）
③福祉センターの子育て広場（子育てスポットすくすく広場）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ ⇒（理由： ）
④児童館の子育て広場	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ ⇒（理由： ）
⑤子育てスポット（幼稚園等の一室で、親子同士の交流や子育てに関するアドバイスの場を提供）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ ⇒（理由： ）
⑥認定こども園で行っている地域の子育て支援事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ ⇒（理由： ）
⑦その他 例：民間（NPOを含む）の子育てサークル	1. はい ※名称をお答えください【 】 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

Bでいいえと答えた方の理由は下記から選んでください。その他の場合は直接記入してください。

1. 知らないから	3. 休日に開館していないから	5. その他
2. 近くにないから	4. 利用する必要がないから	

- 問13 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、また、今後利用したいと思うものはありますか。
- ①～⑮の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。（それぞれ1つに○）

事業	A 知っている		B 利用したことがある		C 今後利用したい	
①子育て世代・包括支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②妊婦健康診査	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③はじめてのママパパサロン（両親教室）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④すまいるmamaサポート（産後ケア事業）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤こんにちは赤ちゃん訪問	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥はぐくみセンターの教室 ばくばく教室（離乳食教室）や歯びか教室（むし 歯予防教室）等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦保育所の園庭開放や子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧幼稚園の園庭開放や子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨こども園の子育て支援や子育て相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩子ども発達センターの療育相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪子育ての総合相談窓口 （家庭児童相談室）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬キッズホリデークラブ （教育センター）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑭子育て@なら（子育て応援ホームページ）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑮こども園・幼稚園・保育所のホームページ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

育児休業など、職場の支援制度について

問14 出産後、あなたと配偶者・パートナーのいずれかもしくは双方が育児休業を取得しますか。((1)(2)それぞれ1つの欄に○)

育児休業取得予定	あなた	配偶者・パートナー
1. 就労していない		
2. 取得する(したい)		
⇒お子さんが何歳になるまで取得したいか、記入してください。	歳 ヶ月 になるまで	歳 ヶ月 になるまで
3. 取得しない		

問14-1 問14で「3」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業を取得しない理由をお答えください(あてはまる欄すべてに○)

理由	あなた	配偶者・パートナー
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある		
2. 仕事が忙しい		
3. (産休後に)仕事に早く復帰したい		
4. 仕事に戻るのが難しそう		
5. 昇給・昇格などが遅れそう		
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる		
7. 保育施設に預けることができる		
8. 配偶者が育児休業制度を利用する		
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がない		
10. 子育てや家事に専念するため退職する		
11. 職場に育児休業の制度がない		
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさない		
13. 育児休業制度があるかどうかわからない		
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)制度があるかどうかわからない		
15. その他()		

問14-2 問14で「2. 取得する(したい)」に○をつけた方にうかがいます。⇒ 該当しない場合は問15へ

育児休業から仕事に復帰するには、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングにする予定ですか(一つに○)

※ 年度初め(4月)での認可保育施設の入所を希望するが、早めに復帰して一時的に認可外保育施設等に入所する場合なども「1」にあてはまります。

復帰のタイミング	あなた	配偶者・パートナー
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングにする		
2. それ以外		

問14-3 勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があるとしたら、「希望」としてはお子さん何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。

あなた	配偶者・パートナー
歳 ヶ月まで	歳 ヶ月まで

子どもにやさしいまちについて

問15 奈良市は子どもにやさしいまちだと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※「子どもにやさしいまち」とは…

奈良市では、平成27年4月1日から「**奈良市子どもにやさしいまちづくり条例**」を施行しています。

この条例において、「子どもにやさしいまち」とは、子どもの権利を尊重し、子どもが自立するための知識と経験を得られるよう子どもへの支援及び子育て支援に社会全体で取り組み、一人一人の子どもが安心して豊かに暮らすことのできるまちのことをいいます。

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない

問16 奈良市が子どもにやさしいまちだと感じる条件はなんですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1. 子どもに関する施策について、適切な情報提供がされ、子どもが意見表明や参加する機会がある。
2. 安心して子育てできる環境がある
3. 困難を有する子どもと家庭に対し必要な支援がある
4. 有害及び危険な環境から守るための安全な環境がある
5. 子どもが安心して過ごすことができる居場所や遊び場がある
6. 子どもが地域行事へ参加し、ともに活動できる環境がある
7. その他()

問17 最後に、教育・保育環境の充実や子育て支援、また、ご自身の子育てに関する考え方など、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。
お忙しい中、最後まで記入いただきまして、ありがとうございました。
ご回答いただいた内容は、統計データとして処理し、今後の計画に活用します。